

川口市次世代育成支援行動計画の実施状況（平成26年度）



平成22年3月に策定した川口市次世代育成支援行動計画・後期計画は平成17年度から21年度までの5年間の前期計画を継承し、平成22年度から26年度までの5年間を後期計画として、子育て・子育て支援施策を大きく3つの体系に分けて各種事業の推進に取り組むこととしています。この計画は、次世代育成支援対策推進法に基づき毎年事業の実施状況を公表することとなっていることから、本市の平成26年度の事業実施状況について公表するものです。



行動計画に掲載されている各事業の実施状況（平成26年度）

計画に掲載されている個々の事業については、別に示していますが、実施状況の内容は次のように表しています。

【例示】

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況						目標及び実績等					
	改善点および今後の事業の方向性等											
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">計画の位置づけ</div> 事業番号 事業名	※事業内容および26年度計画目標事業量の実施 状況を記述						26年度目標 (見直し後)					
							※今後の事業内容に反映した改善・改良内容及び 事業の方向性を記述		(目標の見直しをして必要に応じて 修正した目標を記述)			
											年度計画及び実績 (事業の進行監理)	
											21年度実績	
											22年度計画	
											22年度実績	
											23年度計画	
											23年度実績	
											24年度計画	
											24年度実績	
											25年度計画	
											25年度実績	
											26年度計画	
	26年度実績											
事業担当課	達成度		26効果等		改善等		方向性					

達成度：26年度目標に対する達成度（上回った…◎ ほぼ同じ…○ 下回った…△）

26効果等：26年度事業の実施による効果の有無

(かなり有る…◎ 有る…○ あまり無い…△ 無い…×)

改善等：今後の事業内容に反映した改善・改良点について（有る…○ 現状維持…△）

方向性：今後へ向けての事業の方向性（拡充…◎ 計画どおり…○ 縮小…△ 廃止…×）

行動計画に掲載されている事業一覧

体系	事業番号	事業名	担当課	ページ数
1-A-a	総合的・包括的な子育て支援			P 1
8事業	1	乳児家庭全戸訪問事業	子育て相談課	P 1
	2	地域子育て支援拠点事業	子ども育成課/保育課	P 2
	3	子育て支援事業(おやこの遊びひろば)	子ども育成課	P 3
	4	つどいの広場	子ども育成課	P 4
	5	ひとり親家庭に対する自立支援	子育て相談課	P 5
	6	障がい児の地域療育等支援	子育て相談課	P 6
	7	居宅介護(ホームヘルプ)事業	障害福祉課	P 7
	8	住民参加型福祉サービス事業(家事援助サービス)	社会福祉協議会	P 8
1-A-b	子育てに関する学習機会の提供			P 9
5事業	9	母親教室	保健センター	P 9
	10	両親教室	保健センター	
	11	育児教室	保健センター	P 10
	12	離乳食講習会	保健センター	
	13	幼児食講習会	保健センター	
1-A-c	子育てに関する相談機会の提供			P 12
8事業	14	家庭児童相談室	子育て相談課	P 12
	15	子育て支援総合コーディネート事業	子ども育成課	P 13
	16	妊産婦・新生児訪問	保健センター	P 14
	17	母子訪問指導	保健センター	
	18	養育支援訪問	保健センター/子育て相談課	P 15
	19	10か月児健康相談	保健センター	
	20	幼児相談	保健センター	P 16
	21	親子教室	子育て相談課	P 17
1-A-d	子育てに関する情報の提供			P 18
3事業	22	子育て支援サービス情報の提供	子ども育成課	P 18
	23	24時間電話等情報サービス	子ども育成課	
	24	不妊に関する情報の提供	保健センター	P 19
1-A-e	子育て家庭などの交流の促進			P 20
3事業 (再2)	25	育児サークル活動等の支援	子ども育成課	P 20
	(3再掲)	子育て支援事業(おやこの遊びひろば)	子ども育成課	P 21
	(4再掲)	つどいの広場	子ども育成課	P 22
1-A-f	一時保育・ショートステイなどの提供			P 23
5事業	26	一時保育事業	保育課	P 23
	27	ファミリー・サポート・センター事業	子ども育成課	P 24
	28	病児・病後児保育事業	子ども育成課	P 25
	29	子どものショートステイ事業	子育て相談課	
	30	児童短期入所事業(障がい児)	障害福祉課	P 26
1-A-g	子育て家庭の経済的支援			P 27
11事業	31	児童手当支給事業(子ども手当支給事業)	子ども育成課	P 27
	32	児童扶養手当支給事業	子ども育成課	P 28
	33	子ども医療費支給事業	子ども育成課	P 29
	34	ひとり親家庭等医療費支給事業	子ども育成課	
	35	ひとり親家庭自立支援給付金事業	子ども育成課	P 30
	36	幼稚園就園奨励費補助事業	教育総務課	P 31
	37	川口市奨学資金貸付制度	学務課	P 32
	38	母子及び父子並びに寡婦福祉資金貸付制度	子ども育成課	P 33
	39-1	障がい児への療育支援(障がい児手当給付事業)	障害福祉課	P 34
	39-2	障がい児への療育支援(重度心身障害者医療費助成事業)(障がい児)	障害福祉課	P 35
	40	チャイルドシート購入費補助事業	子ども育成課	P 36
41	3人乗り自転車貸与事業	子ども育成課	P 37	
1-B-a	定期的な保育サービスなどの提供			P 38
10事業	42	通常保育事業	保育課	P 38
	43	延長保育事業	保育課	P 39
	44	休日保育事業	保育課	P 40
	45	子どものトワイライトステイ事業	子育て相談課	P 41
	46	留守家庭児童保育事業	学務課	P 42
	47	障害児保育事業	保育課	P 43
	48	家庭保育室事業	保育課	
	49	保育士研修	保育課	P 44
	50	幼稚園における預かり保育事業	各私立幼稚園	P 45
	51	第三者評価事業	保育課	P 46

体系	事業番号	事業名	担当課	ページ数
2-A-a		子どもの健康の確保・増進		P 47
15事業 (再3)	52	母子健康手帳等交付	保健センター	P 47
	53	妊婦健康診査	保健センター	P 48
	54	妊婦歯科健康診査	保健センター	P 49
	55	母性健康管理指導事項連絡カードの活用啓発	保健センター	P 50
	56	3・4か月児健康診査	保健センター	P 51
	57	1歳6か月児健康診査	保健センター	
	58	1歳6か月児歯科健康診査	保健センター	P 52
	59	「かばさんの歯の教室」	保健センター	P 53
	(19再掲)	10か月児健康相談	保健センター	P 54
	60	3歳児健康診査	保健センター	
	(20再掲)	幼児相談	保健センター	P 55
	61	学校における健康教育	保健センター	
	62	小児医療の充実(小児夜間等救急診療事業)	保健衛生課	P 56
(21再掲)	親子教室	子育て相談課	P 57	
63	予防接種	保健センター	P 58	
2-A-b		食育の推進		P 59
5事業 (再2)	64	保育所における食育の推進	保育課	P 59
	(12再掲)	離乳食講習会	保健センター	
	(13再掲)	幼児食講習会	保健センター	P 60
	65	食育教室	保健センター	
66	小・中学校での食に関する指導推進事業	学校保健課	P 61	
2-A-c		障がい児の発育・発達への支援		P 62
2事業	67	放課後等デイサービス事業	障害福祉課	P 62
	68	障がい児の就学支援・教育体制の整備	指導課	P 63
2-B-a		学校教育の充実		P 64
18事業 (再3)	69	小・中・高校生に対する救命講習事業	救急課	P 64
	70	心の教育や道徳授業に関する研修事業	指導課	P 65
	71	教育相談支援員の配置	指導課	P 66
	72	カウンセリング研修事業	指導課	P 67
	(61再掲)	学校における健康教育	保健センター	P 68
	(66再掲)	小・中学校での食に関する指導推進事業	学校保健課	P 69
	(68再掲)	障がい児の就学支援・教育体制の整備	指導課	P 70
	73	学校評議員制度	学務課	P 71
	74	地域保健・学校保健連絡会	保健センター／学校保健課	
	75	きらり川口夢わーく体験事業	指導課	P 72
	76	川口市高等学校就職カウンセラー	指導課	
	77	高等学校進路指導担当教諭と市内企業との意見交換会	労政課	P 73
	78	福祉教育推進員	社会福祉協議会	
	79	エコ・スクールン(環境出前講座)	地球高温暖化対策室	P 74
	80	3R出張講座	廃棄物対策課	P 75
	81	小学4年生向け社会科学習資料の配布	廃棄物対策課	P 76
	82	Kids' ISO14000プログラム事業	地球高温暖化対策室	P 77
	83	親と子の自然環境調査	地球高温暖化対策室	P 78
2-B-b		地域における次世代育成の推進		P 79
22事業 (再2)	84	放課後子ども教室	生涯学習課	P 79
	85	子どもの居場所づくり学習事業	生涯学習課	P 80
	86	学校週5日対応事業(スポーツ・レクリエーション事業)子ども対象事業	スポーツ課	P 81
	87	子ども対象事業	生涯学習課	
	88	児童センター事業	子ども育成課	P 82
	89	家庭教育事業	生涯学習課	P 83
	90	子ども自然体験村	青少年対策室	P 84
	91	川口市通学合宿	青少年対策室	P 85
	92	アドベンチャープレイ事業	子ども育成課	P 86
	(75再掲)	きらり川口夢わーく体験事業	指導課	P 87
	93	かわぐちボランティアセンター	社会福祉協議会	P 88
	94	青少年ボランティア育成事業	かわぐち市民パートナーシップ／社会福祉協議会	P 89
	95	川口市立科学館サイエンスワールド	科学館	P 90
	96	交通安全教育事業	交通安全対策課	P 91
	97	川口市スポーツ少年団育成事業	スポーツ課	
	98	川口市青少年団体連絡協議会(活動助成事業)	青少年対策室	P 92
	99	各公民館地区青少年育成協議会	青少年対策室	P 93
	100	親子ふれあい事業	中央図書館	P 94
	101	川口市子ども経済塾	経済総務課	P 95
	102	川口市小学生CG体験教室	産業振興課	P 96
	(83再掲)	親と子の自然環境調査	地球高温暖化対策室	P 97
	103	親子で学ぼう環境の旅	廃棄物対策課	P 98

体系	事業番号	事業名	担当課	ページ数
2-B-c	若者の就労支援			P 99
7事業 (再3)	(75再掲)	きらり川口夢わーく体験事業	指導課	P 99
	(76再掲)	川口市高等学校就職カウンセラー	指導課	
	(77再掲)	高等学校進路指導担当教諭と市内企業との意見交換会	労政課	P100
	104	求職開拓現地訪問事業	労政課	
	105	求職相談コーナー	労政課	P101
	106	就職支援セミナーの実施	労政課	
	107	特別支援学校卒業者の進路支援	障害福祉課	
3-A-a	子どもの権利擁護に関する意識啓発と実践			P102
7事業	108	子どもをテーマとした講演会の開催	子ども育成課	P103
	109	要保護児童対策地域協議会事業	子育て相談課	P104
	110	登下校時の安全を守る防犯ブザーの貸与	指導課	P105
	111	公用車による防犯パトロール	防犯対策室	P106
	112	日本ガーディアン・エンジェルズへの事務所の提供	防犯対策室	
	113	こども110番の家	青少年対策室／指導課	P107
	114	青少年「愛のひと声・あいさつ運動」	青少年対策室	P108
3-A-b	仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)に関する意識啓発と実践			P109
4事業	115	男女共同参画推進のための啓発事業	かわぐち市民パートナーステーション	P109
	116	労働関係情報提供事業	労政課	P110
	117	雇用環境整備の推進	労政課	P111
	118	就労している妊婦の健康管理に配慮した職場づくりへの啓発	労政課	P112
3-A-c	子育て・子育てへの手助けに関する意識啓発と実践			P113
3事業 (再1)	119	市民の社会貢献活動の支援促進事業	かわぐち市民パートナーステーション	P113
	120	パパ・ママ応援ショップ事業	子ども育成課	P114
	(27再掲)	ファミリー・サポート・センター事業	子ども育成課	P115
3-B-a	住宅・住居環境の整備			P116
1事業	121	子育て環境整備に対応した良質な住宅の供給(市営住宅建替事業)	住宅政策課	P116
3-B-b	公共施設などの整備			P117
5事業	122	歩道整備事業	道路建設課	P117
	123	公園整備・改修事業	公園課	P118
	124	町会防犯灯設置費・電気料金補助金交付事業	防犯対策室	P119
	125	自転車駐車場・置場整備事業	交通安全対策課	P120
	126	市役所本庁舎の整備	管財課	P121

掲載事業 142事業(再16事業)

行動計画に掲載されている各事業の実施状況（平成26年度）

1-A-a 総合的・包括的な子育て支援

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等	
	改善点および今後の事業の方向性等								
1-A-a 001 乳児家庭全戸 訪問事業	<p>こんにちは赤ちゃん訪問員が、生後4か月までの乳児のいる家庭（新生児訪問等を利用した家庭を除く）を訪問し、様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する情報提供を行うとともに、家庭と地域社会をつなぐ最初の機会を提供します。</p> <p>26年度実績は面談済みの乳児が95.7%でした。</p> <p>新生児訪問等を利用していない家庭の養育環境を把握し、子育て支援に関する情報提供ができました。また、支援が必要と判断された場合は養育支援訪問事業へ継続するなど、適切な関係部署に支援をつなぐことができました。</p> <p>27年度も引き続き、検討会議や研修を生かし、訪問のスキルアップに努め、より質の高い訪問を実施します。面談できなかった家庭も保健センターと協力し、面談済み100%を目指します。</p>							26年度目標 (見直し後)	
								全対象乳児	
								年度計画及び実績 (事業の進行管理)	
								21年度実績	—
								22年度計画	—
								22年度実績	96.6
								23年度計画	100
								23年度実績	98.4
								24年度計画	100
								24年度実績	97.0
								25年度計画	100
								25年度実績	96.9
								26年度計画	100
26年度実績	95.7								
							訪問率(%)		
27年度も引き続き、面談済み100%を目指すと同時に乳児家庭の満足度の高い訪問を実施します。中国語の会話集などを用いて、外国籍の乳児家庭への早期支援を実施します。									
子育て相談課	達成度	○	26効果等	○	改善等	○	方向性	○	

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等	
	改善点および今後の事業の方向性等								
1-A-a 002 地域子育て支援拠点事業	<p>地域における子育て家庭の親と子どもが、気軽に集まって仲間づくりをしたり、育児不安について相談したりします。また、各種講座などを通して育児のヒントを得るなど、各施設が蓄積しているノウハウを活用して、地域の子育てを支援しています。</p> <p>26年度実績において、地域子育て支援拠点事業を実施している保育所・児童センター・おやこの遊びひろばは、25年度と比較して同数です。</p> <p>子育て支援を必要とする家庭に相談・指導による育児不安の解消や、子育て中の親同士の交流や情報交換の場として提供されています。</p> <p>27年度も引き続き、継続して事業を実施していきます。</p> <p>本事業を未実施の保育所は、事業を実施するスペースの確保が難しいことから、現在実施している保育所において事業を継続して実施していく予定です。</p>							26年度目標 (見直し後)	
								施設数 52 か所	
								年度計画及び実績 (事業の進行管理)	
								21年度実績	44
								22年度計画	—
								22年度実績	45
								23年度計画	46
								23年度実績	52
								24年度計画	52
								24年度実績	54
								25年度計画	52
								25年度実績	54
								26年度計画	52
								26年度実績	54
施設数 (か所)									
※24年度以降、数値目標の変更をしました。									
子ども育成課 ／保育課	達成度	◎	26効果等	◎	改善等	○	方向性	○	

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等
	改善点および今後の事業の方向性等							
1-A-a 003 子育て支援事業（おやこの遊びひろば）	<p>地域のコミュニティづくりの拠点としての実施場所において、週1～3日の3時間、保育士を配置し、0歳から3歳までの子どもとその保護者に遊び場と情報交換の場を提供するとともに、保護者との話し合いや遊びなどを通じて子育ての不安の解消に努め、子どもの健全な育成を図ります。</p> <p>25年度に比べて、遊び場の提供の開催は3,231回から3,245回に増加し、延べ人数は96,172人から102,468人に増加しました。</p> <p>他方、公開研修会「子育て力 アップ講座」（ひととき保育4回実施）を5回開催し、226人の参加がありました。子育て相談「かかわり記録」は延べ3,080件あり、子育て不安の解消に役立つと利用者からも好評でした。</p> <p>地域のコミュニティの場である公民館等を利用することにより、身近な場所での子育て支援の場を提供することができました。利用者を対象としたアンケートの結果、「サークルタイム」（保育士による手遊びやふれあい遊びの指導）が高い満足度を得ており、親子のふれあいや遊びの啓発に効果がありました。</p> <p>また、安行青少年センター、盛人大学キャンパス、上青木公民館の3か所は「地域子育て支援拠点・サロン型」として開催し、地域の子育て支援機能の充実を図りました。</p>							26年度目標 (見直し後)
								38か所
								年度計画及び実績 (事業の進行管理)
								21年度実績 33 5
								22年度計画 34 3
								22年度実績 34 3
								23年度計画 35 3
								23年度実績 38 3
								24年度計画 38 3
								24年度実績 38 3
								25年度計画 38 3
								25年度実績 38 3
								26年度計画 38 3
							26年度実績 38 3	
							左：委託実施数 (か所) 右：ボランティア 実施数 (か所)	
<p>公開研修会「子育て力 アップ講座」では、保護者のニーズに沿ったテーマを選ぶとともに、保護者が集中して受講できるよう託児付講座を積極的に取り入れた研修会を提供します。</p> <p>子育て相談の「かかわり記録」については、必要に応じ、関係機関との連携・協力を図ります。</p> <p>また、平成27年度は、盛人大学キャンパス、神根西公民館、戸塚公民館において実施時間を拡大いたします。</p>								
子ども育成課	達成度	○	26 効果等	◎	改善等	△	方向性	○



事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等
	改善点および今後の事業の方向性等							
1-A-a 004 つどいの広場	<p>「子育てサポートプラザ」及び「子育てサポートプラザ『子育てひろばポッポ♡』」、「南鳩ヶ谷地域子育て支援センターにおいて、乳幼児（0～3歳）を持つ子育て中の親子に交流・集いの場を提供し、子育てに関する相談・援助、子育て関連情報の提供、講習の実施などを行います。</p> <p>子育てサポートプラザ及び子育てサポートプラザ「子育てひろばポッポ♡」では、25年度と比較すると、新規登録者数は1,434人で13.7%の増、延べ利用者数は40,773人で1.6%の減となりました。利用者に対して、ふれあい相談（5,131件）、毎回の手遊び・体操、子育てミニ講座（18回）、あそびに関する講座（19回）、身長・体重測定等を実施し、乳幼児とその保護者に交流と学び合いの場を提供しました。</p> <p>また、南鳩ヶ谷地域子育て支援センターでは、登録数は594組、延べ利用数は10,956人でした。利用者に対して、毎月1回の講座や身長・体重測定等を実施しました。</p>							26年度目標 (見直し後)
								5か所
	年度計画及び実績 (事業の進行管理)							
	21年度実績	1						
	22年度計画	—						
	22年度実績	1						
	23年度計画	1						
	23年度実績	2						
	24年度計画	3						
	24年度実績	3						
	25年度計画	3						
	25年度実績	3						
	26年度計画	5						
	26年度実績	3						
							実施施設数（か所）	
<p>「地域子育て支援拠点」として、子育て家庭の親と子どもが気軽に集い、うち解けた雰囲気の中で語り合い、相互に交流を図る場として更に機能していくよう努めます。</p> <p>また、引き続き、子育て講座の充実を図りつつ、利用者のニーズに合わせて、お正月やひな祭りなどのそれぞれの季節に合った親子で行える製作等のあそび講座を実施します。</p> <p>講座の充実や「地域子育て支援拠点」としての機能の充実に努めるとともに、新たなつどいの広場の設置について検討していきます。</p>								
子ども育成課	達成度	△	26効果等	◎	改善等	△	方向性	○

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等	
	改善点および今後の事業の方向性等								
1-A-a 005 ひとり親家庭 に対する自立 支援	<p>家庭児童相談室や母子生活支援施設といった事業により自立を支援しました。</p> <p>19年度から導入した母子家庭自立支援給付金事業を通じ、母子家庭の自立の支援施策の充実を図るとともに、相談サービスや、母子生活支援施設における支援サービスを提供することができました。</p> <p>ひとり親からの就労相談を関係機関につなげ、また、母子自立支援事業によるひとり親家庭の居住環境の支援を図ることができました。</p>							26年度目標 (見直し後)	
								家庭児童相談室や母子生活支援施設での事業及び母子家庭自立支援給付金事業を通じ、ひとり親家庭に対する自立支援を継続して実施します。	
								年度計画及び実績 (事業の進行管理)	
	<p>母子生活支援施設でのより良い支援のために指定管理者との協議を行うほか、ひとり親の生活の自立に必要な関係機関との連携を図ります。</p> <p>引き続き、家庭児童相談室や母子生活支援施設での事業及び母子家庭自立支援給付金事業を通じた自立支援を実施していきます。</p>							21年度実績	2
								22年度計画	—
								22年度実績	2
								23年度計画	4
								23年度実績	6
								24年度計画	—
								24年度実績	8
								25年度計画	—
								25年度実績	8
								26年度計画	—
	26年度実績	10							
							相談員数(人)		
							※24年度以降、目標を見直し、変更しました。		
子育て相談課	達成度	○	26効果等	○	改善等	○	方向性	○	

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等	
	改善点および今後の事業の方向性等								
1-A-a 006 障がい児の地域療育等支援	<p>在宅の障がい児の地域における生活を支えるため、療育指導や相談、各種サービス利用に係る支援を行う事業です。身近な地域における療育指導、相談体制等の充実及び、圏域における療育機能の充実を図る事業です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅支援訪問療育等支援事業 障がい児家庭（親子教室含む）へ訪問し、専門スタッフによる個別又はグループ相談及び療育指導を行います。 ・在宅支援外来療育等支援事業 発達支援係（子育て相談課別室）又はわかゆり学園へ来所してもらい、臨床心理士及び保育士等により個別又はグループ相談及びグループ療育指導を行います。 ・施設支援一般指導事業 臨床心理士及び保育士等が施設訪問し、保育観察・カンファレンス・講話等により療育技術の指導を行います。 <p>18年10月から埼玉県障害児等療育支援事業を川口市が委託を受けて実施しています。</p> <p>27年度の相談・指導等の支援については延べ1,341件となり、外来療育に力点を置いた結果、昨年度に引き続き26年度計画値を上回っています。</p> <p>子育て相談課発達支援係では、保健センター等関係機関と連携を図りながら障がい児の家族や施設等に対し相談及び指導を行うことにより、効率よく発達支援を実施しています。</p> <p>26年度より子育て相談課発達支援係が発達支援の総合窓口となったことで事業の充実を図る。</p>							26年度目標 (見直し後)	
								引き続き療育の支援を図っていきます。	
								年度計画及び実績 (事業の進行管理)	
								21年度実績	885
								22年度計画	786
								22年度実績	795
								23年度計画	786
								23年度実績	858
								24年度計画	846
								24年度実績	1,390
								25年度計画	846
								25年度実績	1,222
								26年度計画	846
								26年度実績	1,341
相談件数(件)									
在宅支援	910件								
在宅訪問	100件								
施設一般	90件								
子育て相談課	達成度	◎	26効果等	◎	改善等	△	方向性	○	

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等	
	改善点および今後の事業の方向性等								
1-A-a 007 居宅介護（ホームヘルプ）事業	<p>在宅の障がい児がいる家庭に対し、ホームヘルパーを派遣して家事や介護などの日常生活の支援を行います。</p> <p>18年度からは障害者自立支援法、25年度からは障害者総合支援法に規定する事業となっています。</p> <p>障がい児を持つ家族からの相談を随時受付し、家庭状況等を踏まえ必要に応じて支給決定を行いました。</p> <p>事業実績について、25年度は133人、26年度は118人であり、前年とほぼ同様となっています。</p> <p>事業を必要とする障がい児に対し適正な支援を行なうことにより、家族の負担の軽減や本人の生活環境の改善が図られました。</p> <p>障害者総合支援法の規定に基づき26年度と同様の内容で実施します。</p> <p>障害者総合支援法に基づき事業を必要とする障がい児に対し適正な支援を行なうことにより、家族の負担の軽減や本人の生活環境の改善を図っていきます。</p>							26年度目標 (見直し後)	
								引き続き事業を実施していきます。	
								年度計画及び実績 (事業の進行管理)	
								21年度実績	98
								22年度計画	—
								22年度実績	96
								23年度計画	—
								23年度実績	119
								24年度計画	—
								24年度実績	116
								25年度計画	—
								25年度実績	133
								26年度計画	—
								26年度実績	118
決定者数（人）									
障害福祉課	達成度	○	26効果等	○	改善等	○	方向性	○	

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等	
	改善点および今後の事業の方向性等								
1-A-a 008 住民参加型福祉 サービス事業 (家事援助サ ービス)	<p>産前・産後のかたで一時的に家事を行うことができず、家族などからの支援も困難な場合、協力員が家庭を訪問し、家事の支援を行います。</p> <p>病院や保健センターへのリーフレットの配布や、子育てガイドブックに記載していることで、認知度・利用者数共に上昇しています。</p> <p>また、インターネットからの問合せ件数も増加しています。</p>							26年度目標 (見直し後)	
								事業の充実を図ります。	
								年度計画及び実績 (事業の進行管理)	
								21年度実績	5 39時間20分
								22年度計画	—
								22年度実績	3 10時間20分
								23年度計画	—
								23年度実績	4 15時間10分
								24年度計画	—
								24年度実績	10 82時間40分
								25年度計画	—
								25年度実績	14 115時間30分
								26年度計画	—
								26年度実績	15 89時間30分
<p>相談件数が増加しており、需要があります。そのため、引き続きリーフレットの配布を行い周知の強化を努めるとともに、利用者のニーズに応えるため、今後も協力員の増加と資質の向上を図ります。</p>							上：支援人数（件） 下：支援時間（時間、分） ※見直しの結果、計画書に掲載されている数値目標は、事業の性質上適正でないため、文言での表記に変更しました。		
社会福祉協議会	達成度	◎	26効果等	○	改善等	△	方向性	○	

1-A-b 子育てに関する学習機会の提供

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況								目標及び実績等		
	改善点および今後の事業の方向性等										
1-A-b 009 母親教室 両親教室と 統合 ↓ ウェルカム B a b y 教室	25年度より参加者が出席しやすいように内容を見直し、母親教室と両親教室を統合し「ウェルカムB a b y 教室」と変更しました。								26年度目標 (見直し後)		
									月1回		
									年度計画及び実績 (事業の進行管理)		
									21年度実績	1	
									22年度計画	1	
									22年度実績	1	
									23年度計画	1	
									23年度実績	1	
									24年度計画	1	
									24年度実績	1	
									25年度計画	1	
									25年度実績	—	
									26年度計画	1	
									26年度実績	—	
開催回数(回/月)											
保健センター	達成度	—	26効果等	—	改善等	—	方向性	—			
1-A-b 010 両親教室 母親教室と 統合 ↓ ウェルカム B a b y 教室	25年度より参加者が出席しやすいように内容を見直し、母親教室と両親教室を統合し「ウェルカムB a b y 教室」と変更しました。								26年度目標 (見直し後)		
									開催回数24回		
									年度計画及び実績 (事業の進行管理)		
									21年度実績	20	1,099
									22年度計画	20	—
									22年度実績	20	985
									23年度計画	20	—
									23年度実績	20	852
									24年度計画	20	—
									24年度実績	20	1,075
									25年度計画	24	—
									25年度実績	—	—
									26年度計画	24	—
									26年度実績	—	—
左：開催回数(回) 右：参加者数(人)											
※24年度見直しを行い、25年度以降、数値目標の変更をしました。											
保健センター	達成度	—	26効果等	—	改善等	—	方向性	—			

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況								目標及び実績等	
	改善点および今後の事業の方向性等									
1-A-b 011 育児教室	乳幼児とその保護者を対象に、保健センター、公民館等で開催しています。 市内のすべての地区で、計画どおり実施できました。 乳幼児の心身の発育・発達や乳幼児の生活リズムの大切さ、子育てについて学び、また保護者同士が情報交換をしたことで、育児不安の軽減および仲間づくりに役立ちました。								26年度目標 (見直し後)	
									実施地区数 10 地区	
	27年度も引き続き実施し参加希望の方に充分対応していきます。行政地区割で、10地区全ての地区を対象に開催しています。社会教育との共催や依頼にも応じており、育児支援の一貫として継続していきます。								年度計画及び実績 (事業の進行管理)	
									21年度実績	9
	22年度計画	9	80							
	22年度実績	9	99							
	23年度計画	9	80							
	23年度実績	10	121							
	24年度計画	10	—							
	24年度実績	10	113							
	25年度計画	10	—							
	25年度実績	10	124							
	26年度計画	10	—							
	26年度実績	10	127							
								左：実施地区数(地区) 右：開催数(回)		
								※24年度以降、数値目標の変更をしました。		
保健センター	達成度	○	26効果等	○	改善等	○	方向性	○		
1-A-b 012 離乳食講習会	3～5か月の乳児とその保護者を対象に、乳児の正しい食生活習慣を身に付けることを目的に、講義・デモンストレーション・試食・相談等を年間24回実施しています。参加人数については前年度とほぼ同等の実績がありました。 離乳食の初期・中期・後期についての講義や試食、相談等を行うことにより、離乳食に対する理解をより深めることが出来ました。								26年度目標 (見直し後)	
									開催回数 24 回	
	27年度はより多くの方に参加していただけるよう、保健センターだけではなく、鳩ヶ谷分室でも実施します。育児支援の一環として3～5か月の乳児を持つ保護者を対象に事業を継続していきます。								年度計画及び実績 (事業の進行管理)	
									21年度実績	—
	22年度計画	24	800							
	22年度実績	22	1,167							
	23年度計画	24	960							
	23年度実績	24	1,215							
	24年度計画	24	960							
	24年度実績	24	1,284							
	25年度計画	24	—							
	25年度実績	24	1,335							
	26年度計画	24	—							
	26年度実績	24	1,253							
								左：開催回数(回) 右：参加者数(人)		
保健センター	達成度	○	26効果等	○	改善等	○	方向性	○		

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等		
	改善点および今後の事業の方向性等									
1-A-b 013 幼児食講習会	<p>1歳～1歳6か月の幼児とその保護者を対象に、幼児の正しい食生活習慣を身に付けることを目的に、講義・試食・相談等を年間8回実施しています。参加人数については前年度を上回る実績がありました。</p> <p>幼児食やおやつについての講義や試食、相談等を行うことにより、幼児食に対する理解をより深めることが出来ました。</p>							26年度目標 (見直し後)		
								開催回数8回		
								年度計画及び実績 (事業の進行管理)		
								21年度実績	—	290
								22年度計画	6	150
								22年度実績	6	305
								23年度計画	6	240
								23年度実績	8	322
								24年度計画	8	240
								24年度実績	8	356
	25年度計画	8	—							
	<p>27年度も引き続き実施し、参加希望のかたに充分対応していきます。育児支援の一貫として、1歳～1歳6か月の幼児を持つ保護者を対象に事業を継続していきます。</p>							25年度実績	8	439
								26年度計画	8	—
								26年度実績	8	452
左：開催回数（回） 右：参加者数（人）										
<p>※24年度以降、数値目標の変更をしました。</p>										
保健センター	達成度	◎	26効果等	○	改善等	△	方向性	○		

1-A-c 子育てに関する相談機会の提供

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等		
	改善点および今後の事業の方向性等									
1-A-c 014 家庭児童相談室	<p>子どもの育児、しつけ、夫婦間での悩みやトラブルなどについて電話または来所にて相談を受け、家庭における適正な児童の養育や家庭環境の調整などを継続してきめ細かく指導します。</p> <p>児童虐待や子どもを養育することが困難になった場合など、深刻なケースは児童相談所などと連携して相談を行い児童福祉の向上を図ります。</p> <p>26年度新規相談件数は1,280件（子どもの育児やしつけ、発達の不安、いじめ・不登校、養育できない・子どもを預けたい、児童虐待通報など）となりました。</p> <p>同一人からの多数回にわたる相談や複雑な問題等への対応など、複数の関係機関と連携した対応が必要になりました。</p> <p>また、ペアレントトレーニングを年2回実施し、育てにくいお子さんへの関わり方などを保護者が学ぶ機会を設けました。</p> <p>26年度からは「どならない子育て講座」として、よりよい子育てができる手法や関わり方を保護者が学ぶ講座、CSP（コモンセンスペアレントトレーニング）を年1回実施しました。</p> <p>ペアレントトレーニング、CSPともに、子育て支援に必要な講座であることから今後も実施します。</p> <p>相談者と信頼関係を築きながらニーズに配慮した対応により児童虐待の未然防止に十分な効果が得られました。</p>							26年度目標 (見直し後)		
								相談員の相談技術の向上及び、相談者のニーズに的確な情報提供ができるよう努め、関係機関との連携・協力体制の強化を図ります。		
								年度計画及び実績 (事業の進行管理)		
								21年度実績	2	737
								22年度計画	—	—
								22年度実績	2	886
								23年度計画	—	—
								23年度実績	6	1,169
								24年度計画	—	—
								24年度実績	8	995
								25年度計画	—	—
								25年度実績	8	985
								26年度計画	—	—
								26年度実績	10	1,280
左：相談員数(人) 右：相談件数(件)										
※見直しの結果、計画書に掲載されている数値目標は、事業の性質上適正でないため、文言での表記に変更しました。										
<p>引き続き、相談業務を通じて、各相談事例の実態や課題を的確に見出し、児童相談所をはじめとする関係機関との連携、支援体制の強化を図ります。</p> <p>支援困難な相談内容が多いことから、今後も相談員の相談技術等向上に努め、相談者のニーズに的確な情報提供等ができるように努めます。</p>										
子育て相談課	達成度	○	26効果等	◎	改善等	○	方向性	◎		



事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等	
	改善点および今後の事業の方向性等								
1-A-c 015 子育て支援総合コーディネーター事業	<p>地域における多様な子育て支援サービス情報を一元的に把握する子育て支援コーディネーターを配置して、サービス利用者への情報提供、子育て及び子育て支援に関する講座の開催、ケースマネジメント及び利用補助などの支援を行います。</p> <p>個別相談は1,865件（電話相談403件・面接相談1,462件）であり、昨年度の件数1,263件（電話相談287件・面接相談976件）を上回り、こうした個別相談により、多くの子育て中の親が抱える悩みや不安の軽減を図ることができました。</p> <p>また、昨年度に引き続き、特設相談、子育て講演会、子育て講座（NPプログラム）、託児ボランティア養成のための子育てサポーター養成講座、子育ておしゃべり広場を開催しました。</p> <p>子育てに関する各種講座は、専門的な分野からアドバイスを受けることができるため、キャンセル待ちが出るほどの申込みがある場合もあり、前向きに楽しく子育てに関われるようになったと好評です。</p> <p>また、市内の育児サークルを含む子育て支援サービス提供機関との連絡調整会議を開催し、本事業が円滑かつ効果的に運営できるよう、他機関との連携を図っています。</p>							26年度目標 (見直し後)	
								4か所	
								年度計画及び実績 (事業の進行管理)	
								21年度実績	1
								22年度計画	1
								22年度実績	1
								23年度計画	1
								23年度実績	1
								24年度計画	1
								24年度実績	1
								25年度計画	1
25年度実績	1								
26年度計画	4								
26年度実績	1								
							実施施設数（か所）		
<p>様々な角度からの子育て支援サービス情報の提供を行い、子育て中の親が抱える悩みや不安の軽減に努めます。</p> <p>子育て支援コーディネーターの資質の向上と、関係機関との連絡・連携の強化を図り、子育て支援サービス情報の一元化を促進します。</p> <p>27年度からは、利用者支援事業において、相談業務や子育て支援サービス情報の一元化を行います。</p>									
子ども育成課	達成度	△	26効果等	◎	改善等	△	方向性	○	



事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等	
	改善点および今後の事業の方向性等								
1-A-c 016 妊産婦・新生児訪問	<p>出生連絡票、電話相談等により対象となる妊産婦及び新生児を把握し、保健師または委託機関の助産師が訪問し、育児不安の軽減を図る相談や必要な保健指導を行っています。</p> <p>訪問で養育環境を把握するとともに、妊娠、出産、育児に関する妊産婦の相談に対応することで不安を取り除き、新生児の発育発達、栄養、環境、疾病予防に留意し、適切な保健指導を行うことが出来ました。</p> <p>引き続き、出生届時に出生連絡票の提出を促すチラシと出生連絡票に貼って投函できる目隠しシールを配布し、個人情報の保護及び出生連絡票の回収率の増加を図っていきます。</p> <p>保健師による訪問に加えて、医療機関や助産所に事業を委託し、出生連絡票の提出者にはすべて対応できるようにしていきます。</p>							26年度目標 (見直し後)	
								訪問延べ人数 7,000人	
								年度計画及び実績 (事業の進行管理)	
								21年度実績	4,563
								22年度計画	3,800
								22年度実績	4,819
								23年度計画	3,800
								23年度実績	6,572
								24年度計画	7,000
								24年度実績	7,730
								25年度計画	7,000
								25年度実績	8,475
								26年度計画	7,000
								26年度実績	8,393
訪問延べ人数(人)									
※24年度以降、数値目標の変更をしました。									
保健センター	達成度	◎	26効果等	○	改善等	△	方向性	○	
1-A-c 017 母子訪問指導	<p>乳幼児健診の結果や電話相談等において対象者を把握し、育児や乳幼児の心身の発達等に心配のある家庭を保健師が訪問し、家庭での養育機能の向上をはかり、必要な保健指導を行っています。</p> <p>乳幼児の養育環境の把握や育児不安等のため個別の相談が必要なケースについて、継続的に支援を行いました。</p> <p>27年度も引き続き実施していきます。訪問のニーズに即応できるように地区分担制で訪問指導事業を実施していきます。</p>							26年度目標 (見直し後)	
								必要に応じて対応していきます。	
								年度計画及び実績 (事業の進行管理)	
								21年度実績	1,757
								22年度計画	1,500
								22年度実績	2,396
								23年度計画	1,500
								23年度実績	1,776
								24年度計画	—
								24年度実績	4,545
								25年度計画	—
								25年度実績	4,615
								26年度計画	—
								26年度実績	4,315
訪問延べ人数(人)									
保健センター	実績比較	○	26効果等	○	改善等	△	方向性	○	

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況								目標及び実績等	
	改善点および今後の事業の方向性等									
1-A-c 018 養育支援訪問	<p>養育支援の必要性がある家庭に対し、特に継続して保健師等が訪問を実施し安定した養育が可能となるよう支援しています。</p> <p>乳幼児の養育環境や親の心身の健康、育児不安や負担感等のため個別の相談が必要なケースについて、継続的な支援を行うことで、育児負担感の軽減や、養育者の育児能力の向上などの効果がみられました。</p>								26年度目標 (見直し後)	
									必要に応じて対応してまいります。	
	年度計画及び実績 (事業の進行管理)		21年度実績	105						
			22年度計画	200						
			22年度実績	321						
			23年度計画	200						
			23年度実績	470						
	乳幼児家庭全戸訪問事業と連携し、母子訪問事業の一環として継続して実施してまいります。今後も支援の必要な家庭への継続的な関わりを実施してまいります。		24年度計画	—						
			24年度実績	966						
			25年度計画	—						
			25年度実績	1299						
			26年度計画	—						
			26年度実績	1268						
			訪問延べ件数(件)							
保健センター 子育て相談課	達成度	○	26効果等	○	改善等	△	方向性	○		
1-A-c 019 10か月児健康相談	<p>9~10か月の乳児を対象として、10か月児健康相談を実施しています。会場は、保健センター、芝公民館、戸塚公民館、鳩ヶ谷分室で開催しています。回数は、毎月5回で年間60回開催しています。</p> <p>子どもの発育発達の確認の場としてだけでなく、保護者が子育ての悩みを相談する場としても活用されています。</p> <p>26年度は、対象児5,310人に対して、4,396人(82.8%)が来所しています。これは、26年度計画値を15.7%上回っています。</p>								26年度目標 (見直し後)	
									延べ利用者数 3,800人	
	年度計画及び実績 (事業の進行管理)		21年度実績	3,519						
			22年度計画	3,500						
			22年度実績	3,599						
			23年度計画	3,500						
			23年度実績	3,757						
	<p>3・4か月児健康診査と1歳6か月児健康診査の間で実施することにより、乳児の成長・発達を確認できる貴重な集団健康相談の場となっています。</p> <p>来所者が増加するよう、周知方法等を工夫し、引き続き本事業を実施してまいります。</p>		24年度計画	3,800						
			24年度実績	4,109						
			25年度計画	3,800						
			25年度実績	4,225						
			26年度計画	3,800						
			26年度実績	4,396						
			延べ利用者数(人)							
		※24年度以降、数値目標の変更をしました。								
保健センター	達成度	◎	26効果等	○	改善等	△	方向性	○		

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等			
	改善点および今後の事業の方向性等										
1-A-c 020 幼児相談	<p>発育・発達が気になる幼児とその保護者を対象に、保健師及び心理相談員等が今後の幼児への関わり方や進路などについて相談に応じています。保健センター会場で毎月1回、保健センター鳩ヶ谷分室会場で2か月に1回（年6回）実施しています。</p> <p>計画どおり実施することができました。</p> <p>幼児の精神的、身体的、社会的な成長・発達を支援し、保護者の育児不安の軽減に努めました。</p>							26年度目標 (見直し後)			
								実施回数 18回			
								年度計画及び実績 (事業の進行管理)			
								21年度実績	16	193	
								22年度計画	16	—	
								22年度実績	16	222	
								23年度計画	18	—	
								23年度実績	18	198	
								24年度計画	18	—	
	<p>引き続き、幼児の発達や情緒に関する相談内容に適切な対応ができるように専門職やスタッフの配置を充実し、他機関との連携を図ります。</p> <p>26年度に新設された子育て相談課に親子教室が移管されたため、それに伴う幼児相談のニーズの変化等に柔軟に対応し、保護者がわかりやすく、安心して相談できる場を提供していきます。</p>							24年度実績	18	176	
								25年度計画	18	—	
								25年度実績	18	184	
								26年度計画	18	—	
26年度実績								18	165		
							左：実施回数(回) 右：相談者数(人)				
							※24年度以降、数値目標の変更をしました。				
保健センター	達成度	○	26効果等	○	改善等	△	方向性	○			

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況						目標及び実績等		
	改善点および今後の事業の方向性等								
1-A-c 021 親子教室 【平成25年度までは保健センター、保育課による親子遊戯指導事業（プレイルーム）として実施。】	【低年齢クラス（満2歳～2歳児）】 発達の遅れが心配される幼児（満2歳～2歳児）とその保護者を対象に集団指導を行いました。7回コースで保護者への相談・指導を中心に置いた内容とし、子どもとの関係性の取り方などを伝えていくことができました。 親子の小グループでの遊びを通しての集団指導により、遊びを通して直接的に子どもへの発達の促しと保護者への相談・指導を行い家庭での養育をサポートしました。 3つのグループに分け、それぞれ月2回実施しており、次のステップにつなげています。関係機関と連携を図りながら進めました。						26年度目標（見直し後） 2～3歳の幼児とその保護者を対象に、3グループでそれぞれ月1～2回実施しており、次のステップにつなげています。 未就園の3歳児とその保護者を対象に、2～3グループ、月2～4回実施。幼稚園を利用している4、5歳児とその保護者を対象に、1～2グループで月2回実施します。		
	【未就園3歳児クラス】 発達の遅れが心配される未就園の3歳児とその保護者、また幼稚園を利用している4、5歳児とその保護者を対象に月2回～3回、小集団や個別による指導を実施し、幼児の成長発達の助長を図ります。また、保護者への相談・指導を行い家庭での養育をサポートしています。						年度計画及び実績（事業の進行管理）		
							21年度実績	151	1,225
							22年度計画	166	—
							22年度実績	163	954
							23年度計画	165	—
							23年度実績	167	1,030
							24年度計画	—	
							24年度実績	164	1,153
							25年度計画	—	
							25年度実績	164	1,231
							26年度計画	—	
							26年度実績	163	1,153
【幼稚園等フォロー】 わかゆり学園（発達支援相談センター）にて実施していた、埼玉県障害児等療育事業による集団療育（幼稚園等フォロー教室）を当課の親子教室として実施しました。 3歳児以上の幼稚園、保育所に通う幼児とその親を対象として月1回の親子参加クラスを3クラスと隔月1回の親の会と学齢児親の会として2クラスで実施し、幼児の発達の促しとともに、親の心理的サポートと幼稚園、保育所への巡回・訪問事業も関連させ連携を図りながら進めていきました。 保健センター、保育課、わかゆり学園、教育研究所、医療センターとともに、事業への支援・協力を行っていきます。						左：実施回数(回) 右：参加者数(人)			
引き続き、親子教室を通じて、発達の遅れが気になるお子さんとその保護者からの相談や課題を的確に見出し、関係機関との連携を図り、子育て支援に努めます。						※計画書に合わせ、24年度以降の数値目標は、設定しておりません。 ※24年度までの実績と計画値は、保健センターと保育課を合算しています。			
子育て相談課	達成度	○	26効果等	○	改善等	△	方向性	○	

1-A-d 子育てに関する情報の提供

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等	
	改善点および今後の事業の方向性等								
1-A-d 022 子育て支援サービス情報の提供（子育てガイドブックの作成）	<p>しつけや遊び場など、育児に関する様々な情報を網羅した子育てガイドブックを作成しています。16年度より、毎年度、掲載情報を更新して改訂版を発行することにより、各課で実施している、子育て支援に関する施策についての情報の一元化が図られました。</p> <p>乳児家庭全戸訪問や新生児訪問時に子育てガイドブックを活用することで、各関係機関との連携・協力関係を図りつつ、多くの子育て家庭への情報提供をすることができました。</p> <p>発行部数は7,000部となり1,500部ほど減となりました。情報獲得の方法としてインターネットの利用の増加などが理由と考えられます。</p> <p>必要とされている情報の把握に努め、掲載する情報の変更及び更新をします。</p> <p>引き続き、子育てに関する情報の提供を継続していきます。</p>							26年度目標 (見直し後)	
								必要とされている情報の把握に努め、提供する情報の内容の更新や、情報提供方法の充実に努めます。	
								年度計画及び実績 (事業の進行管理)	
								21年度実績	5,400
								22年度計画	5,400
								22年度実績	6,860
								23年度計画	6,860
								23年度実績	7,500
								24年度計画	7,500
								24年度実績	8,620
								25年度計画	7,500
								25年度実績	8,500
								26年度計画	7,500
								26年度実績	7,000
発行数(部)									
※24年度以降、目標を見直し、変更しました。									
子ども育成課	達成度	○	26効果等	◎	改善等	△	方向性	○	
1-A-d 023 24時間電話等 情報サービス	<p>妊産婦や乳幼児の健康に関することや、乳幼児の事故防止・応急手当等についての情報提供を自動音声による電話及びインターネットにより24時間行っています。</p> <p>この情報提供サービスを周知し、継続して実施しています。子育てサイト「ママフレ」の開始もあり、件数は前年4,235件から3,355件と約1,000件の減でした。</p> <p>平成26年度より、子育てサイト「ママフレ」を開設し、インターネットでの情報提供を新たに開始したこと及び、埼玉県が実施する埼玉県小児救急電話相談（#8000）の利用時間の拡充があり、市民の方への情報提供の機会が十分に確保されていると判断したため、平成26年度末をもって事業終了となりました。</p>							26年度目標 (見直し後)	
								6,000アクセス	
								年度計画及び実績 (事業の進行管理)	
								21年度実績	4,467
								22年度計画	—
								22年度実績	6,111
								23年度計画	—
								23年度実績	5,563
								24年度計画	6,000
								24年度実績	4,196
								25年度計画	6,000
								25年度実績	4,235
								26年度計画	6,000
								26年度実績	3,355
利用数(件)									
子ども育成課	達成度	△	26効果等	○	改善等	—	方向性	×	

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等	
	改善点および今後の事業の方向性等								
1-A-d 024 不妊に関する 情報の提供	<p>不妊治療費助成制度や実施している医療機関、また相談窓口等、不妊に関する情報を、ホームページ等を活用して情報を提供しました。</p> <p>保健センターにパンフレットやポスターの掲示したほか、市ホームページに不妊治療費助成制度の案内を掲載し周知に努めました。</p>							26年度目標 (見直し後)	
								引き続き周知を図っていきます。	
	<p>27年4月より、埼玉県が「男性不妊治療費助成事業」を開始したので、広報紙により周知を実施します。</p> <p>その他、市ホームページの活用及びパンフレットやポスターの掲示により、周知に努めていきます。</p>							年度計画及び実績 (事業の進行管理)	
								21年度実績	—
								22年度計画	—
								22年度実績	2
								23年度計画	—
								23年度実績	1
								24年度計画	—
								24年度実績	0
								25年度計画	—
								25年度実績	0
26年度計画	—								
26年度実績	0								
							広報掲載数(回)		
保健センター	達成度	○	26効果等	○	改善等	○	方向性	○	

1-A-e 子育て家庭などの交流の促進

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等	
	改善点および今後の事業の方向性等								
1-A-e 025 育児サークル 活動等の支援	各公民館等で活動している育児サークル（子どもの健全育成・子育て家庭支援を目指して、地域単位で自主的に活動を行っている団体）の活動場所等に関する情報を掲載した小冊子を作成するとともに、子育てガイドブックや市の広報紙及びホームページに掲載いたしました。							26年度目標 （見直し後）	
								登録された各育児サークルに関する情報の更新・発信に努めます。	
	各育児サークルに関する情報を更新し、地域住民に向けて情報発信を行います。また、他機関や他サークルとの連携を図れるよう、子育てサポートプラザにて実施されているサークル連絡会議への参加を促します。継続して、各育児サークルに関する情報の更新・発信を行います。							年度計画及び実績 （事業の進行管理）	
								21年度実績	26
								22年度計画	—
								22年度実績	26
								23年度計画	—
								23年度実績	45
								24年度計画	—
								24年度実績	57
								25年度計画	—
								25年度実績	59
								26年度計画	—
26年度実績								59	
							活動数（団体）		
							※見直しの結果、計画書に掲載されている数値目標は、事業の性質上適正でないため、文言での表記に変更しました。		
子ども育成課	達成度	◎	26 効果等	○	改善等	△	方向性	○	



事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況		目標及び実績等					
	改善点および今後の事業の方向性等							
1-A-e 003 子育て支援事業（おやこの遊びひろば） 【再掲】	<p>地域のコミュニティづくりの拠点としての実施場所において、週1～3日の3時間、保育士を配置し、0歳から3歳までの子とその保護者に遊び場と情報交換の場を提供するとともに、保護者との話し合いや遊びなどを通じて子育ての不安の解消に努め、子どもの健全な育成を図ります。</p> <p>25年度に比べて、遊び場の提供の開催は3,231回から3,245回に増加し、延べ人数は96,172人から102,468人に増加しました。</p> <p>他方、公開研修会「子育て力 アップ講座」（ひととき保育4回実施）を5回開催し、226人の参加がありました。子育て相談「かかわり記録」は延べ3,080件あり、子育て不安の解消に役立つと利用者からも好評でした。</p> <p>地域のコミュニティの場である公民館等を利用することにより、身近な場所での子育て支援の場を提供することができました。利用者を対象としたアンケートの結果、「サークルタイム」（保育士による手遊びやふれあい遊びの指導）が高い満足度を得ており、親子のふれあいや遊びの啓発に効果がありました。</p> <p>また、安行青少年センター、盛人大学キャンパス、上青木公民館の3か所は「地域子育て支援拠点・サロン型」として開催し、地域の子育て支援機能の充実を図りました。</p>		26年度目標 (見直し後)					
			38か所					
			年度計画及び実績 (事業の進行管理)					
			21年度実績	33	5			
			22年度計画	34	3			
			22年度実績	34	3			
			23年度計画	35	3			
			23年度実績	38	3			
			24年度計画	38	3			
			24年度実績	38	3			
			25年度計画	38	3			
			25年度実績	38	3			
			26年度計画	38	3			
26年度実績	38	3						
		左：委託実施数 (か所)						
		右：ボランティア 実施数 (か所)						
公開研修会「子育て力 アップ講座」では、保護者のニーズに沿ったテーマを選ぶとともに、保護者が集中して受講できるよう託児付講座を積極的に取り入れた研修会を提供します。子育て相談の「かかわり記録」については、必要に応じ、関係機関との連携・協力を図ります。 また、平成27年度は、盛人大学キャンパス、神根西公民館、戸塚公民館において実施時間を拡大いたします。								
子ども育成課	達成度	○	26効果等	◎	改善等	△	方向性	○

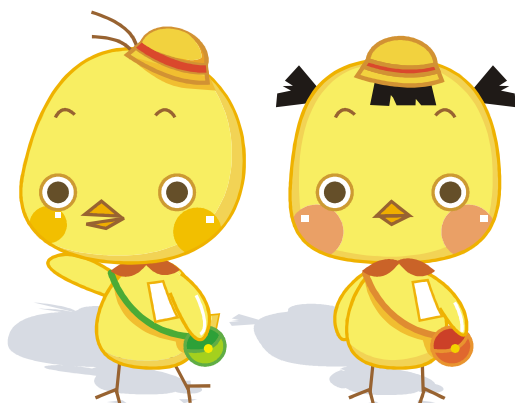


事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等						
	改善点および今後の事業の方向性等													
1-A-e 004 つどいの広場 【再掲】	<p>「子育てサポートプラザ」及び「子育てサポートプラザ『子育てひろばポッポ♡』」、「南鳩ヶ谷地域子育て支援センターにおいて、乳幼児（0～3歳）を持つ子育て中の親子に交流・集いの場を提供し、子育てに関する相談・援助、子育て関連情報の提供、講習の実施などを行います。</p> <p>子育てサポートプラザ及び子育てサポートプラザ「子育てひろばポッポ♡」では、25年度と比較すると、新規登録者数は1,434人で13.7%の増、延べ利用者数は40,773人で1.6%の減となりました。利用者に対して、ふれあい相談（5,131件）、毎回の手遊び・体操、子育てミニ講座（18回）、あそびに関する講座（19回）、身長・体重測定等を実施し、乳幼児とその保護者に交流と学び合いの場を提供しました。</p> <p>また、南鳩ヶ谷地域子育て支援センターでは、登録数は594組、延べ利用数は10,956人でした。利用者に対して、毎月1回の講座や身長・体重測定等を実施しました。</p> <p>「地域子育て支援拠点」として、子育て家庭の親と子どもが気軽に集い、うち解けた雰囲気の中で語り合い、相互に交流を図る場として更に機能していくよう努めます。</p> <p>また、引き続き、子育て講座の充実を図りつつ、利用者のニーズに合わせて、お正月やひな祭りなどのそれぞれの季節に合った親子で行える製作等のあそび講座を実施します。</p> <p>講座の充実や「地域子育て支援拠点」としての機能の充実に努めるとともに、新たなつどいの広場の設置について検討していきます。</p>							26年度目標 (見直し後)						
								5か所						
								年度計画及び実績 (事業の進行管理)						
								21年度実績	1					
								22年度計画	—					
								22年度実績	1					
								23年度計画	1					
								23年度実績	2					
								24年度計画	3					
								24年度実績	3					
								25年度計画	3					
								25年度実績	3					
								26年度計画	5					
								26年度実績	3					
実施施設数（か所）														
子ども育成課							達成度	△	26効果等	◎	改善等	△	方向性	○



1-A-f 一時保育・ショートステイなどの提供

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等		
	改善点および今後の事業の方向性等									
1-A-f 026 一時保育事業	保護者の就労や疾病、冠婚葬祭等の事情により、家庭での保育が一時的に困難な場合にお預りする事業です。 ① 一時保育サービス ② 緊急保育サービス ③ 育児リフレッシュ保育サービス ④ ショートタイム保育サービス							26年度目標 (見直し後)		
								11か所 定員110人		
	本事業を未実施の保育所においては、新たに事業を実施するスペースの確保が難しいことなどから、引き続き現在実施している保育所において事業を継続していくとともに、公立保育所の改築時及び民間保育所の新設の際に事業の実施を検討してまいります。 また、育児リフレッシュ等の利用回数増を求める要望が多いことから、各サービスの利用回数の見直しを図ってまいります。							年度計画及び実績 (事業の進行管理)		
								21年度実績	6	60
								22年度計画	—	—
								22年度実績	6	60
								23年度計画	8	80
								23年度実績	7	70
								24年度計画	9	90
								24年度実績	9	90
								25年度計画	10	100
								25年度実績	10	100
								26年度計画	11	110
								26年度実績	10	100
							左：箇所数(か所) 右：定員(人)			
							※24年度以降、数値目標の変更をしました。			
保育課	達成度	△	26効果等	◎	改善等	△	方向性	◎		



事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等	
	改善点および今後の事業の方向性等								
1-A-f 027 ファミリー・ サポート・ センター事業	<p>地域における子育ての援助を行いたい方（提供会員）と子育ての援助を受けたい方（依頼会員）の会員制度による事業。生後6ヶ月から小学校3年生までの子どもの育児における相互援助活動（保育所への送迎など）を実施することにより、仕事と育児の両立を図り、地域での子育ての支援機能を強化し、親が安心して子育てができる環境作りを行います。</p> <p>実施状況は、年間活動実績数が、6,198件から5,145件に減り、前年度を下回りましたが、仕事と育児の両立を必要とする多くの家庭を支援することができました。</p> <p>26年度は、利用者説明会を14回、サポーター（両方会員含む。）説明会・講習会を6回開催し、延べ539人の参加があり、会員の登録状況については、依頼会員数は25年度の1,047人から1,146人に増え、提供会員は210人から226人に、提供・依頼会員は189人から219人にそれぞれ増えました。</p> <p>提供会員数及び提供・依頼会員数はあまり増加していないため、提供者側の増加が望まれております。</p> <p>また、会員のフォローアップ講習会・交流会・サブリーダー会議8回等の実施により、情報交換や会員同士の交流の活性化、サポーターの資質の向上を図りました。</p> <p>提供会員の定着と会員同士の交流を深めるため、引き続き、フォローアップ講習会や交流会を開催するとともに、提供会員数を増やすため、説明会の継続的な実施に併せて、情報誌の発行により事業のPRを行います。</p> <p>また、関係機関との連絡を密にし、連携・協力関係の向上に努めます。</p> <p>平成27年度からは、子どもの対象年齢を「生後6ヶ月から小学校6年生まで」に拡大いたします。</p>							26年度目標 (見直し後)	
								1か所 利用件数8,400件	
								年度計画及び実績 (事業の進行管理)	
								21年度実績	1 7,294
								22年度計画	1
								22年度実績	1 6,222
								23年度計画	1
								23年度実績	1 6,880
								24年度計画	1 8,160
								24年度実績	1 7,106
								25年度計画	1 8,280
								25年度実績	1 6,198
								26年度計画	1 8,400
								26年度実績	1 5,145
上：箇所数（か所） 下：利用件数（件）									
子ども育成課	達成度	△	26効果等	◎	改善等	○	方向性	○	

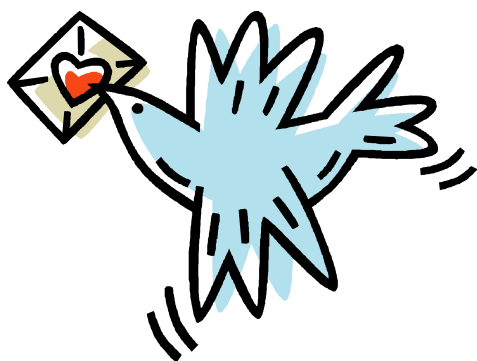
事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等		
	改善点および今後の事業の方向性等									
1-A-f 028 病児・病後児 保育事業	<p>病気または病気の回復期にある子どもが集団保育等をするにはまだ早い場合、医師の許可のもと施設で預かるものです。市内に居住している生後8週間～小学校に就学している児童を対象に、現在、医療法人が開設している施設と委託契約を締結し事業を実施しています。21年度に「病後児保育事業」から病児の預かりもできる「病児・病後児保育事業」に内容の充実を図って実施しております。25年度に定員を6名に拡充するための病児保育室の施設整備を行いました。また、川口市医師会に加入している医院等に病児・病後児保育室の開設に関するアンケートを行いその結果に基づき、前向きな回答を頂いた医療機関と26年度の病児保育室を新規で開設することができました。</p> <p>施設数が市内二ヶ所に増え、年間延べ利用者数が前年に比べ増加し、育児と仕事が両立できる環境を整備することができました。</p> <p>引き続き、子どもの安全・安心に配慮しつつ、本事業の周知と施設の充実などを図ります。</p> <p>また、結果を踏まえ、施設の増加に努めます。</p>							26年度目標 (見直し後)		
								2か所 定員6人		
								年度計画及び実績 (事業の進行管理)		
								21年度実績	1	3<211>
								22年度計画	—	—
								22年度実績	1	3<303>
								23年度計画	1	3
								23年度実績	1	3<347>
								24年度計画	1	3
								24年度実績	1	3<354>
								25年度計画	1	3
								25年度実績	1	6<410>
								26年度計画	2	6
								26年度実績	2	10<679>
子ども育成課	達成度	◎	26効果等	◎	改善等	○	方向性	◎	左：箇所数(か所) 右：定員<延べ利用者>(人) ※24年度以降、数値目標の変更をしました。	
1-A-f 029 子どものショ ートステイ事 業	<p>疾病、出産、看護、事故、災害、冠婚葬祭、転勤、出張、公的行事等の理由で、家庭での養育が一時的に困難になったときに、児童福祉施設で1週間程度預かって養育する制度です。需要が発生した場合に備えて、25年度と同様の施設数を維持しました。</p> <p>事業を委託している乳児院では、児童相談所の措置入所及び一時保護委託の受け入れが優先で、満床に満たない場合に事業の受け入れが可能となっています。</p> <p>26年度に相談はありましたが、この事業での受け入れが難しかったため、児童相談所と連携、検討し他の制度で対応しました。</p> <p>相談業務を通じて利用者のニーズを把握し、各関係機関と連携を図り制度の維持に努めます。需用が生じた場合に対応するため、事業を継続します。</p>							26年度目標 (見直し後)		
								2か所 定員2人		
								年度計画及び実績 (事業の進行管理)		
								21年度実績	2	2
								22年度計画	2	2
								22年度実績	2	2
								23年度計画	2	2
								23年度実績	2	2
								24年度計画	2	2
								24年度実績	2	2
								25年度計画	2	2
								25年度実績	2	2
								26年度計画	2	2
								26年度実績	2	2
子育て相談課	達成度	○	26効果等	○	改善等	○	方向性	○	左：施設数(か所) 右：定員(人)	

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等	
	改善点および今後の事業の方向性等								
1-A-f 030 児童短期入所 事業（障がい 児）	<p>保護者の急病や保護者の介護疲れからの一時的な開放の必要性などの理由により、一時的に家庭以外での介護等が必要となる障がい児が、肢体不自由児施設や知的障害児施設などに短期間入所し、食事、入浴、排泄等の介護や日常生活上の支援を受ける事業です。</p> <p>18年度からは障害者自立支援法、25年度からは障害者総合支援法に規定する事業となっています。</p> <p>事業の利用を希望する保護者からの相談を受け、必要に応じて支給決定を行いました。</p> <p>実績については25年度の79人に対し26年度は71人で、減少傾向となっています。</p> <p>保護者の通院等の確保や、保護者及び障がい児の精神的な疲労の回復などが図られました。</p> <p>事業が必要な障がい児に対し適切な支援が行えるよう、関係機関との連携を図ります。今後も関係機関と連携し、サービス提供に向けた支援をスムーズに行えるよう配慮していきます。</p>							26年度目標 (見直し後)	
								引き続き事業を実施してまいります。	
								年度計画及び実績 (事業の進行管理)	
								21年度実績	43
								22年度計画	—
								22年度実績	42
								23年度計画	—
								23年度実績	54
								24年度計画	—
								24年度実績	66
								25年度計画	—
								25年度実績	79
								26年度計画	—
								26年度実績	71
決定者数(人)									
障害福祉課	達成度	○	26効果等	○	改善等	○	方向性	○	



1-A-g 子育て家庭の経済的支援

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等	
	改善点および今後の事業の方向性等								
1-A-g 031 児童手当支給 事業	<p>中学校終了前までの児童を養育しているかたに児童手当を支給することにより、家庭における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健全な育成及び資質の向上に資することを目的として4か月分を年3回(2・6・10月)に分けて支給します。所得制限があり所得制限額以上の世帯の児童は特例給付として一律5,000円の手当を支給します。</p>							26年度目標 (見直し後)	
								国の制度に基づき引き続き事業を推進します。	
	引き続き制度の周知を図ってまいります。							年度計画及び実績 (事業の進行管理)	
								21年度実績	—
								22年度計画	—
								22年度実績	685,124
								23年度計画	—
								23年度実績	849,416
								24年度計画	—
								24年度実績	909,963
								25年度計画	—
								25年度実績	910,297
								26年度計画	—
26年度実績	908,464								
							延支給児童数(人)		
子ども育成課	達成度	◎	26効果等	◎	改善等	○	方向性	◎	



事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等
	改善点および今後の事業の方向性等							
1-A-g 032 児童扶養手当 支給事業	18歳に達した最初の3月31日までの児童（障がいのある児童は20歳未満まで）を養育している母子家庭・父子家庭・養育者家庭、または、父（母）に一定の障がいがある家庭を対象に、年度3回（8・12・4月）に分けて前月までの4ヶ月分の手当が支給されます。（所得が一定以上であった場合などは除きます。）							26年度目標 （見直し後）
								国の制度に基づき引き続き事業を推進します。
	児童扶養手当法改正により、平成26年12月より公的年金等受給者のうち、公的年金等の額が児童扶養手当の額を下回る場合、その差額分が支給されることとなりました。							年度計画及び実績 （事業の進行管理）
								21年度実績
	22年度計画	—						
	22年度実績	3,596						
	23年度計画	—						
	23年度実績	4,178						
	24年度計画	—						
	24年度実績	4,161						
	25年度計画	—						
	25年度実績	4,158						
	26年度計画	—						
	26年度実績	4,104						
							受給者数（人）	
子ども育成課	達成度	◎	26効果等	◎	改善等	△	方向性	○



事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況								目標及び実績等	
	改善点および今後の事業の方向性等									
1-A-g 033 子ども医療費 支給事業	<p>各種医療保険に加入した子どもを養育している保護者に、子ども（24年10月診療分から、入院・通院ともに15歳年度末(中学校3年生)まで（以前は小学校就学後から15歳年度末(中学校3年生)までの児童は入院のみ）が医療機関にかかったときの保険医療の自己負担分（ただし、附加給付金があるとき、又は他の法令に基づく公費負担額があるときは、支給額からその額を控除した額）を支給します。なお、入院時の食事療養費の負担は支給対象外となります。</p> <p>26年10月から小学校就学後から15歳年度末(中学校3年生)までの児童の受給資格について、所得制限廃止等の支給制限緩和を行いました。</p> <p>引き続き、子育て家庭の経済的、精神的負担の軽減が図れるよう、事業を実施してまいります。</p>								26年度目標 (見直し後)	
									引き続き事業を推進します。	
									年度計画及び実績 (事業の進行管理)	
									21年度実績	513,354
									22年度計画	—
									22年度実績	562,588
									23年度計画	—
									23年度実績	586,107
									24年度計画	—
									24年度実績	783,958
									25年度計画	—
									25年度実績	1,045,173
									26年度計画	—
									26年度実績	1,038,629
支給件数(件)										
子ども育成課	達成度	○	26効果等	◎	改善等	○	方向性	○		
1-A-g 034 ひとり親家庭 等医療費支給 事業	<p>18歳に達した最初の3月31日までの児童(障がいのある児童は20歳未満まで)を養育している母子家庭・父子家庭・養育者家庭、または、父(母)に一定の障がいがある家庭を対象に、その家庭の児童と父・母・養育者に、医療機関にかかったときの保険医療の自己負担分（ただし、附加給付金があるとき、又は他の法令に基づく公費負担額があるときは、支給額からその額を控除した額）を支給します。なお、入院時の食事療養費の負担は支給対象外となります。</p> <p>医療費の支給件数は依然増加傾向にあります。今後も継続して、ひとり親家庭の経済的支援として事業を進めてまいります</p>								26年度目標 (見直し後)	
									引き続き事業を推進します。	
									年度計画及び実績 (事業の進行管理)	
									21年度実績	71,129
									22年度計画	—
									22年度実績	74,551
									23年度計画	—
									23年度実績	83,363
									24年度計画	—
									24年度実績	92,786
									25年度計画	—
									25年度実績	92,838
									26年度計画	—
									26年度実績	95,549
支給件数(件)										
※24年度以降、目標を見直し、変更しました。										
子ども育成課	達成度	○	26効果等	◎	改善等	△	方向性	○		

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等		
	改善点および今後の事業の方向性等									
1-A-g 035 ひとり親家庭 自立支援給付 金事業	<p>25年度より父子家庭の父も対象となり、職業能力の開発を支援し、もってひとり親家庭の自立の促進を図ることを目的として、要件を満たすひとり親家庭の母又は父に対し、以下の給付金を支給するものです。</p> <p>①教育訓練給付金：資格取得のため特定の講座を受講する者に受講に要する費用の20%に相当する額を給付金として支給します。</p> <p>②高等技能訓練促進費等：特定の資格を取得しようとする、ひとり親家庭の母又は父に、受講期間の一定期間中（24年度以前に入学した受講生は3年間、25年度以降入学した受講生は上限2年間）、非課税世帯は月額100,000円、課税世帯は月額70,500円（24年度以前の入学者については非課税世帯月額141,000円、課税世帯については70,500円）を支給します。また、入学時における負担を考慮し、修了後に非課税世帯50,000円（課税世帯については25,000円）の入学支援修了一時金を支給します。</p> <p>教育訓練給付金及び高等技能訓練促進費ともに前年度を下回る実績でしたが、資格取得により就労し、自立を目指すひとり親家庭に効果がありました。</p>							26年度目標 (見直し後)		
								ひとり親家庭の経済的な自立の促進のために給付金を支給します。また、より多くのひとり親家庭に制度を利用してもらえるよう、制度の周知に努めます。		
	ひとり親家庭の経済的な自立促進のために制度の周知に努め、給付金を支給します。							年度計画及び実績 (事業の進行管理)		
								21年度実績	12	12
								22年度計画	—	—
								22年度実績	7	21
								23年度計画	—	—
								23年度実績	6	36
								24年度計画	—	—
								24年度実績	12	34
								25年度計画	—	—
								25年度実績	6	27
	26年度計画	—	—							
26年度実績	2	19								
							左：訓練費給付件数（件）			
							右：促進費給付件数（件）			
子ども育成課	達成度	○	26効果等	◎	改善等	△	方向性	○		

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等	
	改善点および今後の事業の方向性等								
1-A-g 036 幼稚園就園奨励費補助事業	<p>国の基準に基づき幼稚園に通う市内在住園児の保育料を補助し、保護者の経済的負担を軽減します。</p> <p>26年度の実績については、補助対象範囲の拡大に伴い、前年度より対象者数が増加しました。事業を実施したことにより、保護者の負担が軽減されました。</p>							26年度目標 (見直し後)	
								国の基準に基づき引き続き事業を推進します。	
								年度計画及び実績 (事業の進行管理)	
								21年度実績	6,115
								22年度計画	—
								22年度実績	6,520
								23年度計画	6,500
								23年度実績	7,538
	<p>国庫補助事業のため、国の基準に基づいて実施しています。27年度より「市町村民税非課税世帯(市町村民税所得割非課税世帯を含む)」への補助単価が引き上げられる予定です。それらにより、保護者の経済的負担の軽減を行います。</p> <p>また、27年4月の子ども・子育て支援新制度施行を受け、27年度の本事業の対象となるのは、川口市に住民登録があり、子ども・子育て支援新制度に移行しない認可されている私立幼稚園に通園させている方となります。(今年度、川口市にある認可私立幼稚園に通園させている方は対象となります。)</p>							24年度計画	—
								24年度実績	7,461
								25年度計画	—
								25年度実績	7,217
26年度計画								—	
26年度実績								8,325	
							対象者数(人)		
教育総務課	達成度	○	26効果等	○	改善等	○	方向性	○	

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等		
	改善点および今後の事業の方向性等									
1-A-g 037 川口市奨学資金貸付制度	この制度は、高等学校、専修学校（高等課程、専門課程）、短期大学、大学に入学予定または在学中で、市内に居住する世帯に属する者で、経済的な理由により、修学が困難な方に対し無利子で資金を貸し付け、有用な人材の育成を図るものです。近年も厳しい経済状況の中、多くの方の利用がありました。							26年度目標 (見直し後)		
								継続して事業を実施します。		
								年度計画及び実績 (事業の進行管理)		
								21年度実績	144	141
								22年度計画	110	110
								22年度実績	148	145
								23年度計画	150	150
								23年度実績	186	158
								24年度計画	450	150
								24年度実績	502	129
								25年度計画	450	150
								25年度実績	129	102
								26年度計画	450	150
								26年度実績	105	137
依然として利用者数が多く、返還金の回収の強化等を通じ、事業の適正化を図って参ります。							左：修学申請者数(人)			
							右：入学申請者数(人)			
学務課	達成度	○	26効果等	◎	改善等	○	方向性	○		

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等
	改善点および今後の事業の方向性等							
1-A-g 038 母子及び父子 並びに寡婦福 祉資金貸付制 度	母子家庭の母・父子家庭の父及び寡婦（かつて母子家庭の母親であった人）に対し、経済的自立や扶養している子どもの福祉増進のため、必要な資金の貸付を行います。（県制度） 市は、申請書の受付等の事務を行います。 26年度の貸付決定件数は95件で、前年度を上回りました。内容としては、子の修学に関する資金の貸付が多い状況でした。 資金を貸し付けることにより、子どもの進学や母親の就労に向けた技能習得を支援し、生活の安定に資することができました。							26年度目標 （見直し後）
								経済的な支援相談窓口としての役割を担っていきます。また、子どもの進学や母親の就労に必要な資金の貸付のため、事務手続きを遅延なく行うように配慮していきます。
								年度計画及び実績 （事業の進行管理）
								21年度実績 44
	子の修学に関する資金の貸付の需要が高いため、引き続き、円滑に県への進達を行います。							22年度計画 —
								22年度実績 71
								23年度計画 —
								23年度実績 119
								24年度計画 —
								24年度実績 79
								25年度計画 —
								25年度実績 80
								26年度計画 —
								26年度実績 95
							貸付決定件数（件）	
子ども育成課	達成度	○	26効果等	○	改善等	○	方向性	○

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等	
	改善点および今後の事業の方向性等								
1-A-g 039-1 障がい児への療育支援（障害児手当給付事業）	障がい児のいる家庭の経済的負担が軽くなるように、各種事業を行います。							26年度目標 (見直し後)	
	①特別児童扶養手当給付事業 精神または身体に一定の障がいのある20歳未満の児童を家庭で養育しているかたに対し、国から手当が支給されます。(支給の可否については、所定の診断書により判定されます。また、父母及び扶養義務者の所得が一定以上ある場合や児童本人の施設入所等を事由とした支給制限があります。)							引き続き事業を実施してまいります。	
	②障害児福祉手当給付事業 20歳未満で、日常生活において常時介護を要する在宅の重度障がい児に対して、障がいによって生ずる特別な負担の一助として手当が支給されます。(支給の可否については、所定の診断書により判定されます。また、児童本人及び扶養義務者の所得が一定以上ある場合や児童本人の施設入所等を事由とした支給制限があります。)							年度計画及び実績 (事業の進行管理)	
								21年度実績	530 572
								22年度計画	—
								22年度実績	559 587
								23年度計画	—
								23年度実績	650 677
								24年度計画	—
								24年度実績	676 923
								25年度計画	—
								25年度実績	723 904
								26年度計画	—
								26年度実績	711 888
特別児童扶養手当支給者数は25年度が723人に対し26年度は711人、障害児福祉手当の支給期毎の累計数は25年度が904人に対し26年度は888人となっています。 各事業を利用することにより、障がい児のいる家庭の経済的負担の軽減が図られました。							上：特別児童扶養手当支給者数(人) 下：障害児手当支給(人)		
各事業とも障害等級及びニーズに応じて申請を受付し支給を行ってまいります。また、障害者手帳の取得時に保護者に対し各事業の制度を説明する等、申請漏れや支給漏れの無いよう配慮を行ってまいります。									
障害福祉課	達成度	○	26効果等	○	改善等	△	方向性	○	

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等	
	改善点および今後の事業の方向性等								
1-A-g 039-2 障がい児への療育支援（重度心身障害者医療費助成事業）（障がい児）	<p>重度心身障がい児が、医療機関で診察を受けた際に支払う医療費の自己負担分を助成します。（高額療養費、付加給付金など健康保険からの給付金や食事代や部屋代・文書料などの保険外診療は対象外となります。）</p> <p>身体障害者手帳1級から3級のかたで健康保険加入者、療育手帳㊟、A、Bのかたで健康保険加入者、精神保健福祉手帳1級のかたで健康保険加入者が対象となります。但し、精神保健福祉手帳1級の方に関しては65歳未満の場合は精神病床への入院費用については対象外となります。</p> <p>障がい児の保護者に対し、障害者手帳取得時に制度の説明を行い、申請漏れの無いよう配慮しています。</p> <p>受給者数については、25年度605人に対し26年度は597人となっています。</p> <p>障がい児のいる家庭の経済的負担の軽減が図られました。</p> <p>今後も継続して障がい児の保護者に対し、障害者手帳取得時に制度の説明を行い、申請漏れの無いよう配慮いたします。</p> <p>障がい児のいる家庭の経済的負担の軽減が図られることから、今後も継続して事業を取り組みます。</p>							26年度目標 （見直し後）	
								引き続き事業を実施していきます。	
								年度計画及び実績 （事業の進行管理）	
								21年度実績	522
								22年度計画	—
								22年度実績	540
								23年度計画	—
								23年度実績	604
								24年度計画	—
								24年度実績	593
								25年度計画	—
								25年度実績	605
								26年度計画	—
26年度実績	597								
受給者数（人）									
障害福祉課	達成度	○	26効果等	○	改善等	△	方向性	○	

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況								目標及び実績等
	改善点および今後の事業の方向性等								
1-A-g 040 チャイルドシート購入費補助事業	<p>チャイルドシートの設置義務の周知と保護者の経済的負担の軽減を図るため、チャイルドシートを購入した保護者に購入費の一部を補助する事業を実施しています。</p> <p>当初年間500人の支給を見込んでいましたが、24年度から申請受付を随時に変更したことにより、支給者数は年々増加しており、子育て家庭の経済的支援及び子どもの安全・安心の確保に効果があったものと考えられます。</p>								26年度目標 (見直し後)
									事業を継続し、子育て家庭の経済的支援と子どもの安全・安心の確保に努めます。
	<p>チャイルドシートの利用義務化の周知のために開始した事業であるが、事業開始から4年たち、チャイルドシートの利用の義務化が十分に周知されたと考えられるため平成26年度をもって事業終了となりました。</p> <p>経過措置として、平成27年3月31日までに出生し平成27年3月31日までに購入した人に対し、平成27年6月30日まで申請期間の延長をしています。</p>								年度計画及び実績 (事業の進行管理)
									21年度実績
	22年度計画	1,000							
	22年度実績	398							
	23年度計画	800							
	23年度実績	385							
	24年度計画	500							
	24年度実績	601							
	25年度計画	500							
	25年度実績	684							
	26年度計画	500							
	26年度実績	700							
								支給者数(人)	
								※24年度以降、目標を見直し、変更しました。	
子ども育成課	達成度	◎	26効果等	◎	改善等	—	方向性	×	

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況								目標及び実績等	
	改善点および今後の事業の方向性等									
1-A-g 041 3人乗り自転車貸与事業	<p>3人乗り（幼児2人同乗用）自転車を貸与することにより、子育て家庭の経済的負担の軽減を図るとともに、子どもの安全・安心の確保と3人乗り自転車の普及・啓発を図ることを目的として事業を実施しています。</p> <p>市が所有している自転車をほぼすべて貸与している状況です。</p> <p>購入すると高額な3人乗り自転車を安価に貸与することにより、子育て家庭の経済的支援及び子どもの安全・安心の確保に効果があったものと考えられます。</p>								26年度目標 (見直し後)	
									事業を継続し、子育て家庭の経済的支援と子どもの安全・安心の確保に努めます。	
	年度計画及び実績 (事業の進行管理)									
	21年度実績	—								
	22年度計画	100								
	22年度実績	100								
	23年度計画	100								
	23年度実績	225								
	<p>子どもの安全・安心の確保と幼児2人同乗用自転車（3人乗り自転車）の普及・啓発を図ることを目的として実施してまいりましたが、事業開始から4年経過し、事業の目的や自転車の老朽化等の課題も含め、事業の継続につきまして検討してきた結果、平成26年度をもって事業終了とします。</p>								24年度計画	225
									24年度実績	225
									25年度計画	225
									25年度実績	225
									26年度計画	225
									26年度実績	224
								利用者数（人）		
								※24年度以降、目標を見直し、変更しました。		
子ども育成課	達成度	○	26効果等	◎	改善等	—	方向性	×		

1-B-a 定期的な保育サービスなどの提供

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等	
	改善点および今後の事業の方向性等								
1-B-a 042 通常保育事業	未就学児のいる家庭において、保護者の就労等により家庭で児童の保育ができない場合に、認可保育所での保育を実施しています。							26年度目標 (見直し後)	
								74か所 定員6,447人	
								年度計画及び実績 (事業の進行管理)	
	前年度に比べ、新規に私立保育所を4か所整備したことにより285名の定員増加を図りました。							21年度実績	56 5,161
								22年度計画	—
								22年度実績	58 5,281
								23年度計画	59 5,341
								23年度実績	69 6,023
								24年度計画	70 6,113
	今後につきましては、市内の保育ニーズを反映した「川口市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、計画的に認可保育所の整備を進めていきます。							24年度実績	70 6,113
								25年度計画	71 6,237
								25年度実績	71 6,237
								26年度計画	74 6,447
								26年度実績	75 6,522
上：実施箇所数（か所） 下：定員（人）									
※24年度以降、数値目標の変更をしました。									
保育課	達成度	◎	26効果等	◎	改善等	○	方向性	◎	

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等	
	改善点および今後の事業の方向性等								
1-B-a 043 延長保育事業	<p>保育所の在籍児に対し、通常保育の時間帯を超える保育が必要な児童に対応しています。</p> <p>実施状況 公立保育所 7時まで 31か所 8時まで 10か所</p> <p>私立保育所 7時まで 21か所 8時まで 11か所</p> <p>結果、7時まで52か所、8時まで21か所で実施いたしました。</p> <p>今後も新規保育所整備等を図る際、延長保育を実施するよう協議していきます。</p>							26年度目標 (見直し後)	
								19時まで51か所 20時まで21か所	
								年度計画及び実績 (事業の進行管理)	
								21年度実績	42/12
								22年度計画	—
								22年度実績	44/12
								23年度計画	45/12
								23年度実績	44/23
								24年度計画	51/17
								24年度実績	51/17
								25年度計画	51/18
								25年度実績	51/18
								26年度計画	51/21
								26年度実績	52/21
箇所数(か所) 19時まで/20時まで									
※24年度以降、数値目標の変更をしました。									
※23年度は、20時までの施設の内、3施設は19時15分まで、4施設は19時30分まで。									
保育課	達成度	◎	26効果等	◎	改善等	○	方向性	◎	

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等		
	改善点および今後の事業の方向性等									
1-B-a 044 休日保育事業	通常保育を利用する家庭を対象に、休日においても就労等により保育に欠ける状況にある児童の保育を行うものです。 21年度、22年度、23年度、24年度、25年度、26年度は未実施です。							26年度目標 (見直し後)		
								1か所 定員20人		
	これまで需要が少なかったことに加え、「川口市子ども・子育て支援事業計画」におけるニーズ調査においても需要が少ないことから、実施方法も含め十分に検討していきます。							年度計画及び実績 (事業の進行管理)		
								21年度実績	0	0
								22年度計画	—	—
								22年度実績	0	0
								23年度計画	1	20
								23年度実績	0	0
								24年度計画	1	20
								24年度実績	0	0
								25年度計画	1	20
								25年度実績	0	0
								26年度計画	1	20
								26年度実績	0	0
							左：箇所数(か所) 右：定員(人)			
保育課	達成度	△	26効果等	△	改善等	△	方向性	○		

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等		
	改善点および今後の事業の方向性等									
1-B-a 045 子どものトワイライトステイ事業	<p>保護者の残業などで帰りが遅くなり、夜間に、家庭での養育が困難な子どもについて、保育所等の終了時から保護者が帰宅する時間（概ね午後10時）まで、児童福祉施設等にて子どもを預かる制度です。</p> <p>事業を展開するための拠点数は、25年度と同じ数を維持しました。</p> <p>25年度は父子家庭の児童1名で273日の利用がありました。26年度も利用を継続していましたが、年度の途中で事業利用の必要性がなくなり、以後、利用希望者が無かったため、日数は129日と前年度を下回りました。</p> <p>利用を希望するひとり親家庭の保護者の帰宅の遅れは恒常的であり、ひとり親家庭の仕事と育児の両立のために必要とされる支援をすることができ、事業の効果は十分に得られました。</p>							26年度目標 (見直し後)		
								1か所 定員10人		
	<p>事業を展開するための拠点数は、25年度と同じ数を維持しました。</p> <p>25年度は父子家庭の児童1名で273日の利用がありました。26年度も利用を継続していましたが、年度の途中で事業利用の必要性がなくなり、以後、利用希望者が無かったため、日数は129日と前年度を下回りました。</p> <p>利用を希望するひとり親家庭の保護者の帰宅の遅れは恒常的であり、ひとり親家庭の仕事と育児の両立のために必要とされる支援をすることができ、事業の効果は十分に得られました。</p> <p>引き続き相談業務を通じて利用者のニーズを把握し、サービスの改善と制度の維持に努め、当該事業の委託を受けている施設、市、その他関係機関との連携を密にして、情報の共有、事務の連携を図りながら、適切な利用のための運営に努めます。</p> <p>26年度の目標は定員10名としましたが、22年度以降利用希望者数が定員を上回ったことはないため、すぐに定員を増やすことはせず、状況を見て事業を実施していきます。</p>							年度計画及び実績 (事業の進行管理)		
								21年度実績	1	10
								22年度計画	1	8
								22年度実績	1	5
								23年度計画	1	5
								23年度実績	1	5
								24年度計画	1	5
								24年度実績	1	5
25年度計画	1	5								
<p>引き続き相談業務を通じて利用者のニーズを把握し、サービスの改善と制度の維持に努め、当該事業の委託を受けている施設、市、その他関係機関との連携を密にして、情報の共有、事務の連携を図りながら、適切な利用のための運営に努めます。</p> <p>26年度の目標は定員10名としましたが、22年度以降利用希望者数が定員を上回ったことはないため、すぐに定員を増やすことはせず、状況を見て事業を実施していきます。</p>							25年度実績	1	5	
							26年度計画	1	10	
							26年度実績	1	5	
							左：箇所数(か所) 右：定員(人)			
子育て相談課	達成度	○	26効果等	○	改善等	○	方向性	○		

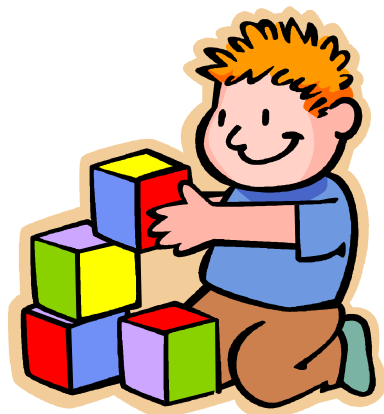


事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等	
	改善点および今後の事業の方向性等								
1-B-a 046 留守家庭児童 保育事業	<p>小学校低学年（特別支援学級児童は6年生までを対象）児童のいる家庭を対象に、保護者の就労などにより、平日の放課後及び学校休業日（夏休み等）に家庭が留守になっている場合、対象児童の在籍している小学校内の留守家庭児童保育室で保育し、児童の健全な育成に至っていますが、9年6月に児童福祉法が改正され、本事業は放課後児童クラブ「放課後児童健全育成事業」として児童福祉法並びに社会福祉法に位置づけられ、子育て支援事業の一環として、より一層の充実、専門性の確立、システムの合理性などを図る必要があります。</p> <p>26年度も利用者数は増加したものの、待機児童ゼロを継続するため、施設の拡充等、受け入れ態勢の確保に努めて参りました。</p> <p>現在、原則として各小学校の余裕教室等を利用していますが、学校選択制・学習指導要領の改正などにより、余裕教室が減少していることから、今後はプレハブの設置による施設の確保を進めていく必要があります。また、16年3月に「埼玉県放課後児童クラブ運営基準」が示されたことにより、各保育室の運営・環境整備が急務であり、その経費の確保が重要な課題となっています。また、毎年入室希望者数が高水準で推移し、受け入れ態勢の整備に努力しているところです。</p>							26年度目標 (見直し後)	
								待機児童ゼロ	
								年度計画及び実績 (事業の進行管理)	
								21年度実績	47 2,913
								22年度計画	62 2,790
								22年度実績	62 2,963
								23年度計画	—
								23年度実績	67 3,153
								24年度計画	—
								24年度実績	68 3,380
								25年度計画	—
								25年度実績	79 3,511
								26年度計画	—
								26年度実績	79 3,600
							上：箇所数（ヶ所） 下：定員（人） ※待機児童ゼロのため数値目標は設定せず、合併により箇所数が増加したものの、利用者数は全市的に頭打ち傾向にあることから、今後も現在の利用状況をベースに、待機児童ゼロを継続していきます。		
学務課	達成度	◎	26 効果等	◎	改善等	○	方向性	◎	



事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等			
	改善点および今後の事業の方向性等										
1-B-a 047 障害児保育事業	<p>保育所での集団保育が可能な障がい児に対して、保育を実施しています。</p> <p>障がい児の受け入れ人数や障がいの重い子も年々増加しており、関係機関と連携を図りながら対応をしています。</p> <p>また、専門研修や臨床心理士等による巡回指導を行なうことで、障がい児の理解と支援に努めています。</p>							26年度目標 (見直し後)			
								障がい児の入所方法や受け入れ保育所の体制について検討していきます。			
	<p>子ども・子育て支援新制度の施行により、小規模保育事業所においても、障がい児の受け入れを行ないます。</p> <p>今後も健全児・障がい児が互いに理解し刺激を受け成長発達ができるよう、巡回指導の充実を図り、それぞれの障がい児に適切に対応できるよう努めていきます。</p>							年度計画及び実績 (事業の進行管理)			
								21年度実績	41	258	
	22年度計画	—	—								
	22年度実績	41	266								
	23年度計画	—	—								
	23年度実績	38	287								
	24年度計画	—	—								
	24年度実績	52	284								
	25年度計画	—	—								
	25年度実績	58	319								
	26年度計画	—	—								
	26年度実績	59	301								
							左：箇所数（か所） 右：実人員（人）				
保育課	達成度	○	26 効果等	○	改善等	○	方向性	○			
1-B-a 048 家庭保育室事業	<p>需要が高い低年齢児（0～2歳児）に対するための補完施設として重要な役割を担っています。</p> <p>前年に比べ施設数及び定員数に変更はありません。</p>							26年度目標 (見直し後)			
								47か所 定員626人			
	<p>子ども・子育て支援新制度の施行に伴い、一部の家庭保育室が小規模保育事業所や認可保育所へ移行していきます。</p> <p>今後の家庭保育室制度のあり方については、子ども子育て支援事業計画を踏まえ、検討してまいります。</p>							年度計画及び実績 (事業の進行管理)			
								21年度実績	41	479	
	22年度計画	—	—								
	22年度実績	40	530								
	23年度計画	44	556								
	23年度実績	47	608								
	24年度計画	47	626								
	24年度実績	47	626								
	25年度計画	47	626								
	25年度実績	47	626								
	26年度計画	47	626								
	26年度実績	47	626								
							左：箇所数（か所） 右：実人員（人）				
							※24年度以降、数値目標の変更をしました。				
保育課	達成度	○	26 効果等	○	改善等	○	方向性	△			

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況						目標及び実績等	
	改善点および今後の事業の方向性等							
1-B-a 049 保育士研修	公立保育所・民間保育所において、保育及び子育て支援に必要な知識やスキルの向上を図るため、計画的に実施しています。						26年度目標 (見直し後)	
							研修内容も時代や子どもに合った専門的知識や技術の習得に努めます。	
							年度計画及び実績 (事業の進行管理)	
							21年度実績	10/910 53
							22年度計画	—
							22年度実績	10/938 47
							23年度計画	10回
							23年度実績	10/984 48
							24年度計画	12回
							24年度実績	12/1125 83
							25年度計画	13
							25年度実績	13/1182 84
							26年度計画	13
							26年度実績	13/1217 71
子ども子育て支援新制度に伴い、小規模保育事業所の保育士及び保育従事者についても、保育の質の向上を図るため、対象者を拡充し、研修を実施していきます。						上：研修回数／参加者数（回／人） 下：派遣研修参加者数（人）		
保育課	達成度	○	26効果等	○	改善等	○	方向性	◎



事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等	
	改善点および今後の事業の方向性等								
1-B-a 050 幼稚園における預かり保育事業	<p>幼稚園は市の合併後に私立・市立合せて45園ありますが、そのうち現在、私立幼稚園の40か所が預かり保育を実施しています。</p> <p>各施設とも保育時間は、午後2時に始まり午後5時から7時までが多いようです。26年度実績のアンケート結果では、24年度に比べて利用者数（平均）が増加しました。</p> <p>○平日の預かり保育の1日平均利用者数の推移 （実施39園の平均利用者数の合計）</p> <p>20年度：1日平均利用者数 455人 22年度：1日平均利用者数 495人 24年度：1日平均利用者数 761人 26年度：1日平均利用者数 840人</p>							26年度目標 （見直し後）	
								引き続き実施していきます。	
	<p>必要に応じて、アンケート調査を行います。</p>							年度計画及び実績 （事業の進行管理）	
								21年度実績	—
								22年度計画	—
								22年度実績	495
								23年度計画	—
								23年度実績	—
								24年度計画	—
								24年度実績	761
								25年度計画	—
								25年度実績	—
	26年度計画	—							
26年度実績	840								
							1日の平均利用者数 （人）		
私立幼稚園	達成度	◎	26効果等	◎	改善等	—	方向性	—	

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等	
	改善点および今後の事業の方向性等								
1-B-a 051 第三者評価事業	<p>従来、保育所の運営主体は、自治体又は社会福祉法人のみとされてきたところですが、国の規制緩和により学校法人、株式会社等の法人も保育所を運営することが可能となりました。また、保護者のニーズの多様化に伴い、保育の量の拡充だけでなく、質の向上が求められており、保育所運営に対する公正公平な評価を行うことが課題となっています。</p> <p>現在、指定管理者が運営する公設民営保育所を対象とし、その手法を取り入れた評価を行っているところであり、指定管理者が運営する11保育所について、福祉部内に設置した指定管理者評価委員会で評価を行いました。評価項目については、埼玉県福祉サービス第三者評価事業の評価基準（保育所）を基に、一部独自の評価項目を加味し作成するとともに、保育所利用者満足度調査（利用者アンケート）を行い、指定管理者の評価を実施しました。</p> <p>各指定管理者には、評価結果を通知することにより、結果を活かし、更なる保育の質の向上に努めるよう促すことにより、一定の成果を得ることができたものと考えます。</p> <p>引き続き第三者評価の手法を取り入れた保育所の評価事業を継続実施していく方針です。</p>							26年度目標 (見直し後)	
								今後は、第三者機関への委託化についてもさらに調査・研究します。	
								年度計画及び実績 (事業の進行管理)	
								21年度実績	10
								22年度計画	10
								22年度実績	10
								23年度計画	10
								23年度実績	10
								24年度計画	—
								24年度実績	11
								25年度計画	—
								25年度実績	11
								26年度計画	—
								26年度実績	11
評価対象保育所数 (か所)									
保育課	達成度	○	26効果等	○	改善等	○	方向性	○	

2-A-a 子どもの健康の確保・増進

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況						目標及び実績等	
	改善点および今後の事業の方向性等							
2-A-a 052 母子健康手帳 等交付	<p>妊娠届を提出した妊婦に対し、保健センター、市民課、各支所、駅連絡室、駅前行政センターにおいて母子健康手帳を交付しています。妊娠中の記録や、子どもの出産・育児に関する成長や予防接種の記録などを記入してもらい、健康状態を良好に保てるよう支援しています。また母子健康手帳と併せて、母子保健サービスのリーフレットやパンフレットを作成・配布し周知を図っています。「妊産婦にやさしい環境づくり」の推進の一環としてマタニティキーホルダーを全妊婦に配布しています。</p>						26年度目標 (見直し後)	
							今後、同規模の交付を実施していきます。	
							年度計画及び実績 (事業の進行管理)	
							21年度実績	5,381
							22年度計画	—
							22年度実績	5,169
							23年度計画	—
							23年度実績	5,339
							24年度計画	—
							24年度実績	5,726
							25年度計画	—
							25年度実績	5,521
	26年度計画	—						
26年度実績	5,790							
交付人数(人)								
保健センター	達成度	○	26効果等	○	改善等	△	方向性	○

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等	
	改善点および今後の事業の方向性等								
2-A-a 053 妊婦健康診査	<p>母子健康手帳交付時に、妊婦健康診査（14回分）、子宮頸がん検査、HIV抗体検査(エイズにかかるウイルスの抗体検査)クラミジア検査（クラミジア細菌膣分泌液検査）、HTLV-1抗体検査（ヒトT細胞白血病ウイルス1型抗体検査）の受診票・助成券を交付しています。</p> <p>また、委託外医療機関で受診した妊婦には、助成金を交付しています。</p> <p>妊娠中の疾病や異常を早期に発見し、適切な健康管理、保健指導を行ない、丈夫な赤ちゃんを安全に出産できるよう支援しています。</p>							26年度目標 (見直し後)	
								受診件数 60,000人	
								年度計画及び実績 (事業の進行管理)	
								21年度実績	—
								22年度計画	5,000
								22年度実績	5,169 56,232
								23年度計画	5,000
								23年度実績	5,339 58,696
								24年度計画	60,000
								24年度実績	63,319
								25年度計画	60,000
								25年度実績	62,109
								26年度計画	60,000
								26年度実績	63,416
								<p>27年度より埼玉県内全市町村において、全ての券が助成券に統一されます。</p> <p>妊婦が利用する、より多くの医療機関と契約し、妊婦健康診査助成券を利用できるようにしていきます。</p>	
<p>※24年度以降、計画書の数値目標の指標を変更しました。</p> <p>※実績 上：交付人数（人） 下：受診件数（人）</p>									
保健センター	達成度	○	26効果等	○	改善等	△	方向性	○	

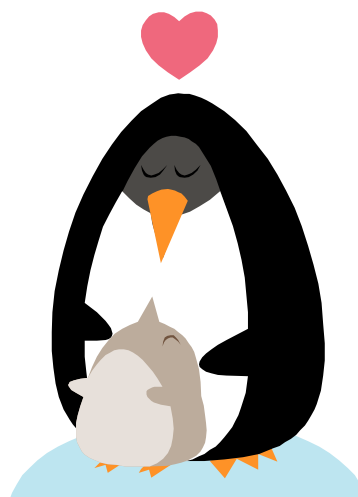
事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等	
	改善点および今後の事業の方向性等								
<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">2-A-a</div> 054 妊婦歯科健康 診査	<p>妊娠4～8か月の妊婦を対象に、口腔衛生の改善を図ることを目的に、「マタニティママの歯の健康教室」と併せて実施し、歯科医師による講義及び歯科健診、歯科衛生士によるブラッシング指導を行なっています。</p> <p>26年度から、会場により出席者数にばらつきがあるため、保健センターでの実施を2回増やし8回、鳩ヶ谷分室での実施を2回減らし4回実施しました。</p> <p>歯科健康診査と教室を同時に開催することにより、妊婦自らが口腔状態を知り、正しい知識を得て、う歯や歯周病などの予防に対して行動変容ができるよう支援しました。</p> <p>27年度についても保健センターでの実施を8回、鳩ヶ谷分室では4回実施し、年12回開催していきます。</p>							26年度目標 (見直し後)	
								開催回数 12回	
								年度計画及び実績 (事業の進行管理)	
								21年度実績	9 247
								22年度計画	9
								22年度実績	9 205
								23年度計画	9
								23年度実績	9 163
								24年度計画	12
								24年度実績	12 191
								25年度計画	12
								25年度実績	8 156
								26年度計画	12
								26年度実績	12 166
上：開催回数（回） 下：受診者数（人）									
※24年度以降、数値目標の変更をしました。									
保健センター	達成度	○	26効果等	○	改善等	△	方向性	○	

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況						目標及び実績等		
	改善点および今後の事業の方向性等								
<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">2-A-a</div> 055 母性健康管理 指導事項連絡 カードの活用 啓発	働く女性の母性健康管理、母性保護について、働きながら安心して子どもを産むことができるよう「母性健康管理指導事項連絡カード」の周知、活用を啓発しています。機会を捉えて実施できました。パンフレットの配布や母子手帳の交付により啓発しました。また、ウェルカムBaby教室においては講義の中で説明しました。						26年度目標 (見直し後)		
							パンフレットやポスターの掲示、妊娠届出時、ウェルカムBaby(母親教室、両親教室)等により啓発していきます。今後は、周知方法等の改善も検討していきます。		
							年度計画及び実績 (事業の進行管理)		
							21年度実績	—	
							22年度計画	—	
							22年度実績	12	
							23年度計画	12	
							23年度実績	12	
							24年度計画	—	
							24年度実績	12	
							25年度計画	—	
							25年度実績	18	
							26年度計画	—	
							26年度実績	18	
27年度も前年同様に引き続き実施していきます。									
保健センター	達成度	○	26効果等	○	改善等	△	方向性	○	母子教室開催回数(回)

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等	
	改善点および今後の事業の方向性等								
2-A-a 056 3・4か月児 健康診査	3～5か月未満の乳児を対象に、市内委託医療機関において問診・身体計測・診察等を行っています。 実績値は前年度並みでした。乳児の発育・発達を明らかにし、疾病や異常を早期に発見し、適切な各種指導を行い、乳児の健康の保持増進が図られました。							26年度目標 (見直し後)	
								受診率 95.0%	
	委託医療機関と打ち合わせをし、健診内容や問診項目等の改善や健診事後指導の必要な乳児の把握等連携を図ります。周知方法等の改善を図り、受診率の向上、未受診児の状況把握をしていきます。							年度計画及び実績 (事業の進行管理)	
								21年度実績	94.1
								22年度計画	95
								22年度実績	92.7
								23年度計画	95
								23年度実績	92.5
								24年度計画	95
								24年度実績	93.5
								25年度計画	95
								25年度実績	93.9
	26年度計画	95							
26年度実績	93.8								
受診率 (%)									
保健センター	達成度	○	26効果等	○	改善等	△	方向性	○	
2-A-a 057 1歳6か月児 健康診査	1歳6か月～2歳未満の幼児を対象に、市内委託医療機関において問診・身体計測・診察等を行っています。 25年度と比較し、実績値は1.1ポイント上回りました。幼児の発育や運動機能、視聴覚、精神発達の評価を行い、疾病や異常を早期に発見し適切な各種指導を行うことで、心身障害の進行を未然に防ぐとともに、必要なケアや療育等の相談指導を行い、幼児の健康の保持増進が図られました。							26年度目標 (見直し後)	
								受診率 90.0%	
	委託医療機関と連携し、健診内容や問診項目等の改善のほか、健診事後指導の必要な幼児の把握等連携に努めます。 周知方法等の改善を図り、受診率の向上、未受診児の状況把握をしていきます。							年度計画及び実績 (事業の進行管理)	
								21年度実績	87.7
								22年度計画	90
								22年度実績	88.0
								23年度計画	90
								23年度実績	88.0
								24年度計画	90
								24年度実績	91.0
								25年度計画	90
								25年度実績	91.9
	26年度計画	90							
26年度実績	93.0								
受診率 (%)									
保健センター	達成度	◎	26効果等	◎	改善等	△	方向性	○	

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等	
	改善点および今後の事業の方向性等								
<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">2-A-a</div> 058 1歳6か月児 歯科健康診査	1歳6か月～2歳未満の幼児を対象に、市内委託医療機関において歯科健康診査を行っています。また、1歳6か月～3歳未満の幼児を対象に、フッ化物塗布を2回実施しています。 健診を行うことにより、幼児の乳歯う蝕予防及び進行阻止等に努め、歯科保健の向上が図られました。							26年度目標 (見直し後)	
								受診率 80.0%	
								年度計画及び実績 (事業の進行管理)	
								21年度実績	72.3
								22年度計画	80
								22年度実績	73.7
								23年度計画	80
								23年度実績	73.7
	27年度も引き続き実施していきます。周知方法を改善し、受診率の向上を図っていきます。							24年度計画	80
								24年度実績	74.0
								25年度計画	80
								25年度実績	73.3
								26年度計画	80
								26年度実績	73.2
							受診率 (%)		
保健センター	達成度	△	26効果等	○	改善等	○	方向性	○	

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等
	改善点および今後の事業の方向性等							
2-A-a 059 「かばさんの 歯の教室」	1歳6か月児歯科健康診査受診者のうち、歯科医師が事後指導の必要があると判断した幼児に加え、「広報かわぐち」やホームページ等で周知を行ない、対象者を拡大し、講義、ブラッシング指導等を行う教室を実施しました。 むし歯の原因、幼児の食事とおやつについての講義や、ブラッシング指導を通じて幼児の歯科保健についての知識普及が図られました。							26年度目標 (見直し後)
								開催回数 4回
	27年度も引き続き実施していきます。「広報かわぐち」やホームページだけではなく、1歳6か月児歯科健康診査の通知文とともに周知することにより、参加数の増加を見込んでいます。							年度計画及び実績 (事業の進行管理)
								21年度実績
	22年度計画	3						
	22年度実績	6 164						
	23年度計画	3						
	23年度実績	5 170						
	24年度計画	4						
	24年度実績	8 187						
	25年度計画	4						
	25年度実績	8 227						
	26年度計画	4						
26年度実績	8 200							
							上：開催回数（回） 下：参加者数（人）	
							※24年度以降、数値目標の変更をしました。	
保健センター	達成度	◎	26効果等	○	改善等	△	方向性	○



事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等	
	改善点および今後の事業の方向性等								
2-A-a 019 10か月児健康相談 【再掲】	9～10か月の乳児を対象として、10か月児健康相談を実施しています。会場は、保健センター、芝公民館、戸塚公民館、鳩ヶ谷分室で開催しています。回数は、毎月5回で年間60回開催しています。 子どもの発育発達の確認の場としてだけでなく、保護者が子育ての悩みを相談する場としても活用されています。 26年度は、対象児5,310人に対して、4,396人(82.8%)が来所しています。これは、26年度計画値を15.7%上回っています。							26年度目標 (見直し後)	
								延べ利用者数 3,800人	
	3・4か月児健康診査と1歳6か月児健康診査の間で実施することにより、乳児の成長・発達を確認できる貴重な集団健康相談の場となっています。 来所者が増加するよう、周知方法等を工夫し、引き続き本事業を実施していきます。							年度計画及び実績 (事業の進行管理)	
								21年度実績	3,519
								22年度計画	3,500
								22年度実績	3,599
								23年度計画	3,500
								23年度実績	3,757
								24年度計画	3,800
								24年度実績	4,109
								25年度計画	3,800
								25年度実績	4,225
	26年度計画	3,800							
	26年度実績	4,396							
							延べ利用者数(人)		
							※24年度以降、数値目標の変更をしました。		
保健センター	達成度	◎	26効果等	○	改善等	△	方向性	○	
2-A-a 060 3歳児健康診査	3歳6か月～4歳0か月の幼児を対象に、保健センターと鳩ヶ谷分室の2か所で、3歳児健康診査を実施しています。受診率は83.4%で、25年度と比較して3.4%上回りました。 前年度と同様に、内科、歯科健診の他、心理相談員を配置することにより、子どもの情緒や精神発達等に関する相談、育児の悩みや負担感等を持つ保護者への相談が充実されました。							26年度目標 (見直し後)	
								受診率80.0%	
	受診率を上げるため、引き続き、保育所や幼稚園への協力依頼、対象児への受診勧奨文の通知を実施します。また、外国語版の通知等を用意し外国人のかたの受診率向上を目指します。							年度計画及び実績 (事業の進行管理)	
								21年度実績	75.7
								22年度計画	80
								22年度実績	76.6
								23年度計画	80
								23年度実績	79.5
								24年度計画	80
								24年度実績	76.8
								25年度計画	80
								25年度実績	80
	26年度計画	80							
	26年度実績	83.4							
							受診率(%)		
保健センター	達成度	◎	26効果等	○	改善等	△	方向性	○	

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等		
	改善点および今後の事業の方向性等									
2-A-a 020 幼児相談 【再掲】	<p>発育・発達が気になる幼児とその保護者を対象に、保健師及び心理相談員等が今後の幼児への関わり方や進路などについて相談に応じています。保健センター会場で毎月1回、保健センター鳩ヶ谷分室会場で2か月に1回（年6回）実施しています。計画どおり実施することができました。</p> <p>幼児の精神的、身体的、社会的な成長・発達を支援し、保護者の育児不安の軽減に努めました。</p> <p>引き続き、幼児の発達や情緒に関する相談内容に適切な対応ができるように専門職やスタッフの配置を充実し、他機関との連携を図ります。</p> <p>26年度に新設された子育て相談課に親子教室が移管されたため、それに伴う幼児相談のニーズの変化等に柔軟に対応し、保護者がわかりやすく、安心して相談できる場を提供していきます。</p>							26年度目標 (見直し後)		
								実施回数 18回		
								年度計画及び実績 (事業の進行管理)		
								21年度実績	16	193
								22年度計画	16	—
								22年度実績	16	222
								23年度計画	18	—
								23年度実績	18	198
								24年度計画	18	—
								24年度実績	18	176
								25年度計画	18	—
								25年度実績	18	184
								26年度計画	18	—
26年度実績	18	165								
左：実施回数(回) 右：相談者数(人)										
※24年度以降、数値目標の変更をしました。										
保健センター	達成度	○	26効果等	○	改善等	△	方向性	○		
2-A-a 061 学校における 健康教育	<p>児童・思春期の健やかな成長への支援体制づくりの一環として、児童生徒の心身の健康づくりに関する知識の普及・情報提供などを実施しています。</p> <p>学校からの依頼等、必要に応じた情報提供をしました。</p> <p>27年度も引き続き情報提供などを実施していきます。また、「地域保健・学校保健連絡会」での情報提供により学校との連携を図っていきます。</p>							26年度目標 (見直し後)		
								学校保健・地域保健連絡会での情報交換により、必要に応じて健康教育の情報を提供していきます。		
								年度計画及び実績 (事業の進行管理)		
								21年度実績	0	
								22年度計画	—	
								22年度実績	2	
								23年度計画	—	
								23年度実績	3	
								24年度計画	—	
								24年度実績	7	
								25年度計画	—	
								25年度実績	5	
								26年度計画	—	
26年度実績	2									
開催回数(回)										
保健センター	達成度	○	26効果等	○	改善等	△	方向性	○		

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							事業実績及び 目標事業量等	
	改善点および今後の事業の方向性等								
2-A-a 062 小児医療の充 実（小児夜間 等救急診療事 業）	<p>休日や夜間の小児救急患者に対応するため、平日の20時から23時までを川口市医師会の医療機関が当番制で診療し、平日の23時から翌日8時までと土曜日の18時から翌日8時まで及び日曜・祝日・休日・年末年始の17時から翌日8時までを、3医療機関（川口市立医療センター、済生会川口総合病院、埼玉協同病院）が交替で診療し、小児夜間救急診療事業を実施しています。</p> <p>子育て中の両親に対して小児医療の現状をご理解いただくとともに、子どもの病気や急病時の病院へのかかり方を学んでいただくために小児医療啓発講座を年4回開催しています。</p> <p>また、大切な救急医療を守るために、ホームページを積極的に活用した広報を実施し、適正受診の啓発をしています。</p>							26年度目標 （見直し後）	
								診療日数 365日	
								年度計画及び実績 （事業の進行管理）	
								21年度実績	365 9,055
								22年度計画	—
								22年度実績	365 8,323
								23年度計画	—
								23年度実績	366 10,113
								24年度計画	365
								24年度実績	365 9,560
								25年度計画	365
								25年度実績	365 9,385
								26年度計画	365
								26年度実績	365 8,978
<p>軽症患者による安易な夜間・休日の受診により、医師の負担が増加していることが問題となっています。</p> <p>本当に救急医療を必要とする小児患者が、適切な医療を受けられるように、現在の小児夜間救急体制を維持するためには、かかりつけ医を持ち、休日や夜間の安易な受診を控えるなど受診者のモラル向上のための啓発を行っていく必要があります。そこで、救急医療の適正受診などについてチラシなどを配布し啓発していきます。</p> <p>また、子育て中の方に対して小児医療の現状をご理解いただくとともに、子どもの病気や急病時の病院へのかかり方を学んでいただくための小児医療啓発講座を今後も継続し開催していきます。</p>									
保健衛生課	達成度	◎	26効果等	○	改善等	△	方向性	○	

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等		
	改善点および今後の事業の方向性等									
2-A-a 021 親子教室 【平成25年度までは保健センター、保育課による親子遊戯指導事業（プレイルーム）として実施。】 【再掲】	【低年齢クラス（満2歳～2歳児）】 発達の遅れが心配される幼児（満2歳～2歳児）とその保護者を対象に集団指導を行いました。7回コースで保護者への相談・指導に中心に置いた内容とし、子どもとの関係性の取り方などを伝えていくことができました。 親子の小グループでの遊びを通しての集団指導により、遊びを通して直接的に子どもへの発達の促しと保護者への相談・指導を行い家庭での養育をサポートしました。 3つのグループに分け、それぞれ月2回実施しており、次のステップにつなげています。関係機関と連携を図りながら進めました。							26年度目標 （見直し後） 2～3歳の幼児とその保護者を対象に、3グループでそれぞれ月1～2回実施しており、次のステップにつなげています。 未就園の3歳児とその保護者を対象に、2～3グループ、月2～4回実施。幼稚園を利用している4、5歳児とその保護者を対象に、1～2グループで月2回実施します。		
	【未就園3歳児クラス】 発達の遅れが心配される未就園の3歳児とその保護者、また幼稚園を利用している4、5歳児とその保護者を対象に月2回～3回、小集団や個別による指導を実施し、幼児の成長発達の助長を図ります。また、保護者への相談・指導を行い家庭での養育をサポートしています。							年度計画及び実績 （事業の進行管理）		
								21年度実績	151	1,225
								22年度計画	166	—
								22年度実績	163	954
								23年度計画	165	—
								23年度実績	167	1,030
								24年度計画	—	—
								24年度実績	164	1,153
								25年度計画	—	—
								25年度実績	164	1,231
								26年度計画	—	—
								26年度実績	163	1,153
							左：実施回数(回) 右：参加者数(人)			
							※計画書に合わせ、24年度以降の数値目標は、設定しておりません。			
							※24年度までの実績と計画値は、保健センターと保育課を合算しています。			
子育て相談課	達成度	○	26効果等	○	改善等	△	方向性	○		

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等	
	改善点および今後の事業の方向性等								
2-A-a 063 予防接種	予防接種法に基づく定期予防接種を実施しています。 個別接種（通年で委託医療機関において実施） 対象接種 Hib 感染症・小児の肺炎球菌感染症・ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ・結核・麻しん・風しん・日本脳炎・水痘・ヒトパピローマウイルス感染症							26年度目標 （見直し後）	
								引き続き推進していきます。	
	26年10月から水痘を定期予防接種として実施しています。 また、日本脳炎予防接種が完了していない特例措置対象者に対して引き続き積極的勧奨を行います。 国の通知等にしたが、予防接種法に基づいた予防接種の周知に努め、接種対象者への勧奨を推進していきます。							年度計画及び実績 （事業の進行管理）	
								21年度実績	57,853
								22年度計画	—
								22年度実績	74,288
								23年度計画	—
								23年度実績	147,063
								24年度計画	—
								24年度実績	141,190
								25年度計画	—
								25年度実績	114,556
								26年度計画	—
								26年度実績	115,908
							接種者数（人）		
保健センター	達成度	○	26効果等	○	改善等	△	方向性	○	

2-A-b 食育の推進

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等		
	改善点および今後の事業の方向性等									
2-A-b 064 保育所における食育の推進	ひらがな献立表、野菜の栽培、自分達で作るクッキング保育等を通じて食に対する意識を啓発するとともに、行事食を取り入れることで食文化の伝承を図っています。 児童に対しては、給食の食材を教材とした食育指導を実施しました。 保護者に対しては、保護者用献立表、給食の展示、試食会等で食に対する意識を啓発しており、給食を通して、保護者と児童の食への興味・関心が高まりました。							26年度目標 (見直し後)		
								30 保育所		
	保護者あてに月1回「食育だより」を作成しており、食に関する情報提供のほか、給食で提供している人気献立レシピや旬の食材を紹介しています。 また、平成26年度より料理の由来や食材についてまとめた「給食一口メモ」を作成し、給食時に保育士から話してもらっています。栄養士による児童への食育指導も引き続き実施していきます。							年度計画及び実績 (事業の進行管理)		
								21年度実績	—	
								22年度計画	—	
								22年度実績	27	
								23年度計画	—	
								23年度実績	31	
								24年度計画	30	
								24年度実績	30	
								25年度計画	30	
								25年度実績	30	
	26年度計画	30								
	26年度実績	30								
達成度							実施箇所数 (か所)			
							※24年度以降、数値目標の設定をしました。			
保育課	達成度	○	26効果等	◎	改善等	△	方向性	○		
2-A-b 012 離乳食講習会 【再掲】	3~5か月の乳児とその保護者を対象に、乳児の正しい食生活習慣を身に付けることを目的に、講義・デモンストレーション・試食・相談等を年間24回実施しています。参加人数については前年度とほぼ同等の実績がありました。 離乳食の初期・中期・後期についての講義や試食、相談等を行うことにより、離乳食に対する理解をより深めることが出来ました。							26年度目標 (見直し後)		
								開催回数 24回		
	27年度はより多くの方に参加していただけるよう、保健センターだけではなく鳩ヶ谷分室でも実施します。育児支援の一環として3~5か月の乳児を持つ保護者を対象に事業を継続していきます。							年度計画及び実績 (事業の進行管理)		
								21年度実績	—	1,149
								22年度計画	24	800
								22年度実績	22	1,167
								23年度計画	24	—
								23年度実績	24	1,215
								24年度計画	24	960
								24年度実績	24	1,284
								25年度計画	24	—
								25年度実績	24	1,335
	26年度計画	24	—							
	26年度実績	24	1253							
達成度							左：開催回数 (回) 右：参加者数 (人)			
保健センター	達成度	○	26効果等	○	改善等	○	方向性	○		

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等		
	改善点および今後の事業の方向性等									
2-A-b 013 幼児食講習会 【再掲】	1歳～1歳6か月の幼児とその保護者を対象に、幼児の正しい食生活習慣を身に付けることを目的に、講義・試食・相談等を年間8回実施しています。参加人数については前年度を上回る実績がありました。 幼児食やおやつについての講義や試食、相談等を行うことにより、幼児食に対する理解をより深めることが出来ました。							26年度目標 (見直し後)		
								開催回数 8回		
	27年度も引き続き実施し、参加希望のかたに充分対応していきます。育児支援の一貫として、1歳～1歳6か月の幼児を持つ保護者を対象に事業を継続していきます。							年度計画及び実績 (事業の進行管理)		
								21年度実績	—	290
								22年度計画	6	150
								22年度実績	6	305
								23年度計画	6	—
								23年度実績	8	322
								24年度計画	8	240
								24年度実績	8	356
								25年度計画	8	—
								25年度実績	8	439
	26年度計画	8	—							
	26年度実績	8	452							
							左：開催回数(回) 右：参加者数(人)			
							※24年度以降、数値目標の変更をしました。			
保健センター	達成度	◎	26効果等	○	改善等	△	方向性	○		
2-A-b 065 食育教室	5、6歳の幼児とその保護者を対象に、食に対する興味を深め、かつ、子どもが健やかに育つよう調理実習、講義、試食、相談等を年間2回実施するよう計画しましたが、26年度は、参加者が集まらず1回の実施でした。							26年度目標 (見直し後)		
								開催回数 2回		
	27年度も引き続き実施し、参加希望の方に対応していきます。 5、6歳の幼児を対象に夏休み・冬休みを利用して参加できるように計画していきます。 参加人数が減少傾向にあるので、周知方法、内容、日程、教室名などについて検討します。							年度計画及び実績 (事業の進行管理)		
								21年度実績	2	45
								22年度計画	2	
								22年度実績	2	84
								23年度計画	2	
								23年度実績	2	61
								24年度計画	2	
								24年度実績	2	37
								25年度計画	2	
								25年度実績	2	26
	26年度計画	2								
	26年度実績	1	14							
							上：開催回数(回) 下：参加者数(人)			
保健センター	達成度	△	26効果等	○	改善等	○	方向性	○		

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等
	改善点および今後の事業の方向性等							
2-A-b 066 小・中学校での食に関する指導推進事業	<p>児童生徒の朝食欠食や孤食等の解消と、望ましい食習慣を確立するために「学校における食に関する指導」として学校訪問（小学校12校、中学校6校、合計18校）を実施しました。</p> <p>また、8月に「食に関する指導推進講座」を実施し、小学校1校、中学校1校の実践発表を行いました。</p> <p>年々、教職員の「食に関する指導」への意識が高まってきており、家庭への啓発も積極的になってきています。加えて、学校給食におけるアレルギー対応への理解を進めています。</p> <p>栄養教諭・学校栄養職員等のTTによる授業も増えてきており、学校現場における指導体制も充実してきています。</p> <p>また、食を通じて地域等を理解することや失われつつある食文化の継承を図ること、自然の恵みや勤労の大切さなどを理解することをねらいとし、地域人材の積極的な活用が図られ、専門性を生かした食に関する指導が実践されました。</p>							26年度目標 (見直し後)
								訪問校数 20校
								年度計画及び実績 (事業の進行管理)
								21年度実績 18
								22年度計画 17
								22年度実績 18
								23年度計画 18
								23年度実績 18
								24年度計画 20
								24年度実績 20
								25年度計画 20
								25年度実績 21
								26年度計画 20
								26年度実績 18
							訪問校数(校)	
<p>27年度も例年どおり実施していきます。</p> <p>年度当初の給食主任会において、学校における食に関する指導の推進、給食の時間における食に関する指導内容、学校における給食主任の役割について説明します。</p> <p>また、小・中学校ともに指導課学校訪問に同行し、食に関する指導を行います。27年度は小学校13校、中学校6校を訪問する計画となっています。</p> <p>8月には「食に関する指導推進研修会」を開催します。食育を積極的に推進している学校・給食センターの取組を市内小・中学校に発表することで、各学校でのより一層の食に関する指導の推進を図ります。</p>							※24年度以降、数値目標の変更をしました。	
学校保健課	達成度	○	26効果等	○	改善等	△	方向性	○

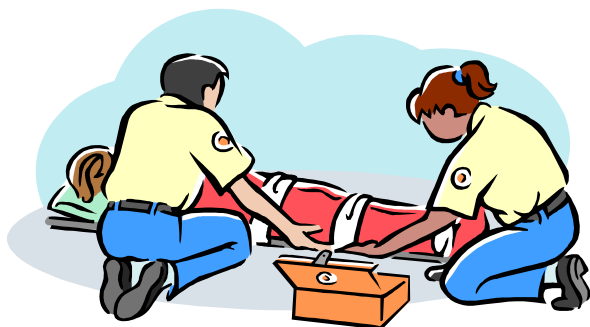
2-A-c 障がい児の発育・発達の支援

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等	
	改善点および今後の事業の方向性等								
2-A-c 067 放課後等デイサービス事業	<p>児童福祉法で規定する事業で、障がい児に対し日常生活における基本的な動作の指導、集団生活への適応訓練などを実施する通所事業です。</p> <p>事業の利用を希望する保護者からの相談を受け、必要に応じて支給決定を行いました。</p> <p>実績数については25年度の317人に対し26年度は405人に増加しました。</p> <p>また、市内の事業所数は、25年度の21事業所に対し26年度は31事業所と増加し、利便性が向上しました。</p> <p>事業を必要とする障がい児に対し適正な支援を行なうことにより、本人の日常生活及び社会生活上の改善が図られました。</p> <p>24年4月から障害者自立支援法に規定する事業から児童福祉法に規定する事業に変更となりました。</p> <p>市内での放課後等デイサービス事業は、25年度は21事業所で行っていましたが、26年度は新たに10事業所が事業を開始して実施しています。</p> <p>障がい児を持つ家庭からの要望が多い事業であり、今後も事業所の確保を図っていきます。</p>							26年度目標 (見直し後)	
								引き続き事業を実施してまいります。	
								年度計画及び実績 (事業の進行管理)	
								21年度実績	110
								22年度計画	—
								22年度実績	141
								23年度計画	—
								23年度実績	219
								23年度実績	9
								24年度計画	—
								24年度実績	246
								24年度実績	10
								25年度計画	—
								25年度実績	317
25年度実績	21								
26年度計画	—								
26年度実績	405								
26年度実績	31								
上：決定者数（人）									
下：事業所数 (事業所)									
障害福祉課	達成度	◎	26効果等	○	改善等	○	方向性	○	

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等	
	改善点および今後の事業の方向性等								
2-A-c 068 障がい児の就学支援・教育体制の整備	<p>障がいのある幼児・児童・生徒の適正な就学を進めるために、一人一人の状況に応じた就学相談・指導の充実を図るとともに、子ども一人一人の実態に応じた指導ができるように研修の充実や施設の整備を図りました。</p> <p>特別支援教育コーディネーター研修会については、幼・小・中・高すべての特別支援教育コーディネーターが参加することにより、障がいの特性を理解し、校内における役割や個別の指導計画の立て方等を明確にし、就学に関わることに際しても共通理解を図ることができました。</p> <p>特別支援学級新担当者研修会により、教育課程の編成および特別支援学級への理解と指導の充実を図りました。</p> <p>講演・演習により、障がいをもつ子どもの理解や校内の特別支援教育の在り方についての認識を深めることができました。</p>							26年度目標 (見直し後)	
								特別支援教育コーディネーター研修会 参加人数 84人	
								年度計画及び実績 (事業の進行管理)	
								21年度実績	74
									14
								22年度計画	—
								22年度実績	77
									19
								23年度計画	77
									20
								23年度実績	77
									14
								24年度計画	85
								24年度実績	85
25年度計画	84								
25年度実績	84								
26年度計画	84								
26年度実績	84								
<p>川口市の就学支援のシステムを説明し、通常における特別な配慮を要する児童生徒への理解と適正な就学指導のための知識を深めました。また、校内支援体制の充実を図るために基礎的な実態把握及び具体的な支援の手立てに関する知識と指導方法について協議し、指導力の向上を図りました。今後も、就学支援・教育体制の整備、充実に努めます。</p>							特別支援コーディネーター 研修会参加人数(人)		
							※平成24年度以降、計画書の数値目標の指標に合わせました。		
							※23年度まで		
							上：特別支援コーディネーター 研修会参加人数(人)		
							下：特別支援学級新担当者 研修会参加人数(人)		
指導課	達成度	○	26効果等	◎	改善等	○	方向性	○	

2-B-a 学校教育の充実

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等	
	改善点および今後の事業の方向性等								
2-B-a 069 小・中・高校生に対する救命講習事業	<p>小学校 6年生を対象とした体験型の救急講習（45分）や救命入門コース（90分）を実施しています。</p> <p>中学生を対象に、授業枠での救急講習（50分）や救命入門コース（90分）、また要望に基づき部活動・委員会単位での各種救命講習を実施しています。</p> <p>毎年実施されている「きらり川口ゆめワーク」において、普通救命講習を実施しています。</p> <p>夏休み期間中に、「中学生」限定救命講習会（3時間30分）を実施し、ジュニア救命士認定証を交付しています。</p> <p>高等学校では、保健委員等の生徒を中心とした各種救命講習を毎年継続して実施しています。</p>							26年度目標 (見直し後)	
								川口市内全校実施	
								年度計画及び実績 (事業の進行管理)	
								21年度実績	—
								22年度計画	—
								22年度実績	3 388
								23年度計画	53
								23年度実績	10 352
								24年度計画	52
								24年度実績	16 677
								25年度計画	52
								25年度実績	20 1217
								26年度計画	52
								26年度実績	24 1148
							小学校数（校）		
<p>小学校での実施目標を市内全校（52校）とします。</p> <p>子どもたちに「救急車を待っているだけでは助からない大切ないのち」について伝えます。</p> <p>小学校では、心肺蘇生法とAED体験、中学校及び高等学校では、学校側の企画に基づいた救命講習や一般公募の救命講習にも参加することができます。また、夏休み期間中に実施している「中学生」限定救命講習会を、平成27年度から、小学校6年生でも受講できるよう対象を拡充させ、より多くの児童生徒がジュニア救命士を取得できるようにしました。</p> <p>このように、成長段階に合わせ応急手当について学ぶことで、いざというときに助け合う心と知識を持った子どもたちの育成に貢献します。</p> <p>子どもたちの受講者数が増えるよう、広報による周知の拡充及び関係部局との連携を強化してまいります。</p>							<p>※目標の「川口市内全校実施」とは全小学校の数です。</p> <p>※平成21・22年度の事業実績及び目標事業量等については、未実施のため「—」です。</p> <p>上：小学校数（校） 下：中高生人数（人）</p>		
救急課	達成度	△	26効果等	○	改善等	△	方向性	○	



事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等	
	改善点および今後の事業の方向性等								
2-B-a 070 心の教育や道徳授業に関する研修事業	<p>各校において道徳教育の推進役となる道徳教育推進教師（市立小・中・高等学校各校より1名）を対象に、子供一人一人に豊かな心を育むための道徳教育、道徳の時間のあり方や、道徳教育推進教師の役割について研修を深め、さらに国や県の最新の動向についての情報を提供することを通して、指導力の向上を図ります。</p> <p>26年度は、特定研修として市内全小・中・高等学校から各1名が参加し、実施いたしました。研修の成果として、いじめ等が社会問題となり、世論の道徳教育への期待が一層高まる中、道徳教育、道徳の時間の重要性を一層教師が自覚し、児童生徒の心を育むことへの意識が高まっています。</p>							26年度目標 (見直し後)	
								特定研修参加 人数 82人	
								年度計画及び実績 (事業の進行管理)	
								21年度実績	71 45
								22年度計画	74 45
								22年度実績	72 37
								23年度計画	74 45
								23年度実績	84 27
								24年度計画	83
								24年度実績	83
								25年度計画	82
								25年度実績	82
								26年度計画	82
								26年度実績	79
							特定研修参加者(人)		
<p>道徳教育推進教師の指導力の向上を通して、各学校における道徳教育の充実と児童生徒の豊かな心の育成につなげることを目指します。参加者が、理論的な理解を深め、実践の紹介を通して充実へのイメージをもち、道徳教育推進教師の役割を果たすための具体策を学ぶことができる内容に充実していきます。また、道徳教育推進教師の他に、希望者も参加できるようにし、研修も1回から3回に増やします。理論や実践の視点、学校の推進体制を構築するリーダーとしての視点から、即活用できる研修会とします。</p>							<p>※平成24年度以降、計画書の数値目標の指標に合わせました。</p> <p>※23年度まで、 上：特定研修参加者(人) 下：希望研修参加者(人)</p>		
指導課	達成度	○	26効果等	◎	改善等	○	方向性	○	



事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等	
	改善点および今後の事業の方向性等								
2-B-a 071 教育相談支援 員の配置	<ul style="list-style-type: none"> 教育相談支援員（すこやか相談員、サポート相談員）は、児童生徒との触れ合い活動を通しての相談・援助や保護者との相談に応じ、中学校区における児童生徒のいじめや不登校等の問題の解決を目指します。 スクールカウンセラーは、教職員や保護者への指導・助言を行うとともに児童生徒の心の相談にあたり、健全な児童生徒の育成を図ります。 中学校区を中心として、5校がスクールカウンセラー単独配置校、21校がスクールカウンセラー2校配置校となり、あわせて17名のスクールカウンセラーが配置されました。市費の教育相談支援員（すこやか相談員、サポート相談員）は、中学校26校に各1名ずつ52名の配置です。 スクールカウンセラーの効果的な活用が図れました。また、全市立中学校に相談員を適切に配置することによって、相談室の運営が滞りなく行われ、家庭訪問や個別の相談なども充実しています。それぞれの連携がうまく図れることにより、相談室利用の児童生徒との関わりも密にとれるようになっていきます。 							26年度目標 (見直し後)	
								教育相談支援員数 52人	
								年度計画及び実績 (事業の進行管理)	
								21年度実績	19 48
								22年度計画	9 48
								22年度実績	19 48
								23年度計画	9 48
								23年度実績	20 54
								24年度計画	54
								24年度実績	54
								25年度計画	52
								25年度実績	52
								26年度計画	52
								26年度実績	52
教育相談支援員数 (人)									
<p>※平成24年度以降、計画書の数値目標の指標に合わせました。</p> <p>※23年度まで、 上：スクールカウンセラー(人) 下：教育相談支援員数(人)</p>									
指導課	達成度	○	26効果等	◎	改善等	○	方向性	○	



事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況						目標及び実績等	
	改善点および今後の事業の方向性等							
2-B-a 072 カウンセリング研修事業	<p>【生徒指導・教育相談初級部会】</p> <p>市立小・中学校の教諭を対象にカウンセリングマインドや教育相談の手法を修得することにより、不登校問題やいじめ問題、非行問題等への指導力の向上を図ります。また、校内の生徒指導・教育相談の推進者として必要な理論や技法、態度等を習得し、生徒指導・教育相談の充実に積極的に寄与できるよう実践力の向上を図ります。</p> <p>「生徒指導・教育相談中級部会」の参加人数は、ここ数年大きな変動はありませんが、積極的に学ぶ姿勢のある若い教員が増えつつあるように感じられます。</p> <p>研修に参加した教員は、講義と演習・協議のプログラムをとおして、指導力・実践力を向上させ、校内の生徒指導・教育相談の推進者として、生徒指導・教育相談の組織と活動の充実に寄与できるようになっています。</p>						26年度目標 (見直し後)	
							中級部会の参加人数30人 初級部会廃止	
							年度計画及び実績 (事業の進行管理)	
							21年度実績	20 3
							22年度計画	30 10
							22年度実績	19 2
							23年度計画	30 10
							23年度実績	23 5
							24年度計画	30
							24年度実績	27
							25年度計画	30
							25年度実績	22
							26年度計画	30
							26年度実績	21
<p>「生徒指導・教育相談中級部会」の研修のプログラムについては、規定されたものであり、大きな変更はありません。</p> <p>「生徒指導・教育相談初級部会」につきましては、18年度より、初任者研修の研修内容に初級カウンセリングが導入されたため、県主催の初級カウンセリング研修が22年度で終了となりました。市でも、初級部会の参加希望者数が減少傾向にあることや、25年度以降は受講希望者がいないこと、県の生徒指導・教育相談中級研修会の受講者応募資格が変更したことから、26年度より廃止といたしました。</p> <p>なお、受講者応募資格につきましては、16年度以降の5年経験者研修修了者及び18年以降の初任経験者研修修了者並びに本採用教員として4年以上の経験を有する者に変更され、「生徒指導・教育相談中級部会」の参加資格は緩和されております。</p>						中級部会の参加数(人)		
						※平成24年度以降、計画書の数値目標の指標に合わせました。		
						※23年度まで 上：中級部会の参加数(人) 下：初級部会の参加数(人)		
指導課	達成度	○	26効果等	○	改善等	○	方向性	○

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等	
	改善点および今後の事業の方向性等								
<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">2-B-a</div> 061 学校における 健康教育 【再掲】	児童・思春期の健やかな成長への支援体制づくりの一環として、児童生徒の心身の健康づくりに関する知識の普及・情報提供などを実施しています。 学校からの依頼等、必要に応じた情報提供をしました。							26年度目標 (見直し後)	
								学校保健・地域保健 連絡会での情報交換 により、必要に応じ て健康教育の情報を 提供していきます。	
								年度計画及び実績 (事業の進行管理)	
								21年度実績	0
	22年度計画	—							
	22年度実績	2							
	23年度計画	—							
	23年度実績	3							
	27年度も引き続き情報提供などを実施していきます。また、「地 域保健・学校保健連絡会」での情報提供により学校との連携を 図っていきます。							24年度計画	—
								24年度実績	7
								25年度計画	—
								25年度実績	5
								26年度計画	—
								26年度実績	2
							開催回数(回)		
保健センター	達成度	○	26効果等	○	改善等	△	方向性	○	

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等	
	改善点および今後の事業の方向性等								
<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">2-B-a</div> 066 小・中学校での食に関する指導推進事業【再掲】	<p>児童生徒の朝食欠食や孤食等の解消と、望ましい食習慣を確立するために「学校における食に関する指導」として学校訪問（小学校12校、中学校6校、合計18校）を実施しました。</p> <p>また、8月に「食に関する指導推進講座」を実施し、小学校1校、中学校1校の実践発表を行いました。</p> <p>年々、教職員の「食に関する指導」への意識が高まってきており、家庭への啓発も積極的になってきています。加えて、学校給食におけるアレルギー対応への理解を進めています。</p> <p>栄養教諭・学校栄養職員等のTTによる授業も増えてきており、学校現場における指導体制も充実してきています。</p> <p>また、食を通じて地域等を理解することや失われつつある食文化の継承を図ること、自然の恵みや勤労の大切さなどを理解することをねらいとし、地域人材の積極的な活用が図られ、専門性を生かした食に関する指導が実践されました。</p>							26年度目標 (見直し後)	
								訪問校数 20校	
								年度計画及び実績 (事業の進行管理)	
								21年度実績	18
								22年度計画	17
								22年度実績	18
								23年度計画	18
								23年度実績	18
								24年度計画	20
								24年度実績	20
								25年度計画	20
								25年度実績	21
								26年度計画	20
								26年度実績	18
							訪問校数(校)		
<p>27年度も例年どおり実施していきます。</p> <p>年度当初の給食主任会において、学校における食に関する指導の推進、給食の時間における食に関する指導内容、学校における給食主任の役割について説明します。</p> <p>また、小・中学校ともに指導課学校訪問に同行し、食に関する指導を行います。27年度は小学校13校、中学校6校を訪問する計画となっています。</p> <p>8月には「食に関する指導推進研修会」を開催します。食育を積極的に推進している学校・給食センターの取組を市内小・中学校に発表することで、各学校でのより一層の食に関する指導の推進を図ります。</p>							※24年度以降、数値目標の変更をしました。		
学校保健課	達成度	○	26効果等	○	改善等	△	方向性	○	

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等	
	改善点および今後の事業の方向性等								
2-B-a 068 障がい児の就学支援・教育体制の整備 【再掲】	<p>障がいのある幼児・児童・生徒の適正な就学を進めるために、一人一人の状況に応じた就学相談・指導の充実を図るとともに、子ども一人一人の実態に応じた指導ができるように研修の充実や施設の整備を図りました。</p> <p>特別支援教育コーディネーター研修会については、幼・小・中・高すべての特別支援教育コーディネーターが参加することにより、障がいの特性を理解し、校内における役割や個別の指導計画の立て方等を明確にし、就学に関わることにおいても共通理解を図ることができました。</p> <p>特別支援学級新担当者研修会により、教育課程の編成および特別支援学級への理解と指導の充実を図りました。</p> <p>講演・演習により、障がいをもつ子どもの理解や校内の特別支援教育の在り方についての認識を深めることができました。</p>							26年度目標 (見直し後)	
								特別支援教育コーディネーター研修会 参加人数 84人	
								年度計画及び実績 (事業の進行管理)	
								21年度実績	74
									14
								22年度計画	—
								22年度実績	77
									19
								23年度計画	77
									20
								23年度実績	86
									20
								24年度計画	85
								24年度実績	85
<p>川口市の就学支援のシステムを説明し、通常における特別な配慮を要する児童生徒への理解と適正な就学指導のための知識を深めました。また、校内支援体制の充実を図るために基礎的な実態把握及び具体的な支援の手立てに関する知識と指導方法について協議し、指導力の向上を図りました。今後も、就学支援・教育体制の整備、充実に努めます。</p>							25年度計画	84	
							25年度実績	84	
							26年度計画	84	
							26年度実績	84	
							特別支援コーディネーター研修会参加人数(人)		
							※計画書に合わせ、平成24年度以降の数値目標を特別支援コーディネーター研修会参加人数のみにしました。		
							※23年度まで 上：特別支援コーディネーター研修会参加人数(人) 下：特別支援学級新担当者研修会参加人数(人)		
指導課	達成度	○	26 効果等	◎	改善等	○	方向性	○	



事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等	
	改善点および今後の事業の方向性等								
2-B-a 073 学校評議員制度	<p>市立小・中・高等学校に地域の方や保護者を学校評議員として3～5名を委嘱し、学校運営について意見を聞き、地域の声を反映する開かれた学校づくりを進めます。</p> <p>評議員の皆様からは「学校へ行く機会が多くなり、地域の学校が身近に感じられるとともに現状を知ることができた」「日頃感じている事を学校に伝えることができた」との意見が多く、また、学校側も実践的な意見に基づき、地域の声をより学校に反映させていくために有効な制度であると考えています。</p>							26年度目標 (見直し後)	
								継続して事業を実施します。	
	<p>学校関係者評価について、学校評議員の皆様を中心に引き続き実施しています。</p> <p>24年4月から、学校評議員設置要綱に任期を加えまして、より多くの方に学校運営に関わっていただき、地域の声を反映する開かれた学校づくりを進めます。</p>							年度計画及び実績 (事業の進行管理)	
								21年度実績	306
								22年度計画	300
								22年度実績	321
								23年度計画	300
								23年度実績	358
								24年度計画	—
								24年度実績	356
								25年度計画	—
								25年度実績	356
	26年度計画	—							
	26年度実績	330							
委嘱者数(人)									
学務課	達成度	○	26効果等	○	改善等	△	方向性	○	
2-B-a 074 地域保健・学校保健連絡会	<p>児童・思春期の健やかな成長を支援する体制づくりの一環として、地区担当保健師と学校の養護教諭及び学校保健関係者との「地域保健・学校保健連絡会」を開催しています。地域の現状や課題を共有し、支援の方向性の話し合い、地域や学校での処遇困難な事例の検討などを行うことができました。</p>							26年度目標 (見直し後)	
								開催回数9回	
	<p>27年度も引き続き実施していきます。前年度と同様に地区ブロック単位で実施予定です。</p>							年度計画及び実績 (事業の進行管理)	
								21年度実績	8
								22年度計画	8
								22年度実績	8
								23年度計画	8
								23年度実績	8
								24年度計画	9
								24年度実績	9
								25年度計画	9
								25年度実績	9
	26年度計画	9							
	26年度実績	9							
開催回数(回)									
※24年度以降、数値目標の変更をしました。									
保健センター 学校保健課	達成度	○	26効果等	○	改善等	△	方向性	○	

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等
	改善点および今後の事業の方向性等							
2-B-a 075 きらり川口夢 わーく体験事 業	市立中学校の1年生、または2年生全員が3日間の職場体験を行います。地域での様々な社会体験活動や多くの人々とのふれあいをおして、みずみずしい感性や社会性、自立心を養い、たくましく豊かに生きる力を育みます。また、自らの生き方を考え、生涯にわたり豊かな自己実現を図ることのできる能力や態度を育てることをねらいとしています。							26年度目標 (見直し後)
								実施校数 26校
								年度計画及び実績 (事業の進行管理)
								21年度実績 24
								22年度計画 24
								22年度実績 24
								23年度計画 24
								23年度実績 24
								24年度計画 27
								24年度実績 26
	25年度と同様に26校で実施する予定です。事前・事後指導の体系化を図り、体験活動の成果をその後の学校生活に生かせるようにするとともに、キャリア教育の一環としての位置づけを明確にして指導の充実を図ります。							25年度計画 26
								25年度実績 26
								26年度計画 26
								26年度実績 26
指導課	達成度	○	26効果等	◎	改善等	△	方向性	○
2-B-a 076 川口市高等学 校就職カウ ンセラー	市立高等学校3校に、就職についての専門指導員(就職カウンセラー)を各校1名配置し、職業意識の啓発、求職相談、求人情報の収集、進路指導の補助など、高校生の就職指導の実践的な補助・支援を行います。26年度計画値どおりです。26年度の県内求人件数は昨年度より増加傾向となりましたが、新規高卒者の就職は依然として厳しい状況にあります。的確な相談やアドバイスにより、就職(内定)状況は25年度より向上しました。							26年度目標 (見直し後)
								専門指導員数 3人
								年度計画及び実績 (事業の進行管理)
								21年度実績 3
								22年度計画 3
								22年度実績 3
								23年度計画 3
								23年度実績 3
	一人一人に対応した、よりきめ細かなアドバイスや面接指導を行います。今後とも事業を継続することにより、26年度と同様以上の成果を見込んでいます。							24年度計画 3
								24年度実績 3
								25年度計画 3
								25年度実績 3
								26年度計画 3
								26年度実績 3
指導課	達成度	○	26効果等	○	改善等	△	方向性	○



事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等		
	改善点および今後の事業の方向性等									
2-B-a 077 高等学校進路 指導担当教諭 と市内企業と の意見交換会	川口商工会議所雇用対策委員会と協力して市内、県内近隣及び東京地区の高等学校の中から、市内企業への過去の送出実績の高い学校の進路指導主事を招き、川口の産業について認識を深めてもらい、もって市内企業への若年労働者（新規学卒者）の確保を図ることを目的に開催した。							26年度目標 (見直し後)		
	実施日：平成26年6月3日 会場：川口駅前市民ホール フレンディア							開催回数1回		
	参加企業及び高等学校からは高評価を得ているので、今後も市内企業及び高等学校のニーズの把握に努めながら事業を継続します。							年度計画及び実績 (事業の進行管理)		
	達成度	○	26効果等	○	改善等	△	方向性	○	21年度実績	1
									22年度計画	1
									22年度実績	1
									23年度計画	1
									23年度実績	1
									24年度計画	1
									24年度実績	1
									25年度計画	1
									25年度実績	1
									26年度計画	1
									26年度実績	1
								開催回数(回)		
労政課	達成度	○	26効果等	○	改善等	△	方向性	○		
2-B-a 078 福祉教育推進 員	車いすやアイマスク、高齢者疑似の体験学習を通じ、高齢者や障がい者に関わらず誰もが一緒に生活し支えあう大切さを知り、自分にできることは何かを考える機会とする「福祉教育」を推進するために構築しているボランティア体制です。							26年度目標 (見直し後)		
	学校からの依頼時期に偏りはありましたが、7,768人の児童・生徒に体験学習を実施し、豊かな福祉観の醸成を促すことができました。							推進員数54人		
	また、体制整備・育成のため福祉教育推進員ボランティア養成講座を開催しました。							年度計画及び実績 (事業の進行管理)		
	達成度	△	26効果等	○	改善等	○	方向性	○	21年度実績	27校
									22年度計画	70校
									22年度実績	85校
									23年度計画	70校
									23年度実績	77校
									24年度計画	30人
									24年度実績	22人
									25年度計画	30人
									25年度実績	20人
									26年度計画	54人
									26年度実績	24人
								推進委員数(人)		
								※平成24年度以降、計画書の数値目標の指標に合わせました。		
								※23年度まで学校延数(校)		
社会福祉協議会	達成度	△	26効果等	○	改善等	○	方向性	○		

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等	
	改善点および今後の事業の方向性等								
<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">2-B-a</div> 079 エコ・スクールン（環境出前講座）	<p>「環境教育・環境学習」の支援を図るため、環境に関する豊かな経験や知識を有する市民・事業者をエコ・スクールン講師として、環境教育を実施する学校に派遣し、環境講座を実施します。</p> <p>26年度は、「環境教育・環境学習」に熱心な学校で実施したため、学校と児童、及び、地域でのパートナーシップ形成とリーダー育成に大変効果がありました。</p>							26年度目標 （見直し後）	
								継続して事業を実施します。	
	<p>環境出前講座エコ・スクールンを実施していない学校に積極的にPRしていきます。また、他にも市内で環境保全活動をしている個人・団体へ応募を呼びかけていきます。</p>							年度計画及び実績 （事業の進行管理）	
								21年度実績	13
								22年度計画	—
								22年度実績	14 24
								23年度計画	—
								23年度実績	11 20
								24年度計画	—
								24年度実績	14 12
								25年度計画	—
								25年度実績	14 24
								26年度計画	—
								26年度実績	14 21
							上：登録団体数（団体） 下：実施回数（回）		
地球高温化対策室	達成度	△	26効果等	○	改善等	○	方向性	○	

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等	
	改善点および今後の事業の方向性等								
<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">2-B-a</div> 080 3R出張講座	<p>市内各小・中学校や市民団体（町会・自治会、PTA など）の要望に応じて、ごみの減量やリサイクルなどの3Rの推進について講座を開催するものです。</p> <p>26年度については、廃棄物等の処理手数料を改定したことから、粗大ごみや資源物の分別方法等の確認を行いたいという団体が増加し、講座の要望は5件でした。</p> <p>今後も随時要望に応えられるよう継続して事業を実施していきます。</p> <p>ごみ問題に対する意識の向上と3Rの推進を図るため、継続して資源循環型社会の実現のための情報提供を行う事業を、実施します。</p>							26年度目標 (見直し後)	
								継続して事業を実施します。	
								年度計画及び実績 (事業の進行管理)	
								21年度実績	—
								22年度計画	150 5
								22年度実績	153 4
								23年度計画	150 5
								23年度実績	0 0
								24年度計画	—
								24年度実績	150 4
								25年度計画	—
								25年度実績	57 1
								26年度計画	—
								26年度実績	238 5
上：参加者（人） 下：参加団体数（団体）									
※計画書に合わせ、24年度以降の数値目標は、設定しておりせん。									
廃棄物対策課	達成度	—	26効果等	○	改善等	△	方向性	○	

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等	
	改善点および今後の事業の方向性等								
<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">2-B-a</div> 081 小学4年生向け社会科学習資料の配布	<p>市内小学4年生を対象に、本市のごみの現状等を知るための学習資料を作成し、配布するものです。次年度の小学4年生へ引き継いで使用してもらうため、配布は2年に1回（転入・転学等による児童の増加があった場合は随時配布）としております。</p> <p>本市のごみの現状や、ごみについての知識を習得してもらうことにより、ごみ問題に対する意識の向上と3Rの推進が図られます。また、学習した児童が、家庭等で話をするることによる、波及効果も期待できます。</p>							26年度目標 (見直し後)	
								5,800部	
								年度計画及び実績 (事業の進行管理)	
								21年度実績	—
								22年度計画	5,000
								22年度実績	4,718
								23年度計画	—
								23年度実績	—
								24年度計画	5,787
								24年度実績	5,787
								25年度計画	—
								25年度実績	—
								26年度計画	5,800
								26年度実績	5,596
<p>本市のごみの現状や、ごみについての知識を習得してもらうことにより、ごみ問題に対する意識の向上と3Rの推進が図られるため、継続して事業を実施します。</p>							発行部数(部)		
							※24年度以降、数値目標の設定をしました。(24年度の数値目標については、24年4月時点で配布が完了していたため、実績値となっています。)		
廃棄物対策課	達成度	○	26効果等	○	改善等	△	方向性	○	

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況								目標及び実績等	
	改善点および今後の事業の方向性等									
2-B-a 082 Kids' ISO 14000 プログラム事業	<p>「Kids' ISO14000 プログラム」は「特定非営利活動法人 国際芸術技術協力機構 (ArTech)」が主催している子どもに対する環境教育支援システムです。</p> <p>国際環境規格 ISO14001 規格をモデルに、子ども一人ひとりがリーダーとなり、家族とともに家庭を中心とした日常生活における、環境マネジメントシステムの運用を自主的に実施することで、地域社会や環境に配慮したライフスタイルへの転換を促すものです。</p> <p>このプログラムには、入門編・初級編・中級編・上級編・For School の各種類がありますが、本市では、入門編、初級編（希望者のみ）について小学5年生を対象に、3カ年で一巡する計画で実施しています。</p> <p>なお、初級編終了後、取組みの結果が優秀であると認められると国際認定を受けることができます。</p> <p>各学校とも、環境教育の一貫として熱心に指導していただいています。アンケート回答などを見ても相応の啓発効果があると考えます。</p> <p>また、入門編完了者 1,470 名の取組みにより、3.673 トンの温室効果ガス削減（二酸化炭素換算値）に繋がりました。さらに、入門編完了者の中から 143 名が初級編に参加し、うち 23 名が国際認定を受けました。</p> <p>より多くの児童に国際認定者となってもらうため、学校説明会を開催しました。52 校の小学校において、3カ年で一巡する計画で実施していきます。次年度実施予定校に周知、説明も併せて行います。</p>								26年度目標 (見直し後)	
									入門編:提出率 100%	
									初級編国際認定率 :初級編実施者の 50%	
									年度計画及び実績 (事業の進行管理)	
									21年度実績	16 1,334
									22年度計画	—
									22年度実績	16 1,377
									23年度計画	—
									23年度実績	15 1,522
									24年度計画	100% 50%
									24年度実績	93% 51%
									25年度計画	100% 50%
									25年度実績	93% 38%
									26年度計画	100% 50%
26年度実績	90% 30%									
上:入門編の提出率 (%)										
下:初級編実施者の 国際認定率 (%)										
※平成24年度以 降、計画書の数値目 標の指標に合わせ ました。										
※21.22年度 上:実施校数(校) 下:入門編完了者(人)										
※23年度 上:実施校数(校) 下:入門編対象者(人)										
地球高温化対策室	達成度	△	26効果等	○	改善等	△	方向性	○		

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等	
	改善点および今後の事業の方向性等								
2-B-a 083 親と子の自然 環境調査	<p>次世代を担う子どもたちが、自然環境問題に関心を持ち、自然環境保全の重要性を理解し、自主的に環境保全活動に参加・実践できるよう意識の高揚を図ることを目的として、児童とその保護者を対象に見沼たんぼの自然環境（鳥・動物・植物）を観察・調査する事業です。</p> <p>26年度は20組の親子を公募しており、年6回の調査を開催し、28組56人の参加がありました。</p> <p>「年間を通し川口の自然の状況を自分の目で確認・体験ができて良かった」「その日に観察したことを自分で図鑑等を調べ、絵にしてみんなに発表するので良い」との評価を参加した保護者からいただきました。</p> <p>年6回の連続した事業ですが、後半の出席率が低下するため、1年間で個人の「調査アルバム」を完成させるという目標を持って調査してもらうこととしています。</p>							26年度目標 (見直し後)	
								開催回数6回	
								年度計画及び実績 (事業の進行管理)	
								21年度実績	220
								22年度計画	—
								22年度実績	153 5
								23年度計画	—
								23年度実績	151 6
								24年度計画	6
								24年度実績	185 6
								25年度計画	6
								25年度実績	156 6
								26年度計画	6
								26年度実績	214 6
							開催回数(回)		
							<p>※平成24年度以降、計画書の数値目標の指標に合わせました。</p> <p>※23年度まで 上：延べ参加人数 (人) 下：開催回数(回)</p>		
地球高温化対策室	達成度	○	26効果等	○	改善等	○	方向性	○	



2-B-b 地域における次世代育成の推進

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等
	改善点および今後の事業の方向性等							
2-B-b 084 放課後子ども 教室	放課後等に小学校等の公共施設を活用して子供たちの安全・安心な活動拠点（居場所）を設け、地域の方々の参画を得て、子供たちに学習や様々な体験・交流活動の機会を定期的・継続的に取り組むことを通じて、子供たちが心豊かで健やかに育まれる環境づくりを目指し、21年度から開催しています。 26年度は差間小学校で1教室を立上げ、事業に参加する子供たちの人数を増加することができました。							26年度目標 (見直し後)
								平成21年度から公民館・小学校を拠点に6か所で開設し、平成24年度までに16か所を設置。今後も、新規教室の開設及び既存教室の内容等の拡充に向けて、この事業を様々な点から検証し課題について研究していきます。
								年度計画及び実績 (事業の進行管理)
								21年度実績 6 3,037
								22年度計画 7 教室
								22年度実績 7 6,480
								23年度計画 8 教室
								23年度実績 15 11,041
								24年度計画 16 教室
								24年度実績 16 15,272
								25年度計画 17 教室
								25年度実績 17 16,105
								26年度計画 —
								26年度実績 18 17,740
	今後も、事業規模及び内容の拡充に向けて検討していきます。							上：教室数（教室） 下：参加人数（人） ※24年度以降、目標を見直し、変更しました。
生涯学習課	達成度	◎	26 効果等	◎	改善等	○	方向性	◎

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等	
	改善点および今後の事業の方向性等								
2-B-b 085 子どもの居場所づくり学習 事業	公民館等社会教育施設を会場に、安全で安心できる子どもたちの居場所（活動拠点）を設け、地域の方が指導者となり、スポーツや文化活動など様々な体験活動を地域住民との交流をとおして行っています。 継続して、公民館等各社会教育施設で取り組んでいきます。							26年度目標 (見直し後)	
								35か所	
								年度計画及び実績 (事業の進行管理)	
								21年度実績	27
								22年度計画	32
								22年度実績	27
								23年度計画	32
								23年度実績	24
								24年度計画	35
								24年度実績	28
								25年度計画	35
								25年度実績	28
								26年度計画	35
	26年度実績	28							
生涯学習課	達成度	○	26効果等	○	改善等	△	方向性	○	実施箇所数（か所） ※24年度以降、数値目標の変更をしました。

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等	
	改善点および今後の事業の方向性等								
2-B-b 086 学校週5日対応事業 (スポーツ・レクリエーション事業) 子ども対象事業	子どもたちに対してスポーツ・レクリエーションを通じて、楽しみながら団体行動のルールを守り、豊かな心を養うことを目的に、グラウンド・ゴルフの普及を図りました。毎年2校を選び、学校施設を利用して、5月の土曜日に実施しました。 26年度は新郷南小学校と桜町小学校で実施できました。 お年寄りから子どもまで幅広く出来るスポーツということで、簡単なルールや打ち方などが理解でき、「面白い」「またやってみたい」という声がありました。三世代スポーツとしてこれから広く普及していくことが期待できます。 毎年2校の実施を達成します。							26年度目標 (見直し後)	
								実施校数 2校	
								年度計画及び実績 (事業の進行管理)	
								21年度実績	2
								22年度計画	2
								22年度実績	2
								23年度計画	2
								23年度実績	2
								24年度計画	2
								24年度実績	2
								25年度計画	2
								25年度実績	2
								26年度計画	2
								26年度実績	2
実施校数 (校)									
スポーツ課	達成度	○	26効果等	○	改善等	△	方向性	○	
2-B-b 087 子ども対象事業	公民館等社会教育施設で夏休みや冬休みなどに、映画、読書、料理、科学、折り紙、陶芸など体験的な学習を実施します。 公民館等で継続して取り組んでおり、とくに目標事業量としての計画値や実績値を設定していませんが、公民館等で子どもたちは、様々な体験的な学習ができました。 継続して、公民館等各社会教育施設で取り組んでいきます。							26年度目標 (見直し後)	
								35か所	
								年度計画及び実績 (事業の進行管理)	
								21年度実績	32
								22年度計画	32
								22年度実績	32
								23年度計画	32
								23年度実績	31
								24年度計画	35
								24年度実績	35
								25年度計画	35
								25年度実績	35
								26年度計画	35
								26年度実績	35
実施箇所数 (か所)									
※24年度以降、数値目標の変更をしました。									
生涯学習課	達成度	○	26効果等	○	改善等	△	方向性	○	

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等	
	改善点および今後の事業の方向性等								
2-B-b 088 児童センター 事業	<p>芝児童センター、南平児童センター、戸塚児童センターあすばの3館を指定管理者制度により行いました。</p> <p>各館とも、児童の遊びを指導する者（児童厚生員）が遊びの指導を行うとともに、夏祭りの行事や親子教室、各種クラブ等の事業を実施し、子どもたちの異年齢交流や各種企画や活動の場、また、多くの親子の交流の場として、145,371人の利用があり、児童の健康増進と情操を豊かにする活動などの児童健全育成と子育て支援が図れました。</p> <p>また、今年度で指定期間の満了を迎える戸塚児童センターにおいて、次年度以降も指定管理者制度において最も効果的に施設設置目的を達成することができると思われるものを公募により選定を行いました。</p> <p>今年度で指定期間の満了を迎える戸塚児童センターにおいて、コスト削減及び業務プロセスなどの仕様及び協定事項を見直し、効率性の向上を図った選定を行いました。</p> <p>また、広く市内の子どもや親子に周知できるよう、子育て情報メール（新設）や民間広報誌など様々な媒体を通じて広報を行い公平性の確保に努めました。</p> <p>次年度には南平児童センター及び芝児童センターでも指定期間の満了時を迎えるため、指定期間中は変更の難しいコスト削減及び業務プロセスなど仕様及び協定事項を見直し、効率性の向上を図る選定を行います。</p>							26年度目標 (見直し後)	
								延べ利用人数 130,000人	
								年度計画及び実績 (事業の進行管理)	
								21年度実績	3 113,063
								22年度計画	3か所
								22年度実績	3 119,928
								23年度計画	3か所
								23年度実績	3 126,269
								24年度計画	128,000
								24年度実績	3 136,860
								25年度計画	129,000
								25年度実績	3 143,878
								26年度計画	130,000
								26年度実績	3 145,371
延べ利用人数（人）									
※平成24年度以降、計画書の数値目標の指標に合わせました。									
※23年度まで、 上：実施箇所数（か所） 下：延べ利用人数（人）									
子ども育成課	達成度	◎	26効果等	◎	改善等	○	方向性	○	

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等	
	改善点および今後の事業の方向性等								
<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">2-B-b</div> 089 家庭教育事業	<p>公民館等社会教育施設で、乳幼児期や思春期の子どもを持つ親などを対象に、心身のストレス解消法や子どもとともに成長する親であるための心の持ち方などに関する講座を開催しています。</p> <p>公民館等で継続して取り組んでおり、とくに目標事業量としての計画値や実績値を設定していません。乳幼児を持つ親同士の交流が図られ、子育て等の悩みが参加者間で共有できました。</p>							26年度目標 (見直し後)	
								35か所	
								年度計画及び実績 (事業の進行管理)	
								21年度実績	32
								22年度計画	32
								22年度実績	32
								23年度計画	32
								23年度実績	34
								24年度計画	35
								24年度実績	35
								25年度計画	35
								25年度実績	35
								26年度計画	35
	26年度実績	35							
継続して、公民館等各社会教育施設で取り組んでいきます。							実施施設数 (か所)		
							※24年度以降、数値目標の変更をしました。		
生涯学習課	達成度	○	26効果等	○	改善等	△	方向性	○	

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等	
	改善点および今後の事業の方向性等								
2-B-b 090 子ども自然体 験村	<p>親元を離れての野外生活を通して、自然の雄大さ、美しさ、厳しさなどに触れることにより、感動や驚きを覚え自然や環境への理解を深めるとともに、異なる年齢の人々との交流により、自主性、協調性、忍耐力、社会性、思いやりの心を育むことが出来ます。</p> <p>男女とも募集人員を超える応募があり、計画どおり実施できました。</p> <p>親元を離れ、4泊5日にわたる野外での団体活動を通し、思いやり、自主性、協調性等が育まれました。</p> <p>キャンプリーダーとの連携を密にし、参加者の自主性や互いに助け合う心が更に育む内容で計画どおり実施していきます。</p>							26年度目標 (見直し後)	
								心の成長度 80.0%	
								年度計画及び実績 (事業の進行管理)	
								21年度実績	男 19 女 20
								22年度計画	男 20 女 20
								22年度実績	男 20 女 20
								23年度計画	男 20 女 20
								23年度実績	男 20 女 20
								24年度計画	80.0%
								24年度実績	82.4%
								25年度計画	80.0%
								25年度実績	84.4%
								26年度計画	80.0%
								26年度実績	89.3%
心の成長度 (%) ※24年度以降、 数値目標を設定し ました。 ※23年度までは 参加定員(人)									
青少年対策室	達成度	◎	26効果等	○	改善等	○	方向性	○	

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等	
	改善点および今後の事業の方向性等								
2-B-b 091 川口市通学 合宿	<p>子どもたちが親元から離れて共同生活をしながら通学することにより、家庭の大切さを理解するとともに、年齢の異なる子ども同士のふれあいや大人とのコミュニケーションの中から、人間関係を深めることにより「生きる力」を育むことができます。また、この体験を通じて、子どもたちが自分の住む地域に誇りと愛着をもてるように、地域の大人たちが連携することにより、地域づくりにもつなげていきます。</p> <p>26年度は定員以上の応募があり、合宿終了後、保護者にアンケートを取ったところ、自分のことは自分でするようになり、すすんで手伝いをするようになったとの報告が得られました。</p> <p>公民館地区青少年育成協議会が独自の事業として実施しているよう、地域に根ざした事業展開を推進していきます。</p> <p>集団合宿体験が生活能力の習得、社会的自立につながる活動であるため、内容の充実を図り、なるべく多くの対象者が参加できるよう考慮し実施していきます。</p>							26年度目標 (見直し後)	
								心の成長度 70.0%	
								年度計画及び実績 (事業の進行管理)	
								21年度実績	—
								22年度計画	2 40
								22年度実績	2 38
								23年度計画	2 40
								23年度実績	2 33
								24年度計画	70.0%
								24年度実績	75.0%
								25年度計画	70.0%
								25年度実績	76.2%
								26年度計画	70.0%
								26年度実績	66.7%
心の成長度 (%)									
※24年度以降、数値目標を設定しました。									
※23年度まで 上：実施箇所数 (か所) 下：参加者数 (人)									
青少年対策室	達成度	△	26効果等	○	改善等	○	方向性	○	

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等	
	改善点および今後の事業の方向性等								
2-B-b 092 アドベンチャー プレイ事業	<p>子どもたちの中に豊かな遊びを復活させながら、子どもたちの冒険心・好奇心を刺激し、自主性・創造性・社会性を高め児童の健全育成を図るために、前川第6公園及び南平児童交通公園の一面で、遊びの指導や遊具の貸し出しを行いました。(プレイリーダーハウス開催日：火・水・木・土曜日194日)</p> <p>また、今年度は子育て情報メールの創設などを行い、広く市内の子どもや保護者に周知に努めました。</p> <p>各種のイベント(こどもまつり・わんぱくまつり・新春伝承あそびまつり)及びプレイリーダーの養成講座を実施し、これらプレイリーダーによる子どもたちへの遊びの伝承と後押しにより、年間43,288人の利用がありました。</p> <p>その結果、子ども同士で異年齢、初対面でも体を使って一緒に遊べるようになっていく子どももおり、本事業を通して子どもの社会性・協調性・創造性が生まれ児童の健全育成が図れました。</p> <p>市民ボランティアとの協働事業として長年実施している本事業は、役割分担及び業務プロセスに曖昧な部分が多く改善の必要があったため、コスト面、業務プロセス、役割分担について見直しと改善を行いました。</p> <p>公平性の向上のため、本来理想的である拠点施設での活動に併せ出張型の事業実施を検討します。</p> <p>また、効率性の向上のため、更なるコスト削減、プロセス改善に努めます。</p>							26年度目標 (見直し後)	
								延べ参加人数 40,000人	
								年度計画及び実績 (事業の進行管理)	
								21年度実績	2 34,281
								22年度計画	2か所
								22年度実績	2 34,192
								23年度計画	2か所
								23年度実績	2 33,765
								24年度計画	40,000
								24年度実績	2 36,527
								25年度計画	40,000
								25年度実績	2 36,936
								26年度計画	40,000
								26年度実績	43,288
延べ参加人数(人)		<p>※平成24年度以降、計画書の数値目標の指標に合わせました。</p> <p>※23年度まで、 上：実施箇所数(か所) 下：延べ参加人数(人)</p>							
子ども育成課	達成度	◎	26効果等	○	改善等	○	方向性	○	

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等	
	改善点および今後の事業の方向性等								
2-B-b 075 きらり川口夢 わーく体験事 業 【再掲】	市立中学校の1年生、または2年生全員が3日間の職場体験を行います。地域での様々な社会体験活動や多くの人々とのふれあいをおして、みずみずしい感性や社会性、自立心を養い、たくましく豊かに生きる力を育みます。また、自らの生き方を考え、生涯にわたり豊かな自己実現を図ることのできる能力や態度を育てることをねらいとしています。							26年度目標 (見直し後)	
								実施校数 26校	
								年度計画及び実績 (事業の進行管理)	
								21年度実績	24
								22年度計画	24
								22年度実績	24
								23年度計画	24
								23年度実績	24
								24年度計画	27
								24年度実績	26
								25年度計画	26
								25年度実績	26
								26年度計画	26
	26年度実績	26							
実施校数 (校)									
25年度と同様に26校で実施する予定です。事前・事後指導の体系化を図り、体験活動の成果をその後の学校生活に生かせるようにするとともに、キャリア教育の一環としての位置づけを明確にして指導の充実を図ります。							※24年度以降、数値目標の変更をしました。		
指導課	達成度	○	26効果等	◎	改善等	△	方向性	○	

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等	
	改善点および今後の事業の方向性等								
2-B-b 093 かわぐちボ ランティア センター	<ul style="list-style-type: none"> 市内で活動するボランティア(個人・団体)に対して、相談や情報提供、活動の支援を行うとともに、ボランティアをしたい人とボランティアを必要としている人のコーディネート(需給調整)を行いました。 施設からのボランティアの依頼に対してコーディネートを行いました。施設利用者の余暇活動の充実の一助となりました。 相談の中でニーズが多かった内容について、ボランティア養成講座を開催しました。(傾聴ボランティア、精神保健福祉ボランティア、聴覚障がい者サポートボランティア) 地域住民へのボランティア啓発・普及のため、ボランティア大学の開催、ボランティア入門及び災害ボランティアについての出前講座を実施しました。 かわぐち市民パートナーステーションと協働し、青少年ボランティア育成事業、ボランティア見本市を実施しました。 青少年ボランティア育成事業を実施し、市内で活動できる次世代のボランティアの育成を促しました。 福祉施設・病院・特別支援学校のボランティア担当者連絡会議を実施しました。 年齢や障害等に関わらず、誰もが気軽に参加でき、ボランティア活動を通じて社会参加にも繋がる、ふれあいいきいきサロンを実施しました。 災害ボランティア登録制度を構築し、被災時の災害ボランティアセンター設置・運営を円滑に行える体制作りを進めました。 							26年度目標 (見直し後)	
								事業の充実を図りま す。	
								年度計画及び実績 (事業の進行管理)	
								21年度実績	121
								22年度計画	—
								22年度実績	132
								23年度計画	—
								23年度実績	153
								24年度計画	—
								24年度実績	135
								25年度計画	—
								25年度実績	126
								26年度計画	—
26年度実績	121								
ボランティア紹介件数(件)									
※見直しの結果、計 画書に掲載されて いる数値目標を文 言での表記に変更 しました。									
<ul style="list-style-type: none"> 市内で活動を行うボランティアに対して、相談や情報提供、活動支援の充実を図ります。 施設からのボランティア依頼が増加しており、施設内できめ細やかなボランティア対応が出来るよう、施設でのボランティアコーディネートについて理解を深め、施設職員がボランティアコーディネーターとなれるよう、福祉施設・病院・特別支援学校のボランティア担当者連絡会議にて、育成、支援の充実を図ります。 ・26年度にボランティア相談の多かった内容に対しての養成講座を開催します。(各種障がい者サポートボランティア) 									
社会福祉協議会	達成度	△	26効果等	○	改善等	○	方向性	○	

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等	
	改善点および今後の事業の方向性等								
2-B-b 094 青少年ボランティア育成事業	<p>小学生から概ね25歳以下までの青少年を対象に、多様なボランティア体験プログラムを用意するほか、更なる活動を促すためにボランティアポイント制度を継続することで、青少年の自己表現を活性化し心の豊かさと人間的成長を促すことを目的とした事業です。</p> <p>これまでにボランティア経験のない人が、ボランティアに参加するきっかけづくりとなり、次代を担う青少年が積極的に社会貢献を高められることも見込まれます。</p> <p>○実施事業：こどもフリーさろん、夏休みこどもボランティアさろん、青少年ボランティアスクール、青少年ボランティア大会、高校生ボランティア事業</p> <p>20年度から青少年ボランティアスクール、ボランティアスタートライン事業を統合し、社会福祉協議会と共催で事業を実施しています。プログラムの内容を更に検討し充実を図ります。</p>							26年度目標 (見直し後)	
								参加人数 1,400人	
								年度計画及び実績 (事業の進行管理)	
								21年度実績	782
								22年度計画	—
								22年度実績	1,341
								23年度計画	1,300
								23年度実績	1,192
								24年度計画	1,400
								24年度実績	1,413
								25年度計画	1,400
								25年度実績	1,700
								26年度計画	1,400
								26年度実績	1,478
							参加者数(人)		
							※24年度以降、数値目標の変更をしました。		
かわぐち市民サービスセンター 社会福祉協議会	達成度	○	26効果等	◎	改善等	△	方向性	○	

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等
	改善点および今後の事業の方向性等							
<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">2-B-b</div> 095 川口市立科学館サイエンスワールド	<p>科学展示室では、サイエンスショー、わくわくワーク、どきどきサイエンス、ミニ実験ショーを定期的で開催しました。</p> <p>夏休み科学教室、サイエンスクラブ、科学ものづくり教室、いきいきサイエンス等の各種講座を開講しました。</p> <p>近隣高校科学部等による「高校生によるサイエンス DAY」を開催しました。</p> <p>特別展「深海秘密基地」「ころころアドベンチャー」を開催しました。</p> <p>小中学校、幼稚園等や市イベント向けの「科学出張教室」「理科移動教室」を開催しました。</p> <p>プラネタリウムでは、一般投影・キッズアワー・学習投影・特別投影の各種投影の他、連続天文講座「宇宙の教室」を開催しました。</p> <p>天文台では、夜間観測会、日中の天文台ガイドツアーを定期的で開催した他、太陽観測実習を開催しました。</p> <p>特別観測会「皆既月食」を開催し、観測と解説を行いました。</p> <p>小中学校向けの「太陽観測出張授業」「夜間出張観望会」を開催しました。</p>							26年度目標 (見直し後)
								今後も事業を継続し、事象への興味関心や科学的なものの見方が育つよう事業を推進します。
								年度計画及び実績 (事業の進行管理)
								21年度実績 87,595
								22年度計画 —
								22年度実績 87,481
								23年度計画 92,700
								23年度実績 92,829
								24年度計画 —
								24年度実績 110,069
								25年度計画 —
								25年度実績 96,804
								26年度計画 —
								26年度実績 109,123
							利用者数(人)	
<p>太陽観測や夜間観望会は天候に左右されやすいが、学校向けの太陽観測出張授業、夜間出張観望会、科学出張教室、理科移動教室や、地域向け(市イベント)の科学出張教室の事業を更に充実させ、学校や地域との連携を深め、科学館のより一層の周知を図り、館全体の教育普及活動の充実を推進していきます。</p>							※見直しの結果、計画書に掲載されている数値目標を文言での表記に変更しました。	
科学館	達成度	◎	26効果等	○	改善等	○	方向性	○

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等	
	改善点および今後の事業の方向性等								
2-B-b 096 交通安全教育 事業	<p>交通事故防止を目的として、幼稚園、保育所(園)、小・中学校及び高等学校の児童生徒に対して、交通安全教育を実施しています。</p> <p>市内の教育施設等に交通安全教室の実施案内を送付し、交通安全啓発に取り組んだ結果、実施数は計画の94%を超えました。今後も積極的に啓発し、交通安全教室を実施していきます。</p> <p>川口市内の全小学校で交通安全教室を実施し、児童が交通ルールを再認識するきっかけになりました。また、ダミー人形を利用した衝突実験は、交通安全意識の向上に大きな成果を上げています。さらに、ヒヤットとする体験を通じて啓発効果を高める「スクエアード・ストレイト教育技法」を用いた自転車交通安全教室も実施しました。</p> <p>今後も交通事故防止に向け、よりよい指導を心がけ、交通安全教室を実施していきます。</p> <p>交通安全教室において、警察や関係団体との連携・協力を得て、事業を進めていきます。今後も市内の教育施設等を中心に交通安全教室を実施し、対象施設における実施率の向上を図っていきます。</p>							26年度目標 (見直し後)	
								開催回数 171回	
								年度計画及び実績 (事業の進行管理)	
								21年度実績	119
								22年度計画	140
								22年度実績	115
								23年度計画	150
								23年度実績	127
								24年度計画	171
								24年度実績	164
								25年度計画	171
								25年度実績	166
								26年度計画	171
								26年度実績	161
開催回数(回)									
交通安全対策課	達成度	○	26効果等	○	改善等	○	方向性	○	
2-B-b 097 川口市スポーツ少年団育成 事業	<p>スポーツ少年団は社会教育の一環としてスポーツを通じた青少年の育成を目的としています。スポーツを通じ健全な心と体を育て、スポーツによる青少年健全育成の理念を実現させることがねらいです。少子化の影響もあり、種目によっては団員の確保が難しくなっています。</p> <p>各単位団の活動のほか、川口市スポーツ少年団全体の事業として、奉仕活動・駅伝大会・ドッジボール大会などを実施しました。</p> <p>すべての登録団の参加を目指していましたが参加率は約80%でした。しかしながら、各事業への参加人数は年々増加しています。</p> <p>今後も更なる少子化が進むことも考えられるため、引き続き団員募集の工夫と各団への支援と併せて、各事業が充実した活動となるよう取り組んでいきたいと考えています。また、指導者育成事業にも力を入れ、全ての指導者がスポーツ少年団認定員の資格を取得することができるよう、認定員講習会の受け入れ人数を増やしています。また、指導者に限らず、母集団の方々も対象とした普通救命講習会を実施しています</p>							26年度目標 (見直し後)	
								登録団員数 3,500人	
								年度計画及び実績 (事業の進行管理)	
								21年度実績	3,118
								22年度計画	3,000
								22年度実績	3,063
								23年度計画	3,000
								23年度実績	2,977
								24年度計画	3,200
								24年度実績	3,290
								25年度計画	3,350
								25年度実績	3,324
								26年度計画	3,500
								26年度実績	3,273
登録団員数(人)									
スポーツ課	達成度	○	26効果等	○	改善等	○	方向性	◎	

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等						
	改善点および今後の事業の方向性等													
<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">2-B-b</div> 098 川口市青少年団体連絡協議会(活動助成事業)	<p>川口市青少年団体連絡協議会は、子ども会連絡協議会、ボーイスカウト埼玉県連盟みなみ地区川口支部、少年サッカー連盟、少年軟式野球連盟、初午太鼓連絡協議会など16団体で構成され、約22,100人の会員が市内各所で活動を展開しております。この事業は、青少年団体の連携を密にし、団体相互の友好親善と団体活動の促進、協議会全体の活動等を目的に助成します。</p> <p>川口市青少年団体連絡協議会に対し、助成金を交付しました。青少年団体相互の友好親善と団体活動の促進が図られました。</p>							26年度目標 (見直し後)						
								今後各団体へ適正に助成してまいります。						
								年度計画及び実績 (事業の進行管理)						
								21年度実績	20 24,000					
								22年度計画	18 23,000					
								22年度実績	18 22,452					
								23年度計画	18 23,000					
								23年度実績	18 22,458					
								24年度計画	—					
								24年度実績	17 25,002					
								25年度計画	—					
								25年度実績	16 23,419					
								26年度計画	—					
								26年度実績	16 22,090					
各団体の活動内容を踏まえ、助成するよう調整・検討を加えていきます。							※計画書に合わせ、24年度以降の数値目標は、設定しておりません。 上：団体数(団体) 下：人数(人)							
青少年対策室	達成度	◎	26効果等	○	改善等	△	方向性	○						

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等	
	改善点および今後の事業の方向性等								
<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">2-B-b</div> 099 各公民館地区 青少年育成協 議会	<p>公民館地区内の青少年育成協議会委員と町会・自治会育成委員が中心となり、公民館地区における各町会・自治会青少年育成委員会と関係機関、団体等の連絡調整と、青少年の保護育成思想の普及徹底、健全育成を図ることを目的とします。</p> <p>未来を担う青少年の健全育成のため、各公民館地区青少年育成協議会と関係機関・団体等が連携し、様々な事業を実施することが出来ました。</p> <p>公民館地区青少年育成協議会を中心として、関係機関並びに地域住民が一体となり実施した結果、多くの子どもたちの参加を見ることができ、青少年の育成を図ることが出来ました。</p> <p>今後も、地域に根ざした事業の推進に努め、親の役割・地域の役割を再確認していただける事業を推進していきます。</p>							26年度目標 (見直し後)	
								264事業	
								年度計画及び実績 (事業の進行管理)	
								21年度実績	30 231
								22年度計画	30 210
								22年度実績	30 238
								23年度計画	30 210
								23年度実績	30 226
								24年度計画	264
								24年度実績	234
								25年度計画	264
								25年度実績	235
								26年度計画	264
								26年度実績	238
							総実施事業数(事業)		
							※24年度以降、数値目標の設定をしました。		
							※23年度まで 上：地区(団体) 下：事業数(事業)		
青少年対策室	達成度	△	26効果等	○	改善等	△	方向性	○	

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等	
	改善点および今後の事業の方向性等								
2-B-b 100 親子ふれあい 事業	<p>いつでもどこでも本を手にするのできる環境のなかで、子どもにより本を手渡し、本を通じて親子でふれあう機会を提供します。また、本を通して子どもが豊かな心をはぐくむことができるよう支援します。(幼児、小学生向けのおはなし会・わらべうたとえほんの会及び読み聞かせボランティア養成講座他)</p> <p>毎週実施の幼児・小学生を対象とした「おはなし会」、月2回実施の2～3歳の親子を対象とした「わらべうたとえほんの会」とともに定着し、毎回参加する子どもや親子が増えました。また、「おはなし会協力員研修会」を実施し、協力員としての知識や技術の向上を図りました。</p>							26年度目標 (見直し後)	
								年間開催数 140回	
	年度計画及び実績 (事業の進行管理)								
	21年度実績	136							
	22年度計画	100							
	22年度実績	136							
	23年度計画	100							
	23年度実績	126							
	24年度計画	130							
	24年度実績	145							
	25年度計画	130							
	25年度実績	140							
	26年度計画	140							
	26年度実績	142							
<p>「おはなし会」「わらべうたとえほんの会」の参加者が多くなった現状を踏まえ、今後もその要望に応えられるよう内容の充実に努め、新しい参加者を増やすために広報活動にも力を入れています。</p> <p>また、子どもの読書環境を整える手助けとして、学校での読み聞かせボランティアの実践講座や、保護者を対象とした講座についても内容の充実に努め、継続をしていきます。</p>							年間開催数 (回)		
中央図書館	達成度	○	26効果等	○	改善等	○	方向性	○	

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等	
	改善点および今後の事業の方向性等								
2-B-b 101 川口市子ども 経済塾	<p>市内小学校6年生を対象に3日間にわたって、人材育成の観点から、お金や経済に関する正しい知識を身につけるために17年度からスタートした事業です。</p> <p>クイズやゲームを交えた講義を実施し、楽しみながらお金の上手な使い方や管理の仕方について学べるほか、地域の企業見学を通して、地域経済について理解を深めることができます。</p> <p>26年度は、28校から62名の参加がありました。</p> <p>今後も事業内容の充実に努め、継続して事業を実施します。</p>							26年度目標 (見直し後)	
								開催回数1回 参加人数94人	
								年度計画及び実績 (事業の進行管理)	
								21年度実績	1 55
								22年度計画	1 94
								22年度実績	1 57
								23年度計画	1 94
								23年度実績	1 36
								24年度計画	1 94
								24年度実績	1 67
								25年度計画	1 94
								25年度実績	1 49
								26年度計画	1 94
								26年度実績	1 62
上：開催回数(回) 下：参加者数(人)									
経済総務課	達成度	△	26効果等	○	改善等	△	方向性	○	

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況						目標及び実績等	
	改善点および今後の事業の方向性等							
<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">2-B-b</div> 102 川口市小学生 CG体験教室	映像関連産業を核とした次世代産業の導入・集積のための人材育成の一環として、小学生対象のコンピューターグラフィックス（CG）教室を開催します。 夏と秋に教室を開催していますが、毎回募集人数を大きく上回る申込みがあります。 教室に参加した児童からは「CGは難しいけど楽しかった」「思ったより簡単だった」「また参加したい」「CGに興味をもった」などの様々な感想が寄せられました。						26年度目標 (見直し後)	
							開催回数 18回 参加人数 270人	
							年度計画及び実績 (事業の進行管理)	
							21年度実績	16 240
							22年度計画	—
							22年度実績	18 270
							23年度計画	18 270
							23年度実績	18 270
							24年度計画	18 270
	毎回応募人数を大きく上回る申込みがあるので、多くの児童に体験してもらえる方法を検討しながら継続して実施する方向です。						24年度実績	18 270
							25年度計画	18 270
							25年度実績	18 270
							26年度計画	18 270
							26年度実績	18 270
						上：開催回数（回） 下：参加者数（人）		
産業振興課	達成度	○	26効果等	◎	改善等	○	方向性	○

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等	
	改善点および今後の事業の方向性等								
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2-B-b</div> <p>083 親と子の自然環境調査 【再掲】</p>	<p>次世代を担う子どもたちが、自然環境問題に関心を持ち、自然環境保全の重要性を理解し、自主的に環境保全活動に参加・実践できるよう意識の高揚を図ることを目的として、児童とその保護者を対象に見沼たんぼの自然環境（鳥・動物・植物）を観察・調査する事業です。</p> <p>26年度は20組の親子を公募しており、年6回の調査を開催し、28組56人の参加がありました。</p> <p>「年間を通し川口の自然の状況を自分の目で確認・体験ができて良かった」「その日に観察したことを自分で図鑑等を調べ、絵にしてみんなに発表するので良い」との評価を参加した保護者からいただきました。</p>							26年度目標 (見直し後)	
	開催回数6回								
	年度計画及び実績 (事業の進行管理)								
	21年度実績	220							
	22年度計画	—							
	22年度実績	153 5							
	23年度計画	—							
	23年度実績	151 6							
	24年度計画	6							
	24年度実績	185 6							
	25年度計画	6							
	25年度実績	156 6							
	26年度計画	6							
	26年度実績	214 6							
<p>年6回の連続した事業ですが、後半の出席率が低下するため、1年間で個人の「調査アルバム」を完成させるという目標を持って調査してもらうこととしています。</p>							<p>開催回数(回)</p> <p>※平成24年度以降、計画書の数値目標の指標に合わせました。</p> <p>※23年度まで 上：延べ参加人数 (人) 下：開催回数(回)</p>		
地球高温暖化対策室	達成度	○	26効果等	○	改善等	○	方向性	○	

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等	
	改善点および今後の事業の方向性等								
2-B-b 103 親子で学ぼう 環境の旅	<p>資源循環型社会の構築についての学習を目的とした、先進的な環境関連施設を見学・体験する機会を提供することで、親子でゴミ問題に対する考え、意識を深めていただくものです。</p> <p>例年定員（43名）を超える申し込みがあり、26年度についても、55名（25世帯）の応募があったため、参加者の決定は抽選となりました。開催前日にキャンセルがあったため、41名（18世帯）での実施となりました。</p> <p>※見学先： ・かわさきエコ暮らし未来館 ・㈱朝日プリンテック川崎工場</p> <p>資源循環型社会の構築についての学習を目的として、親子で先進的な環境関連施設を見学・体験することにより、親と子のごみ問題に対する意識が深まるなど、子どもだけでなく、親に対しても啓発することができます。また、子どもがリーダーとなり、家族とともに家庭から出るごみの減量やリサイクルの推進に取り組むなど、身近な環境意識の向上が図られます。</p>							26年度目標 (見直し後) 43人	
								年度計画及び実績 (事業の進行管理)	
								21年度実績	43
								22年度計画	43
								22年度実績	37
								23年度計画	43
								23年度実績	44
								24年度計画	43
								24年度実績	37
								25年度計画	43
								25年度実績	41
								26年度計画	43
								26年度実績	41
							参加人数（人）		
							※24年度以降、数値目標の設定をしました。		
廃棄物対策課	達成度	○	26効果等	○	改善等	△	方向性	○	



2-B-c 若者の就労支援

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等
	改善点および今後の事業の方向性等							
2-B-c 075 きらり川口夢 わーく体験事 業 【再掲】	市立中学校の1年生、または2年生全員が3日間の職場体験を行います。地域での様々な社会体験活動や多くの人々とのふれあいをとおして、みずみずしい感性や社会性、自立心を養い、たくましく豊かに生きる力を育みます。また、自らの生き方を考え、生涯にわたり豊かな自己実現を図ることのできる能力や態度を育てることをねらいとしています。							26年度目標 (見直し後) 実施校数 26校
								年度計画及び実績 (事業の進行管理)
								21年度実績 24
								22年度計画 24
								22年度実績 24
								23年度計画 24
								23年度実績 24
								24年度計画 27
								24年度実績 26
								25年度計画 26
								25年度実績 26
								26年度計画 26
								26年度実績 26
	25年度と同様に26校で実施する予定です。事前・事後指導の体系化を図り、体験活動の成果をその後の学校生活に生かせるようにするとともに、キャリア教育の一環としての位置づけを明確にして指導の充実を図ります。							実施校数(校) ※24年度以降、数値目標の変更をしました。
指導課	達成度	○	26効果等	◎	改善等	△	方向性	○
2-B-c 076 川口市高等学 校就職カウ ンセラー 【再掲】	市立高等学校3校に、就職についての専門指導員(就職カウンセラー)を各校1名配置し、職業意識の啓発、求職相談、求人情報の収集、進路指導の補助など、高校生の就職指導の実践的な補助・支援を行います。26年度計画値どおりです。26年度の県内求人件数は昨年度より増加傾向となりましたが、新規高卒者の就職は依然として厳しい状況にあります。的確な相談やアドバイスにより、就職(内定)状況は25年度より向上しました。							26年度目標 (見直し後) 専門指導員数3人
								年度計画及び実績 (事業の進行管理)
								21年度実績 3
								22年度計画 3
								22年度実績 3
								23年度計画 3
								23年度実績 3
								24年度計画 3
								24年度実績 3
								25年度計画 3
								25年度実績 3
								26年度計画 3
								26年度実績 3
	一人一人に対応した、よりきめ細かなアドバイスや面接指導を行います。今後とも事業を継続することにより、26年度と同様以上の成果を見込んでいます。							専門指導員数(人)
指導課	達成度	○	26効果等	○	改善等	△	方向性	○



事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等		
	改善点および今後の事業の方向性等									
2-B-c 077 高等学校進路 指導担当教諭 と市内企業と の意見交換会 【再掲】	川口商工会議所雇用対策委員会と協力して市内、県内近隣及び東京地区の高等学校の中から、市内企業への過去の送出実績の高い学校の進路指導主事を招き、川口の産業について認識を深めてもらい、もって市内企業への若年労働者（新規学卒者）の確保を図ることを目的に開催した。							26年度目標 (見直し後)		
	実施日：平成26年6月3日 会場：川口駅前市民ホール フレンドィア							開催回数1回		
	参加企業及び高等学校からは高評価を得ているので、今後も市内企業及び高等学校のニーズの把握に努めながら事業を継続します。							年度計画及び実績 (事業の進行管理)		
	達成度	○	26効果等	○	改善等	△	方向性	○	21年度実績	1
								22年度計画	1	
								22年度実績	1	
								23年度計画	1	
								23年度実績	1	
								24年度計画	1	
								24年度実績	1	
								25年度計画	1	
								25年度実績	1	
								26年度計画	1	
								26年度実績	1	
							開催回数(回)			
労政課	達成度	○	26効果等	○	改善等	△	方向性	○		
2-B-c 104 求職開拓現地 訪問事業	市内事業所の求人票を掲載した「川口市内企業求人情報」を市内、県内、都内近隣の高等学校に持参し求人活動を行うことにより、若年労働者の確保に努めた。							26年度目標 (見直し後)		
	実施時期：平成26年7月7日～11日・15日							訪問学校数45校		
	市内事業所への若年労働者の確保に向け、市内事業所の魅力を伝えて参ります。							年度計画及び実績 (事業の進行管理)		
	達成度	△	26効果等	○	改善等	○	方向性	○	21年度実績	41
								22年度計画	40	
								22年度実績	40	
								23年度計画	40	
								23年度実績	40	
								24年度計画	45	
								24年度実績	42	
								25年度計画	45	
								25年度実績	35	
								26年度計画	45	
								26年度実績	33	
							訪問学校数(校)			
労政課	達成度	△	26効果等	○	改善等	○	方向性	○		

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等	
	改善点および今後の事業の方向性等								
2-B-c 105 求職相談コーナー	<p>若者を主とした求職者に対し、相談から職業紹介までを国・県・市の3者連携によるワンストップで就職支援を行う「川口若者ゆめワーク」を開設しています。</p> <p>市では、若者就職支援コーナーにおいて、求職者の相談とアドバイスを求職相談員が支援しています。</p> <p>国・県・市の各機関が連携し、それぞれの特長を活かせるように、定期的に情報交換を行います。若者就職支援コーナーについては、より効果的な支援が行えるよう、運営方法の検討を行います。</p>							26年度目標 (見直し後)	
								1か所	
								年度計画及び実績 (事業の進行管理)	
								21年度実績	1
								22年度計画	1
								22年度実績	1
								23年度計画	1
								23年度実績	1
								24年度計画	1
								24年度実績	1
								25年度計画	1
								25年度実績	1
								26年度計画	1
								26年度実績	1
箇所数 (か所)									
労政課	達成度	○	26効果等	○	改善等	○	方向性	○	
2-B-c 106 就職支援セミナーの実施	<p>若者が集まりやすい駅前に、国・県・市の連携によるワンストップ型の就職支援施設「川口若者ゆめワーク」において、キャリアアカウンセラーなどの専門講師によるセミナーを開催し、就職を希望する若者を中心に就職活動を支援します。</p> <p>受講者人数は、各回ともほぼ定員を満たし、開催することができました。</p> <p>講座回数を増やし、更なる充実を図り、新たにパート向け講座を設ける等多様化するニーズにも対応していきます。</p> <p>国、県等他機関主催の各種就職支援セミナー開催において、会場を提供するなどの協力・共催を昨年度同様に継続して誘致し、充実を図ります。</p>							26年度目標 (見直し後)	
								開催回数 36回	
								年度計画及び実績 (事業の進行管理)	
								21年度実績	35
								22年度計画	36
								22年度実績	34
								23年度計画	36
								23年度実績	40
								24年度計画	36
								24年度実績	40
								25年度計画	36
								25年度実績	40
								26年度計画	36
								26年度実績	40
開催回数 (回)									
労政課	達成度	◎	26効果等	○	改善等	○	方向性	○	

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等
	改善点および今後の事業の方向性等							
2-B-c 107 特別支援学校 卒業者の進路 支援	<p>市内にある県立川口特別支援学校を始めとする特別支援学校卒業生が、市内外の企業や障害者施設などに進めるよう特別支援学校や障害者施設と連携を図り支援します。</p> <p>特別支援学校卒業生 74 名中 73 名の進路先が確保できました。1 名については、ケースワーカーと相談支援事業所にて相談・支援中となっています。</p> <p>特別支援学校進路担当教諭と定期的に情報交換を図り、卒業生及び家族の希望や家庭状況を踏まえて、市内外の各障害者施設と連絡調整を行いました。これにより、卒業生の進路先が確保できる状況となっております。</p>							26 年度目標 (見直し後)
								引き続き支援を行っていきます。
	<p>27 年度の卒業生については、特別支援学校主催の個別面談に加え、10 月から 12 月までの間に家庭訪問等を行い、卒業後の進路相談を実施します。</p> <p>特別支援学校主催の個別面談等に参加するなど、定期的に情報交換を図り、卒業生ごとのニーズや家庭状況に合わせた支援を行っていきます。</p>							年度計画及び実績 (事業の進行管理)
								21 年度実績
	22 年度計画	—						
	22 年度実績	34						
	23 年度計画	—						
	23 年度実績	62						
	24 年度計画	—						
	24 年度実績	73						
	25 年度計画	—						
	25 年度実績	53						
	26 年度計画	—						
	26 年度実績	86						
							卒業生人数 (人)	
障害福祉課	達成度	○	26 効果等	○	改善等	○	方向性	○

3-A-a 子どもの権利擁護に関する意識啓発と実践

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等
	改善点および今後の事業の方向性等							
3-A-a 108 子どもをテーマとした講演会の開催	<p>子どもや子育てをテーマとした講演会として、昨年度と同様、おやこの遊びひろば事業において公開研修会を開催し、子育て支援総合コーディネート事業において子育て講演会・各種講座を開催、つどいの広場事業においては、子育てミニ講座・あそび講座などを開催しました。</p> <p>子育てに関する各種事業の一環として講演会を開催し、その都度、多くの方の参加がありました。また、各講演会の開催後にを行った参加者のアンケートの回答等からも好評を得ており、子育てに関する意識や知識の啓発に効果がありました。</p>							26年度目標 (見直し後)
								開催数 40回 参加人数 1,940人 年度計画及び実績 (事業の進行管理)
	21年度実績	30 1,673						
	22年度計画	30回						
	22年度実績	29 1,646						
	23年度計画	30回						
	23年度実績	37 1,875						
	24年度計画	38 1,900						
	24年度実績	47 2,034						
	25年度計画	39 1,920						
	25年度実績	50 2,019						
	26年度計画	40 1,940						
	26年度実績	45 1,940						
	<p>利用者が参加しやすい公演内容、日程や場所等の検討を行います。</p> <p>より充実した子育て支援講座を実施するとともに、子育てに関する意識や知識の啓発のための講演会等を引き続き開催します。</p>							<p>上：開催数（回） 下：参加者数（人）</p> <p>※24年度以降、数値目標の変更をしました。</p>
子ども育成課	達成度	◎	26効果等	◎	改善等	△	方向性	○



事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等	
	改善点および今後の事業の方向性等								
3-A-a 109 要保護児童対策地域協議会 事業	<p>要保護児童等の適切な支援を行うため、児童及びその保護者に関する必要な情報などの交換を行うとともに、支援内容に関する協議を行っています。</p> <p>実務者会議は、市内を8地区に分けのべ32回開催し、ケースカンファレンス開催数については85回でした。</p> <p>要保護児童対策地域協議会の開催により処遇困難なケース、緊急保護等迅速な対応が求められるケース、長期的な関わりを必要とするケースについて関係機関と迅速な連携、協力体制を図ることができました。</p>							26年度目標 (見直し後)	
								要保護児童の早期発見・予防に努めるため、要保護児童を発見しやすい立場にある機関に協力を求め、連携の拡充に努めます。	
								年度計画及び実績 (事業の進行管理)	
								21年度実績	35
								22年度計画	—
								22年度実績	35
								23年度計画	—
								23年度実績	52
								24年度計画	—
								24年度実績	70
								25年度計画	—
								25年度実績	71
	<p>要保護児童対策地域協議会における実務者会議の充実及び関係機関との更なる連携強化を図り、要保護児童等の適切な支援を行います。</p>							26年度計画	—
								26年度実績	85
カンファレンス 開催数(回)									
※見直しの結果、計画書に掲載されている数値目標は、事業の性質上適正でないため、文言での表記に変更しました。									
子育て相談課	達成度	◎	26効果等	○	改善等	○	方向性	○	

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等	
	改善点および今後の事業の方向性等								
3-A-a 110 登下校時の安全を守る防犯ブザーの貸与	登下校時の安全確保を図るため、市内市立小学校の新入学児童や転入児童に対して、防犯ブザーを配布しています。							26年度目標 (見直し後)	
								貸与個数 5,000 個	
	(社) 埼玉県トラック協会から防犯ブザーの寄贈を受け、各学校へ配布しています。 今後も、引き続き寄贈をしていただける予定となっています。 24年度以降は、指導課へ事業が移管しました。							年度計画及び実績 (事業の進行管理)	
								21年度実績	4,900
								22年度計画	—
								22年度実績	4,700
								23年度計画	4,400
								23年度実績	5,000
								24年度計画	4,842
								24年度実績	4,900
								25年度計画	5,000
								25年度実績	5,000
	26年度計画	5,000							
26年度実績	4,970								
							貸与数 (個)		
指導課	達成度	○	26 効果等	○	改善等	△	方向性	○	

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等	
	改善点および今後の事業の方向性等								
3-A-a 111 公用車による 防犯パトロー ル	「防犯パトロール中」と表記した黄色いシールを各課所有の公用車に貼り市内を移動することで、「見せる防犯」を実践することができました。 また、防犯対策室などが所有する青色回転灯を装備した車両で、計画的に防犯パトロールを実施しています。							26年度目標 (見直し後) 390台	
								年度計画及び実績 (事業の進行管理)	
								21年度実績	391
								22年度計画	—
								22年度実績	390
								23年度計画	390
								23年度実績	390
								24年度計画	390
								24年度実績	390
								25年度計画	390
								25年度実績	390
								26年度計画	390
								26年度実績	390
								台数(台)	
引き続き、公用車によるパトロールを実施していきます。							※24年度以降、数値目標の変更をしました。		
防犯対策室	達成度	○	26効果等	○	改善等	○	方向性	○	
3-A-a 112 日本ガーディ アン・エンジ ェルスへの事 務所の提供	市民の防犯意識の高揚を図り、地域の自主防犯活動を促進するため、日本ガーディアン・エンジェルズ川口支部の拠点となる事務所を、市が借上げ提供しています。 日本ガーディアン・エンジェルズ川口支部の活動内容は、川口市内駅周辺の地域安全パトロールや、防犯リーダー養成講座、成人式などのイベント時のサポート等です。							26年度目標 (見直し後)	
								引き続き提供をしていきます。	
								年度計画及び実績 (事業の進行管理)	
								21年度実績	200
								22年度計画	—
								22年度実績	160
								23年度計画	150
								23年度実績	150
								24年度計画	—
								24年度実績	90
								25年度計画	—
								25年度実績	56
								26年度計画	—
								26年度実績	26
							活動回数(人)		
防犯対策室	達成度	△	26効果等	○	改善等	○	方向性	○	

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等	
	改善点および今後の事業の方向性等								
3-A-a 113 こども110番 の家	<p>学校の登下校時の事件・事故に備え、子どもが助けを求めて駆け込むことができる緊急避難場所の提供を呼びかけ、提供者には「こども110番の家」のプレート掲げてもらい、安心・安全な環境を整えるため、関係機関・小学校・PTAと連携し、市内全小学校区に設置しています。</p> <p>未来を担う青少年のためプレート掲げることにより、子どもたちの安全を守り、犯罪の抑止効果を図ることが出来ました。</p> <p>また、地域住民の意識が高まり、安心・安全な地域づくりが出来ました。</p>							26年度目標 (見直し後)	
								協力軒数 3,200 軒	
	<p>「地域の子どもは 地域で守り育てる」との基本理念に基づき、家庭・学校・地域の連帯により、安全な地域づくりを今後とも進めていきます。</p>							年度計画及び実績 (事業の進行管理)	
								21年度実績	2,892
								22年度計画	2,900
								22年度実績	2,847
								23年度計画	2,900
								23年度実績	2,877
								24年度計画	3,000
								24年度実績	3,210
								25年度計画	3,100
								25年度実績	3,210
								26年度計画	3,200
								26年度実績	2,941
							協力軒数 (軒)		
青少年対策室・指導課	達成度	△	26効果等	○	改善等	△	方向性	○	



事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等	
	改善点および今後の事業の方向性等								
3-A-a 114 青少年「愛の ひと声・あい さつ運動」	<p>年間を通し、日常生活の中で地域の青少年に声かけを行うとともに、7月21日から8月31日までを強調期間とし、夏休み期間中の青少年の事故防止、非行防止のため、青少年育成推進員・青少年育成委員・PTAなどが中心になり活動を行います。</p> <p>青少年に声をかけ合うことにより、非行を防止しようとする意識が高まり、自分の住む地域は自分達で見守ろうとする習慣が根付き、昨年同様の事業を実施することが出来ました。</p> <p>愛のひと声・あいさつ運動を実施することにより、「地域の子どもは地域で見守る」という意識が高まりました。</p>							26年度目標 (見直し後)	
								289/313 団体	
								年度計画及び実績 (事業の進行管理)	
								21年度実績	148 18,858
								22年度計画	250 25,000
								22年度実績	159 23,999
								23年度計画	250 25,000
								23年度実績	167 27,244
								24年度計画	289/313
								24年度実績	174/313
								25年度計画	289/313
								25年度実績	166/314
								26年度計画	289/313
								26年度実績	140/322
左：実施団体数（団体） 右：対象団体数（団体）									
※24年度以降、計画書の数値目標の指標に合わせました。									
※23年度まで、 上：団体数（団体） 下：延べ人数（人）									
青少年対策室	達成度	△	26効果等	○	改善等	△	方向性	○	

3-A-b 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)に関する意識啓発と実践

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等		
	改善点および今後の事業の方向性等									
3-A-b 115 男女共同参画 推進のための 啓発事業	<p>性別による固定的な役割分担意識を見直すことで、男女ともに家庭と仕事の両立を行い、夫婦で子育ての責任を担えるよう、情報紙・啓発誌の発行や講演会・セミナー等の開催を通し、意識の啓発を図ります。</p> <p>26年度の主な事業としては、「男女共同参画のつどい」講演会、イクメンフォトコンテスト、男女共同参画フォーラム及び各種男女共同参画セミナーの開催、男女共同参画情報紙の発行、男女共同参画啓発誌の配布を行い、各事業により男女共同参画への意識啓発を図りました。</p> <p>特に、啓発誌の一種として毎年配布している幼児向け冊子、中学生向け冊子については、「いろいろがたのしい」「COLORFUL (カラフル)」としてリニューアル作成しました。</p> <p>仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の実現のためには、男性の家庭・地域活動への参画を促進させることは重要なことであり、男性向けセミナーの開催や意識啓発事業を引続き実施します。</p> <p>また、男女共同参画担当が市民生活部に移管されたことから、より市民にとって身近で、時代の流れに即した男女共同参画の視点を基盤とし、仕事と家庭・地域活動との両立、女性のチャレンジ支援、男女の人権の尊重など、男女共同参画に関する施策の推進に取り組んでいきます。</p>							26年度目標 (見直し後)		
								情報紙・啓発誌 5種類 講演・セミナー回数 8回		
								年度計画及び実績 (事業の進行管理)		
								21年度実績	5	8
								22年度計画	—	—
								22年度実績	6	9
								23年度計画	5	7
								23年度実績	6	10
								24年度計画	5	8
								24年度実績	5	10
								25年度計画	5	8
								25年度実績	5	15
								26年度計画	5	8
								26年度実績	5	15
左：種類(種類) 右：回数(回)										
かむぐち市民パートナーズセッション	達成度	◎	26 効果等	○	改善等	○	方向性	○		

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等	
	改善点および今後の事業の方向性等								
3-A-b 116 労働関係情報 提供事業	労働関係法令の周知や、労働施策のPRなど啓発のための情報提供を目的とした労働関係広報を定期的に発行します。 労働関係情報誌を毎月遅滞なく定期的に発行します。 ① 労働関係情報誌「商工勤労ニュース」3回発行 毎9,000部 ② 労働関係情報誌「れいばー倶楽部」12回発行 毎630部							26年度目標 (見直し後)	
								れいばー倶楽部 発行部数630部/月	
	年度計画及び実績 (事業の進行管理)								
	21年度実績	12							
	22年度計画	12							
	22年度実績	12							
	23年度計画	12							
	23年度実績	12							
	24年度計画	630							
	24年度実績	630							
	25年度計画	630							
	25年度実績	630							
	26年度計画	630							
	26年度実績	630							
情報提供先の拡充を図り、増部します。 労働関係情報誌を毎月遅滞なく定期的に発行します。							れいばー倶楽部発 行部数(部/月)		
							※24年度以降、計 画書の数値目標の 指標に合わせまし た。 ※23年度まで 発行回数(回)		
労政課	達成度	○	26効果等	○	改善等	△	方向性	○	

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等
	改善点および今後の事業の方向性等							
3-A-b 117 雇用環境整備 の推進	<p>県と共催で労働法基礎、有期労働契約、女性力活用など、労働法令や労働関係の身近な問題をテーマに、より良い職場環境づくりに役立つ知識を提供するセミナーを開催します。</p> <p>企業の労務や人事担当者や一般従業員を対象に開催しました。</p> <p>労働教養講座の開催</p> <p>① 埼玉県労働セミナー 6回 6日間（延べ受講者 234人）</p>							26年度目標 (見直し後)
								労働教養講座 受講者総数 270人
								年度計画及び実績 (事業の進行管理)
								21年度実績 6
								22年度計画 6
								22年度実績 6
								23年度計画 6
								23年度実績 5
								24年度計画 270
								24年度実績 220
								25年度計画 270
								25年度実績 307
								26年度計画 270
								26年度実績 234
<p>受講者のニーズに対応したテーマで実施していきます。また、会場を駅の近くに設定する等受講者にとってアクセスに便利になるよう受講しやすい環境を整えます。</p>							労働教養講座受講者総数(人)	
							※24年度以降、計画書の数値目標の指標に合わせました。	
							※23年度まで講座開催数(回)	
労政課	達成度	△	26効果等	○	改善等	○	方向性	○

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等	
	改善点および今後の事業の方向性等								
3-A-b 118 就労している 妊婦の健康管 理に配慮した 職場づくりへ の啓発	<p>妊娠期及び出産後にある女性が安心して就労できることを目指し、次のことについて啓発し支援します。</p> <p>① 事業主、同僚各々の理解啓発 労働関係情報誌を毎月遅滞なく定期的に発行しました。</p> <p>② 労働関係情報誌「商工勤労ニュース」3回発行 毎9,000部</p> <p>③ 労働関係情報誌「れいば一倶楽部」12回発行 毎630部</p>							26年度目標 (見直し後)	
								れいば一倶楽部 発行部数 630部/月	
								年度計画及び実績 (事業の進行管理)	
								21年度実績	12
								22年度計画	12
								22年度実績	12
								23年度計画	12
								23年度実績	12
								24年度計画	630
								24年度実績	630
								25年度計画	630
								25年度実績	630
								26年度計画	630
								26年度実績	630
<p>情報誌の紙面を市ホームページに掲載し、より多くの方への周知を図ります。</p> <p>労働関係情報誌を毎月遅滞なく定期的に発行します。</p>							れいば一倶楽部発 行部数 (部/月)		
							※24年度以降、数 値目標を設定しま した。		
							※23年度まで 発行回数 (回)		
労政課	達成度	○	26効果等	○	改善等	△	方向性	○	

3-A-c 子育て・子育てへの手助けに関する意識啓発と実践

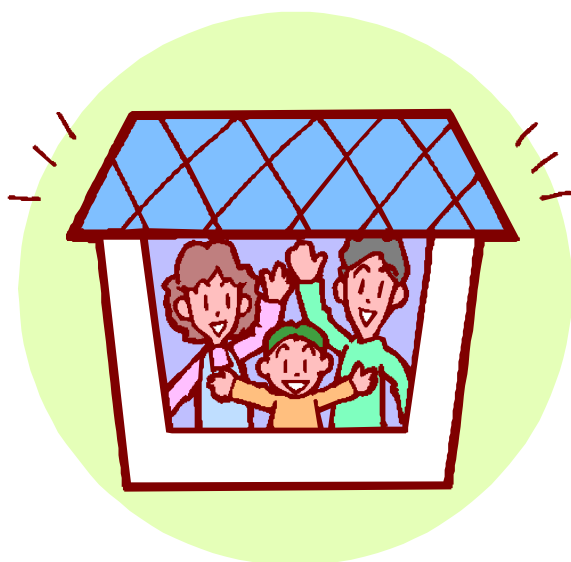
事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況								目標及び実績等	
	改善点および今後の事業の方向性等									
3-A-c 119 市民の社会貢献活動の支援 促進事業	<p>市民のさまざまな社会貢献活動の拠点として、市民活動団体の支援のための環境整備に努め、社会貢献マインドの普及啓発による「日本一のボランティアのまち」の実現を目指すと共に市民との協働の推進に努めています。</p> <p>「かわぐち市民パートナーズステーション」を開設して9年目が経過し、登録団体数が300を超えるとともに各団体の活動内容にも充実が見られます。</p> <p>市民活動における、支援の活動場所の提供、情報の提供などを行った結果、一層の活動の充実拡大が図られました。</p> <p>また、「まちはみんなで作るものフォーラム」“ともにつくろう！地域の未来”を市民、市民団体等と協働により開催し、市民、企業、町会、市職員等さまざまな主体が一堂に集まり協働の推進について意見交換を行いました。</p> <p>市民活動助成制度の充実を図るための改善を行っています。施設及び各種事業の充実を行います。</p>								26年度目標 (見直し後)	
									NPO法人・ボランティア団体数 600 団体、 青少年ボランティア体験プログラム参加者数 1,400 人	
									年度計画及び実績 (事業の進行管理)	
									21年度実績	296 75,784
									22年度計画	—
									22年度実績	296 73,273
									23年度計画	70,000 人
									23年度実績	317 64,892
									24年度計画	500 1,400
									24年度実績	524 1,413
									25年度計画	550 1,400
									25年度実績	440 1,700
									26年度計画	600 1,400
									26年度実績	410 1,478
かわぐち市民パートナーズステーション	達成度	○	26 効果等	◎	改善等	△	方向性	○	上：NPO法人・ボランティア団体数(団体) 下：青少年ボランティア体験プログラム参加者数(人) ※24年度以降、計画書の数値目標の指標に合わせました。 ※23年度まで 上：開所日数(日) 下：利用者数(人)	

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等	
	改善点および今後の事業の方向性等								
3-A-c 120 パパ・ママ応援ショップ事業	<p>中学生までの子ども、出産予定の方がいる家庭を対象に優待カードを交付し、協賛する店舗等が様々なサービスの提供を行う埼玉県の実業です。カード・チラシ等の製作経費は県が負担し、市町村は埼玉県からの依頼を受け優待カードの配布と店舗等に対し協賛を依頼していきます。</p> <p>市内協賛店舗登録数は、25年度と比較すると100件程の減となりましたが、依然として1000件を超える多くの市内店舗・施設の登録があり、たくさんの協賛を頂き、子育て中の多くの家庭にサービス・優待を行うことができました。</p>							26年度目標 (見直し後)	
								県の継続実施に合わせ、事業の周知、協賛店舗の拡大に努めます。	
	<p>市のホームページ等で、28年3月までの事業の延長や事業のPRをしていきます。</p> <p>また、24年度から実施している近隣5県（群馬県・茨城県・福島県・栃木県・新潟県）の優待カード事業もPRしていきます。</p> <p>今後も対象家庭の利用を促すとともに、商業振興に貢献していきます。さらに、協賛店舗等の拡大を図り、利用しやすい環境を整え、地域が一体となって子育てを応援していきます。</p>							年度計画及び実績 (事業の進行管理)	
								21年度実績	563
								22年度計画	—
								22年度実績	812
								23年度計画	—
								23年度実績	975
								24年度計画	—
								24年度実績	1,106
								25年度計画	—
								25年度実績	1,349
								26年度計画	—
								26年度実績	1,257
							協賛店舗数(店舗)		
							※24年度以降、目標を見直し、変更しました。		
子ども育成課	達成度	◎	26効果等	◎	改善等	○	方向性	◎	

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等	
	改善点および今後の事業の方向性等								
3-A-c 027 ファミリー・ サポート・ センター事業 【再掲】	<p>地域における子育ての援助を行いたい方（提供会員）と子育ての援助を受けたい方（依頼会員）の会員制度による事業。生後6ヶ月から小学校3年生までの子どもの育児における相互援助活動（保育所への送迎など）を実施することにより、仕事と育児の両立を図り、地域での子育ての支援機能を強化し、親が安心して子育てができる環境作りを行います。</p> <p>実施状況は、年間活動実績数が、6,198件から5,145件に減り、前年度を下回りましたが、仕事と育児の両立を必要とする多くの家庭を支援することができました。</p> <p>26年度は、利用者説明会を14回、サポーター（両方会員含む。）説明会・講習会を6回開催し、延べ539人の参加があり、会員の登録状況については、依頼会員数は25年度の1,047人から1,146人に増え、提供会員は210人から226人に、提供・依頼会員は189人から219人にそれぞれ増えました。</p> <p>提供会員数及び提供・依頼会員数はあまり増加していないため、提供者側の増加が望まれております。</p> <p>また、会員のフォローアップ講習会・交流会・サブリーダー会議8回等の実施により、情報交換や会員同士の交流の活性化、サポーターの資質の向上を図りました。</p> <p>提供会員の定着と会員同士の交流を深めるため、引き続き、フォローアップ講習会や交流会を開催するとともに、提供会員数を増やすため、説明会の継続的な実施に併せて、情報誌の発行により事業のPRを行います。</p> <p>また、関係機関との連絡を密にし、連携・協力関係の向上に努めます。</p> <p>平成27年度からは、子どもの対象年齢を「生後6ヶ月から小学校6年生まで」に拡大いたします。</p>							26年度目標 (見直し後)	
								1か所 利用件数8,400件	
								年度計画及び実績 (事業の進行管理)	
								21年度実績	1 7,294
								22年度計画	1か所
								22年度実績	1 6,222
								23年度計画	1か所
								23年度実績	1 6,880
								24年度計画	1 8,160
								24年度実績	1 7,106
								25年度計画	1 8,280
								25年度実績	1 6,198
								26年度計画	1 8,400
								26年度実績	1 5,145
							上：箇所数（か所） 下：利用件数（件）		
子ども育成課	達成度	△	26効果等	◎	改善等	○	方向性	○	

3-B-a 住宅・住居環境の整備

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等	
	改善点および今後の事業の方向性等								
3-B-a 121 子育て環境整備に対応した良質な住宅の供給（市営住宅建替え事業）	老朽化した市営住宅を高層住宅へ建て替えることにより戸数の増加を図り、住宅に困窮した低所得者の市営住宅へのニーズに応えます。 26年度は、24年度から始まった市営青木住宅の改築工事が25年度に竣工しましたことから、4月から供用を開始いたしました。 なお、市営青木住宅は学校や保育所が近くにあり、子育てに適した環境を備えるとともに、誰もが安心して生活できるよう全戸バリアフリー仕様としています。							26年度目標 （見直し後） 市営住宅の 管理戸数2,490戸 年度計画及び実績 （事業の進行管理）	
								21年度実績	—
								22年度計画	—
								22年度実績	—
								23年度計画	—
								23年度実績	60
								24年度計画	2,470
								24年度実績	2,470
								25年度計画	2,470
								25年度実績	2,470
								26年度計画	2,490
								26年度実績	2,476
	老朽化が著しく、敷地面積が一定規模以上ある市営住宅の建て替えを行う予定です。							世帯数（世帯） ※24年度以降、計画書の数値目標の指標に合わせました。 ※23年度は、供用開始個数（戸）	
	住宅政策課	達成度	○	26効果等	○	改善等	△	方向性	○



3-B-b 公共施設などの整備

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等	
	改善点および今後の事業の方向性等								
3-B-b 122 歩道整備事業	<p>川口市バリアフリー基本構想に基づき、高齢者や障害者の方を含め全ての方々にとって、安全で快適な歩道整備を行います。歩道の路面構造等のバリアフリー整備を図るとともに、歩道の広い幅員道路には新規に歩道設置を行います。また、歩道段差解消箇所についても、順次整備を進めます。</p> <p>26年度事業につきましては、歩道路面のバリアフリー整備、段差解消整備等を実施し、誰もが安心して安全に通行できるようになり効果がありました。</p> <p>今後も引き続き、歩道のバリアフリー化や、段差解消等の歩道整備を行います。</p> <p>歩道のバリアフリー化や段差解消等要望が多いことから、計画的に歩道整備を行っていきます。</p>							26年度目標 (見直し後)	
								引き続き整備を図っていきます。	
								年度計画及び実績 (事業の進行管理)	
								21年度実績	56,497
								22年度計画	43,064
								22年度実績	62,404
								23年度計画	51,799
								23年度実績	48,929
								24年度計画	72,422
								24年度実績	57,148
								25年度計画	—
								25年度実績	108,928
								26年度計画	—
								26年度実績	64,611
事業費(千円)									
※計画書に合わせ、24年度以降の数値目標は設定しません。									
道路建設課	達成度	○	26効果等	○	改善等	△	方向性	○	

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							事業実績及び 目標事業量等
	改善点および今後の事業の方向性等							
3-B-b 123 公園整備・改 修事業	公園課では、計画的な公園整備を行っておりますが、26年度は、前川北公園拡張整備（672 m ² ）及び本三公園拡張整備（130 m ² ）を実施いたしました。 計画的な公園維持と市民からの要望に応える、公園の維持、整備に努め、次世代を担う子ども達に潤いのある環境を提供することができました。							26年度目標 （見直し後）
								整備・修繕箇所 456 か所
	計画的な公園整備と維持に努め、次世代を担う子ども達に潤いのある環境を提供します。 27年度は、仮称安行領根岸第6公園を整備する予定です。							年度計画及び実績 （事業の進行管理）
								21年度実績
	22年度計画	—						
	22年度実績	1,852,127 398						
	23年度計画	1,863,111 400						
	23年度実績	1,977,620 453						
	24年度計画	454						
	24年度実績	1,979,761 453						
	25年度計画	455						
	25年度実績	1,981,675 454						
	26年度計画	456						
	26年度実績	1,981,985 449						
							上：面積（m ² ） 下：箇所数（か所） ※24年度以降、数値目標の変更をしました。	
公園課	達成度	△	26効果等	○	改善等	△	方向性	○

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等						
	改善点および今後の事業の方向性等													
3-B-b 124 町会防犯灯設置費・電気料金補助金交付事業	夜間の犯罪発生抑制や、町会・自治会の経費負担軽減を図るため、防犯灯の設置費、修繕費の一部を補助しています。また、防犯灯の電気料は全額補助しています。							26年度目標 (見直し後)						
								町会の申請に応じて引き続き補助していきます。						
								年度計画及び実績 (事業の進行管理)						
								21年度実績	27/19					
								22年度計画	—					
								22年度実績	23/18 15,000					
								23年度計画	25/25 30,000					
								23年度実績	30/13 26,900					
								24年度計画	—					
								今後の方向性として、市内の犯罪抑制のために、引き続き防犯灯の設置について働きかけていきます。 また、消費電力の少ないLED器具を選定するよう町会・自治会に働きかけ、総合的な経費削減を図っていきます。						
	25年度計画	—												
	25年度実績	44/28 38,283												
	26年度計画	—												
								26年度実績	32/64 42,040					
※計画書に合わせ、24年度以降の数値目標は、設定しません。 ※23年度まで、 上：設置数／修繕数 (灯) 下：電気料(千円)														
防犯対策室	達成度	○	26効果等	○	改善等	○	方向性	○						

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等	
	改善点および今後の事業の方向性等								
3-B-b 125 自転車駐 車場・置 場整備 事業	<p>自転車等の利用者の利便を図り、駅周辺の環境整備に資することを目的とし、自転車駐車場及び置場を設置整備しています。また、公共の場所における自転車等の駐車秩序を維持及び自転車等の放置防止による、交通安全並びに災害時における円滑な防災活動を確保し、併せて都市の美観保持を図り、子どもから大人まで安全安心な都市づくりを目指します。</p>							26年度目標 (見直し後)	
								引き続き適正な管理に努めます。	
								年度計画及び実績 (事業の進行管理)	
								21年度実績	11 19
								22年度計画	11 19
	<p>埼玉高速鉄道が平成13年に開通して10年以上が経過し、東川口・新井宿・鳩ヶ谷・南鳩ヶ谷・川口元郷自転車駐車場施設の経年劣化が起きていることから、修繕や補強等を行い、利用者に不便をかけることのないように努めます。</p> <p>さらに、公共の場所における自転車等の駐車秩序の維持や自転車等の放置防止に引き続き努めると共に、自転車駐車場の施設内においては管理員の配置を行い、適正な管理に努めます。また、事業目的達成のために、事業内容の検証等を随時行い、効率化を図ります。</p>							23年度実績	14 19
								24年度計画	14 19
								24年度実績	14 19
								25年度計画	14 19
								25年度実績	14 19
								26年度計画	14 19
								26年度実績	14 19
								上：自転車駐車場 (か所)	
								下：自転車置場 (か所)	
								※24年度以降、目標を見直し、変更しました。	
交通安全対策課	達成度	○	26効果等	○	改善等	○	方向性	○	

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等
	改善点および今後の事業の方向性等							
3-B-b 126 市役所本庁舎 の整備	<p>庁舎整備については、事業計画の戦略として、ユニバーサルデザインの7原則を基本としています。この理念をもとに、庁舎の限られたスペース等を有効活用し、ハード・ソフトの両面から市民ニーズに即した事業を進めています。</p> <p>庁舎の事業計画を推進していく過程で、これまでの間、本庁舎トイレ改修工事（オムツ交換用ベビーシート設置）、1階市政情報コーナー横に授乳室の設置（ベビーベッド及びイス・テーブル設置）、本庁舎新館の通路の拡幅により車椅子・ベビーカーと歩行者及び窓口対応中のお客様との往来の困難を解消しました。</p> <p>19年度以降では、本庁舎前ロータリーにある身障者等の駐車スペースの整備、駐車場2階のおもいやりスペースの塗装や看板設置を行い、ベビーカーをご利用のかたがお車で来庁しやすいよう工夫したり、議会駐車場スロープ下の自転車置場を整備し駐輪スペースの拡充を図るとともに、放置自転車を撤去し、通路等のスペースを確保、また、別館1階トイレにユニバーサルベッドを設置、敷地内の一部の段差の解消、さらには、鳩ヶ谷市との合併に伴う庁舎の再編においては、本庁舎1階の通路の拡幅や本庁舎1階国民健康保険課前に待合スペースを設置するなどの改善等を実施し、事業に反映させてきました。</p> <p>26年度においては、立体駐車場から本庁舎への渡り廊下入口及び階段入口の段差をスロープにして、車椅子や乳母車、高齢者等の利用者に対する利便性の向上を図りました。</p> <p>今後についても、庁舎を利用する方々が安心して利用しやすい施設づくりを目指します。</p>							26年度目標 (見直し後)
								限られたスペース等を有効に活用するとともに、市民ニーズに即した施策を進めていきます。
	年度計画及び実績 (事業の進行管理)							
	21年度実績	—						
	22年度計画	—						
	22年度実績	1						
	23年度計画	1						
	23年度実績	1						
	24年度計画	1						
	24年度実績	1						
	25年度計画	—						
	25年度実績	1						
	26年度計画	—						
26年度実績	1							
実施箇所数(か所)								
<p>単年度単独事業であるため新たな事業を計画します。</p> <p>市民の要望やユニバーサルデザインの理念をもとに、施設の補修・改良に臨みます。</p>								
管財課	達成度	◎	26効果等	○	改善等	○	方向性	◎

行動計画に掲載されていない追加事業一覧(体系別)

体系	事業番号	事業名	担当課	ページ数
1-A-a		総合的・包括的な子育て支援		
1事業	追加事業 4	子どもの発達支援巡回事業	子育て相談課	P 1
1-A-b		子育てに関する学習機会の提供		
1事業	追加事業 14	ウェルカムBaby教室(母親・両親教室)	保健センター	P 2
1-A-c		子育てに関する相談機会の提供		
3事業	追加事業 15	未熟児養育支援事業(ぴよぴよグループ)	保健センター	P 3
	追加事業 16	未熟児訪問	保健センター	P 4
	追加事業 17	未熟児養育医療給付事業	保健センター	
1-A-d		子育てに関する情報の提供		
1事業	追加事業 1	かわぐち子育て情報メール	子ども育成課	P 5
1-A-f		一時保育・ショートステイなどの提供		
1事業	追加事業 9	緊急サポートセンター事業	子ども育成課	P 6
1-A-g		子育て家庭の経済的支援		
1事業	追加事業 10	軽度・中等度難聴児補聴器購入費助成事業	障害福祉課	P 7
2-B-a		学校教育の充実		
3事業	追加事業 5	水道ポスターコンクール	水道総務課	P 8
	追加事業 11	小・中学校社会科歴史教室事業	文化財課	P 9
	追加事業 12	小学校社会科見学	文化財課	P 10
2-B-b		地域における次世代育成の推進		
6事業	追加事業 6	鳩ヶ谷こども館事業	子ども育成課	P 11
	追加事業 7	CG教室制作作品等展示会	産業振興課	P 12
	追加事業 8	水道学習環境整備事業「水の学習会」	水道総務課	P 13
	追加事業 13	南鳩ヶ谷地域子育て支援センター事業	子ども育成課	P 14
	追加事業 18	川口市工場見学事業	産業振興課	P 15
	追加事業 19	子ども大学事業	生涯学習課	P 16
3-B-b		公共施設などの整備		
2事業	追加事業 2	川口市おもいやり駐車場制度	都市計画課	P 17
	追加事業 3	「赤ちゃんの駅」設置事業	子ども育成課	P 18

追加事業 19事業

行動計画に掲載されていない追加事業の実施状況（平成26年度）

1-A-a 総合的・包括的な子育て支援

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等	
	改善点および今後の事業の方向性等								
1-A-a 追加事業4 子どもの発達 支援巡回事業	<p>発達障がい児など発達が気になる子どもへの早期支援を推進するため、発達障がいの専門的な知識を有する者が保育所・幼稚園・子育て支援センターを巡回して保育士等に対して発達障がい児等及びその保護者への支援手法についての助言・指導を行い、これらの発達障がい児など及びその保護者の福祉の向上を図ることを目的としています。</p>							26年度目標 (見直し後)	
								巡回実施件数 60件	
	<p>発達障がいの専門的知識を有する臨床心理士・保育士等がチームを組んで幼稚園や保育所を巡回し職員に対し支援を実施しています。</p> <p>また、子育て支援センター等を巡回し、職員への支援のみならず、直接的に保護者への支援を実施しています。</p> <p>この事業は、23年10月11日より、「埼玉県子どもの発達支援巡回事業」の委託を川口市が受け、発達支援係にて実施しています。</p> <p>専門家チームが子育て支援の場に巡回し、直接的にスタッフや保護者に対して支援することで、子育て支援や幼児教育の場での発達支援が充実しました。また、継続的支援が必要な場合、保健センターや医療機関等へつながるなど、地域連携の役割を果たしています。</p> <p>引き続き、関係機関との連携を図り、本事業が地域における身近な支援となることを目指します。</p>							年度計画及び実績 (事業の進行管理)	
								21年度実績	—
								22年度計画	—
								22年度実績	—
								23年度計画	39
								23年度実績	39
								24年度計画	60
								24年度実績	50
								25年度計画	60
								25年度実績	43
								26年度計画	60
26年度実績	43								
							巡回実施件数(件)		
子育て相談課	達成度	△	26効果等	◎	改善等	○	方向性	○	

1-A-b 子育てに関する学習機会の提供

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等
	改善点および今後の事業の方向性等							
1-A-b 追加事業 14 ウェルカム Baby教室 (母親・両親教室)	妊娠 5~7 か月の妊婦とその夫などを対象に講義や沐浴実習などの出産準備教育を行う教室を開催しています。							26年度目標
								開催回数 35回
	妊娠中の過ごし方や栄養、赤ちゃんの健康と病気や育て方等についての講義及び赤ちゃんの沐浴実習等の体験を通じて夫婦で協力して育児ができるよう支援しました。							年度計画及び実績 (事業の進行監理)
								21年度実績
	22年度計画							
	22年度実績							
	23年度計画							
	23年度実績							
	24年度計画							
	24年度実績							
	25年度計画	35						
	25年度実績	35						
	26年度計画	35						
	26年度実績	34						
27年度は周知方法や内容を見直し、多くの方が出席できるように工夫していきます。							開催回数 (回)	
保健センター	達成度	○	26効果等	○	改善等	△	方向性	○

1-A-c 子育てに関する相談機会の提供

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等	
	改善点および今後の事業の方向性等								
1-A-c 追加事業 15 未熟児養育 支援事業 (ぴよぴよ グループ)	<p>低出生体重児の中でも、特に1,500g以下で出生した子どもを持つ家族の育児に対する不安は非常に大きいと推測されます。このため、早期から家族同士の交流の場を確保し、専門職が関ることにより、育児に対する不安を軽減し、こどもの健全な育成をすすめるために、保健センター会場と鳩ヶ谷分室会場にて実施しています。</p> <p>内容は、医師等専門職による発育・発達についての講義、相談、身体測定及び保護者同士の交流です。保護者同士が情報交換をすることで、育児不安の軽減および仲間づくりに役立ちました。</p> <p>27年度は、音楽療法を取り入れ、親子がリラックスして参加することができました。</p> <p>27年度は音楽療法に加え、ベビーマッサージも実施し、参加希望のかたに充分対応できるよう努めます。</p>							26年度目標	
								開催回数 3回	
								年度計画及び実績 (事業の進行監理)	
								21年度実績	
								22年度計画	
								22年度実績	
								23年度計画	
								23年度実績	
								24年度計画	
								24年度実績	
								25年度計画	2
								25年度実績	2
								26年度計画	3
26年度実績	3								
							開催回数 (回)		
保健センター	達成度	○	26 効果等	○	改善等	○	方向性	○	

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等	
	改善点および今後の事業の方向性等								
1-A-c 追加事業 16 未熟児訪問	未熟児は、身体の発育が未熟なまま出生した乳児であるため、育児において、養育者の心理的・身体的負担が生じる場合があり、児童虐待のリスク要因に上げられます。迅速かつ的確に未熟児の訪問指導を行うことにより未熟児の健やかな成長を支援しています。 24年度までは出生体重2,000g以上の未熟児を対象としていましたが、25年4月に未熟児養育支援事業が県から移譲され、未熟児養育医療給付対象すべての乳幼児とその家族を対象としています。							26年度目標 (見直し後)	
								訪問延べ人数 400人	
	27年度も引き続き実施してまいります。未熟児養育医療給付者のニーズに即応できるように地区分担制で訪問指導事業を実施してまいります。							年度計画及び実績 (事業の進行管理)	
								21年度実績	
	22年度計画								
	22年度実績								
	23年度計画								
	23年度実績								
	24年度計画								
	24年度実績								
	25年度計画	400							
	25年度実績	421							
	26年度計画	400							
	26年度実績	350							
							訪問延べ人数(人)		
保健センター	達成度	△	26効果等	○	改善等	△	方向性	○	
1-A-c 追加事業 17 未熟児養育医療給付事業	未熟児は、正常な新生児に比べて生理的に未熟であり、疾病にもかかりやすく、その特性から特別なケアが必要となる未熟児に対しては、養育に必要な医療の給付を行います。 未熟児養育医療を給付することによって、保護者の経済的負担を軽減することができました。 26年度に申請があったすべてに給付の認定をしております。							26年度目標	
								150人	
	27年度も引き続き養育医療の申請受付、認定、給付を実施してまいります。							年度計画及び実績 (事業の進行監視)	
								21年度実績	
	22年度計画								
	22年度実績								
	23年度計画								
	23年度実績								
	24年度計画								
	24年度実績								
	25年度計画	150							
	25年度実績	143							
	26年度計画	150							
	26年度実績	178							
							申請人数(人)		
保健センター	達成度	○	26効果等	○	改善等	△	方向性	○	

1-A-d 子育てに関する情報の提供

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等	
	改善点および今後の事業の方向性等								
1-A-d 追加事業 1 かわぐち子 育て情報メ ール	施設の行事予定や健康診査のお知らせなど、子育てに関するさまざまな情報をメールマガジンとして配信するサービスを行っています。							26年度目標 (見直し後)	
	23年7月から新規事業として開始しており、25年1月まで子育てに関する情報を必要とする方に月1回の定期的な情報提供をしてきました。							配信数 12回	
	25年2月より、運用方法を変更し、きらり川口情報メールとして子育てに必要な情報を各課が随時配信できるようになりました。							年度計画及び実績 (事業の進行管理)	
	各課が随時配信できるようになり、より詳細な情報を適宜提供できるようになりました。							21年度実績	—
	今後も、子ども育成課で発行している子育てガイドブックに掲載して、より事業のPRに努めています。							22年度計画	—
								22年度実績	—
								23年度計画	9
								23年度実績	9
								24年度計画	12
								24年度実績	12
								25年度計画	12
								25年度実績	27
								26年度計画	12
								26年度実績	28
引き続き、子育てに関する情報を配信してまいります。							配信数(回)		
子ども育成課	達成度	◎	26効果等	○	改善等	○	方向性	◎	

1-A-f 一時保育・ショートステイなどの提供

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等	
	改善点および今後の事業の方向性等								
1-A-f 追加事業 9 緊急サポート センター事業	<p>地域における子育ての援助を行いたい方(サポート会員)と子育ての援助を受けたい方(利用会員)の会員制度による事業です。安心して子育てができるよう、小学校6年生までの子どもの、病気又は病気の回復期や、早朝・夜間等の緊急時の預かり、宿泊を伴う預かり等の援助を希望する人と、子育ての援助を行える保育士等の人との相互の紹介を行い、住民参加による有償・有料の相互援助活動を推進し、地域における仕事と育児の両立が可能な環境整備の充実を図る事業です。</p> <p>27年度においては、サポート会員の確保と利用会員に対する事業のPRなどを行います。</p> <p>また、関係機関との連絡を密にし、連携・協力関係の向上に努めます。</p>							26年度目標	
								290	
								270	
								年度計画及び実績 (事業の進行監理)	
								21年度実績	—
								22年度計画	—
								22年度実績	—
								23年度計画	—
								23年度実績	—
								24年度計画	270
									250
								24年度実績	388
									176
								25年度計画	280
	260								
25年度実績	719								
	250								
26年度計画	290								
	270								
26年度実績	947								
	479								
会員数(人)		活動件数(件)							
子ども育成課	達成度	◎	26効果等	◎	改善等	△	方向性	○	

1-A-g 子育て家庭の経済的支援

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等	
	改善点および今後の事業の方向性等								
1-A-g 追加事業 10 軽度・中等度 難聴児補聴 器購入費助 成事業	<p>身体障害者手帳の交付対象とならない軽度・中等度の難聴児の補聴器購入費用の一部を助成することにより、言語の習得、教育等における健全な発達を支援し、もって福祉の増進を資することを目的としています。</p> <p>24年度に事業開始し、事業実績は24年度4人、25年度5人、26年度5人でした。</p>							26年度目標	
								引き続き事業を実施していきます。	
								年度計画及び実績 (事業の進行監理)	
								21年度実績	—
								22年度計画	—
								22年度実績	—
								23年度計画	—
								23年度実績	—
								24年度計画	—
								24年度実績	4
								25年度計画	—
								25年度実績	5
								26年度計画	—
								26年度実績	5
<p>県の規定に基づき、26年度と同様の内容で実施します。</p> <p>関係機関との連携を図り、サービス提供に向けた支援をスムーズに行えるように配慮していきます。</p>							決定者数 (人)		
障害福祉課	達成度	○	26 効果等	○	改善等	○	方向性	○	

2-B-a 学校教育の充実

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等						
	改善点および今後の事業の方向性等													
2-B-a 追加事業 5 水道ポスターコンクール	市内小学校4年生を対象に、水道ポスターの制作を通じ、子どもが水道事業に関する興味を持つ機会を創出し、また、その作品を紹介することにより、市民の水道事業に対する理解と協力を得ることを目的とする事業です。 未来の水道を支える次世代の子どもたちを育成するため、参加学校数及び参加者数の増加を目指します。							26年度目標 (見直し後)						
								28校 2,089人						
								年度計画及び実績 (事業の進行管理)						
								21年度実績	26	1,897				
								22年度計画	—	—				
								22年度実績	23	2,087				
								23年度計画	—	—				
								23年度実績	25	1,864				
								24年度計画	26	1,939				
								24年度実績	23	1,992				
								25年度計画	27	2,014				
								25年度実績	31	2,344				
								26年度計画	28	2,089				
								26年度実績	29	2,410				
							左：参加学校（校） 右：参加者数（人）							
水道総務課	達成度	◎	26 効果等	○	改善等	○	方向性	○						

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等		
	改善点および今後の事業の方向性等									
2-B-a 追加事業 11 小・中学校社 会科歴史教 室事業	<p>文化財センターが収蔵している土器や石器等の資料を用いた歴史教室をとおして、小・中学校の歴史学習が児童・生徒にとってより身近に感じること、地域の歴史を学び、郷土に愛着をもてるようにすることを目標としています。</p> <p>歴史教室は次の3コースを設定しました。①文化財センターに来館し、考古資料や常設展示を見学する「来館コース」。②各学校の会場にて、職員の解説を聞いた後、持参した資料を児童・生徒が観察・体験する「出前授業コース」。③各学校に資料を貸し出す「資料貸出コース」です。</p> <p>多くの学校は「出前授業コース」を選択し、文化財課の職員を講師とした、縄文時代・弥生時代についての出前授業（小学校第6学年）を行いました。これ以外の時代については、江戸時代の日光御成道や富士山信仰、赤山陣屋と伊奈氏等についての授業（小学校第6学年）を3校、見沼代用水に関する授業（小学校第4学年）を1校実施しました。</p>							26年度目標		
								より多くの学校に利用していただくことを目標としています。		
	<p>歴史教室「出前授業コース」では、原始・古代だけでなく、様々な時代や郷土の歴史、文化財に対応した授業にしていきます。「資料貸出コース」では、文化財や指導参考資料等の貸し出しを充実させていきます。また、小学6年生だけでなく、中学生から小学生までの幅広い学年など、学校の要望に応じて柔軟に対応していく予定です。</p>							年度計画及び実績 (事業の進行監理)		
								21年度実績	29	2,783
								22年度計画	—	—
								22年度実績	28	2,706
								23年度計画	—	—
								23年度実績	32	3,051
								24年度計画	35	3,500
								24年度実績	40	3,833
								25年度計画	41	4,000
								25年度実績	45	4,320
	26年度計画	42	4,100							
	26年度実績	46	4,558							
							利用数			
							左：学校数（校） 右：参加人数（人）			
文化財課	達成度	◎	26効果等	◎	改善等	○	方向性	○		

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等		
	改善点および今後の事業の方向性等									
2-B-a 追加事業 12 小学校社会科学見学	<p>文化財センター及び分館旧田中家住宅、郷土資料館では市内小学校の社会科学見学について、小学校3年生を中心に受け入れています。</p> <p>文化財センターでは、市内の鋳物業に関する資料、獅子舞などの民俗芸能の展示を見学し、解説しています。平成26年7月1日～平成27年3月31日は、耐震工事のため休館していたため、市内の学校には、郷土資料館での見学について周知を図りました。</p> <p>旧田中家住宅では、大正時代・昭和初期の時代に建築された国登録有形文化財である建物（洋館・和館）や調度品、地域の産業である味噌醸造について解説しています。</p> <p>郷土資料館では、郷土の歴史や産業、日光御成道の宿場である川口宿・鳩ヶ谷宿の展示や郷土の偉人の展示を見学し、解説しています。</p> <p>また、企画展の時期には、学年・内容に合わせた解説もしています。26年度は、「富士山信仰と小谷三志」と「昔の道具とくらしの移り変わり」に関する解説を行いました。</p> <p>学年や見学のねらい等に応じた解説を実施していきます。</p>							26年度目標		
								より多くの学校に利用していただくことを目標としています。		
								年度計画及び実績 (事業の進行監理)		
								21年度実績	12	1,296
								22年度計画	-	-
								22年度実績	22	1,744
								23年度計画	-	-
								23年度実績	41	3,858
								24年度計画	-	-
								24年度実績	51	4,231
								25年度計画	51	4,200
								25年度実績	49	4,384
								26年度計画	51	4,200
								26年度実績	29	2,679
利用数 左：学校数（校） 右：参加人数（人）										
文化財課	達成度	△	26効果等	◎	改善等	○	方向性	○		

2-B-b 地域における次世代育成の推進

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況								目標及び実績等	
	改善点および今後の事業の方向性等									
2-B-b 追加事業 6 鳩ヶ谷子ども 館事業	遊びを通じて、児童の健全な育成を図るため、主に学童や乳幼児及びその保護者を対象に遊びの指導を行い、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的に、鳩ヶ谷子ども館事業を実施しています。 主な取り組みとして、夏まつり、人形劇、映画会、絵画教室、親子教室などを実施しました。								26年度目標 (見直し後)	
									延べ利用人数 21,500人	
	年度計画及び実績 (事業の進行管理)								21年度実績	—
									22年度計画	—
	幅広い年齢層の子どもたちが活動し交流できる場として利用者の拡大につながるよう、地域との連携の強化や、様々なプログラムの提供に努めます。 また、子育て親子がふれあい、様々な情報を得ることができる地域拠点としても機能していくよう努めます。								22年度実績	—
									23年度計画	—
									23年度実績	9,536
									24年度計画	21,500
									24年度実績	23,910
									25年度計画	21,500
									25年度実績	30,041
									26年度計画	21,500
									26年度実績	36,520
延べ利用人数 (人)										
								※23年10月11日 からの事業		
子ども育成課	達成度	◎	26効果等	◎	改善等	△	方向性	○		

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等		
	改善点および今後の事業の方向性等									
2-B-b 追加事業7 CG教室制作 作品等展示会	<p>映像関連産業を核とした次世代産業の導入・集積のための人材育成の一環として、主に子ども達を対象とした映画制作のワークショップを開催し、完成作品の展示放映を実施しています。</p> <p>また本市が実施している「CG教室」で制作された映像作品を広く市民に紹介することで制作者である児童の制作意欲の向上を図るとともに、認知度向上を図るために完成作品の展示放映も同時に実施しています。</p> <p>事業に参加した子どもたちは、台本から撮影、編集まで自分たちで行ったことで映像制作について学ぶことができました。</p> <p>映画祭やコンテスト等、完成した作品を多くの人に見てもらえる方法を検討しながら、継続して事業を実施します。</p>							26年度目標 (見直し後)		
								1回 100人		
								年度計画及び実績 (事業の進行管理)		
								21年度実績	—	—
								22年度計画	—	—
								22年度実績	—	—
								23年度計画	—	—
								23年度実績	1	67
								24年度計画	1	80
								24年度実績	1	117
								25年度計画	1	90
								25年度実績	1	63
								26年度計画	1	100
								26年度実績	1	133
左：上映会回数(回) 右：入場者数(人)										
産業振興課	達成度	◎	26効果等	○	改善等	○	方向性	○		

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等	
	改善点および今後の事業の方向性等								
2-B-b 追加事業 8 水道学習環境整備事業 「水の学習会」	市内在住の小学生とその保護者を対象に浄配水場施設や水源地のダム施設を見学する機会を設け、家庭内における水道に対する考え方や水道事業への理解につなげることを目的とする事業です。							26年度目標 (見直し後)	
								40人	
								年度計画及び実績 (事業の進行管理)	
								21年度実績	32
								22年度計画	40
								22年度実績	37
								23年度計画	40
								23年度実績	37
								24年度計画	35
								24年度実績	35
								25年度計画	40
								25年度実績	73
								26年度計画	40
	26年度実績	44							
未来の水道を支える次世代の子どもたちを育成するため、浄水場や水源地と連携し、安全な水道水の大切さについて情報提供を行い、市民の理解と参加者の増加を目指します。							募集人数(人)		
水道総務課	達成度	○	26効果等	○	改善等	○	方向性	○	

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等	
	改善点および今後の事業の方向性等								
2-B-b 追加事業 13 南鳩ヶ谷地 域子育て支 援センター 事業	<p>子育て支援拠点として、24年5月1日から、乳幼児（0歳～3歳）を持つ子育て中の親子に交流・集いの場を提供し、保育士の配置による子育てに関する情報の提供や講習会等の開催などを行っております。</p> <p>主な取り組みとして、つどいの広場、講座（月1回）、保育所の園庭利用（毎週水曜日）を実施しています。</p>							26年度目標	
								9,300	
	<p>引き続き利用者の拡大につながるよう、地域との連携の強化や、子育てに役立つ講座の充実に努めます。</p>							年度計画及び実績 (事業の進行監理)	
								21年度実績	—
								22年度計画	—
								22年度実績	—
								23年度計画	—
								23年度実績	—
								24年度計画	8,000
								24年度実績	8,800
								25年度計画	9,000
								25年度実績	9,760
								26年度計画	9,300
								26年度実績	10,956
							延べ利用人数（人）		
							※24年5月1日からの事業		
子ども育成課	達成度	◎	26効果等	◎	改善等	△	方向性	○	

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等		
	改善点および今後の事業の方向性等									
2-B-b 追加事業 18 川口市工場 見学事業	<p>小学校5年生を対象に地元企業の工場見学をとおして、地域の産業への理解を深めてもらうことと、「産業都市かわぐち」に対する意識の醸成を図ることを目的として開催しています。</p> <p>25年度から開始した事業ですが、予定人数を上回る児童の申し込みがありました。</p>							26年度目標		
								開催回数	1回	参加人数
								年度計画及び実績 (事業の進行監理)		
								21年度実績	—	—
								22年度計画	—	—
								22年度実績	—	—
								23年度計画	—	—
								23年度実績	—	—
	<p>予定人数を大きく上回る申し込みがあるので、実施方法を検討します。</p>							24年度計画	—	—
								24年度実績	—	—
								25年度計画	1	60
								25年度実績	1	73
								26年度計画	1	90
								26年度実績	1	80
							左欄：回数 右欄：人数			
産業振興課	達成度	△	26効果等	○	改善等	○	方向性	△		

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等	
	改善点および今後の事業の方向性等								
2-B-b 追加事業 19 子ども大学 事業	<p>地域の大学や市町村、企業、NPO等が連携して、子ども（小学校4～6年生）の知的好奇心を刺激する学びの機会を提供することを目的に、24年度から開催しています。</p> <p>26年度は、埼玉学園大学をメインキャンパスに、埼玉大学・宇都宮大学・市立医療センターと連携し、子どもたちの視野を広げる講座を実施いたしました。</p>							26年度目標	
								60	
	<p>26年度からメールでの参加受付を開始。27年度も引き続き、子育て世代が参加申込しやすい環境を整え、事業を実施していきます。</p>							年度計画及び実績 (事業の進行監理)	
								21年度実績	
								22年度計画	
								22年度実績	
								23年度計画	
								23年度実績	
								24年度計画	60
								24年度実績	76
								25年度計画	60
								25年度実績	55
								26年度計画	60
								26年度実績	175
							申込者数(人)		
生涯学習課	達成度	◎	26効果等	◎	改善等	△	方向性	○	

3-B-b 公共施設などの整備

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等	
	改善点および今後の事業の方向性等								
3-B-b 追加事業 2 川口市おもいやり駐車場制度	<p>公共施設や民間のスーパー等の出入口付近に、障がい者の方々等に配慮して設置されている車いす使用者用駐車スペースを「おもいやり駐車場」として位置づけ、障がい者の方々や妊産婦の方々に利用証を交付し、駐車場を利用する時に掲示することで、その利用マナーを啓発するとともに、おもいやり駐車場の適正利用の促進を図るものです。</p> <p>マナー啓発を図り、車いす使用者用駐車場の利用しやすい環境づくりを行うことにより、障がい者支援、子育て支援の促進を図るものです。</p>							26年度目標 (見直し後)	
								引き続き制度の普及に努め、車いす使用者用駐車場の適正利用の促進を図っていきます。	
	<p>制度を広く周知することにより、車いす使用者用駐車場の利用マナーの向上・意識改善を図ります。</p> <p>引き続き制度の普及に努め、車いす使用者用駐車場の適正利用の促進を図っていきます。</p>							年度計画及び実績 (事業の進行管理)	
								21年度実績	—
	22年度計画	—							
	22年度実績	730 <242>							
	23年度計画	—							
	23年度実績	506 <185>							
	24年度計画	—							
	24年度実績	494 <202>							
	25年度計画	—							
	25年度実績	450 <171>							
	26年度計画	—							
	26年度実績	499 <168>							
							申請者数 (人)		
							<内 妊産婦 (人) >		
都市計画課	達成度	◎	26 効果等	◎	改善等	○	方向性	◎	

事業名 担当課名	事業内容および26年度の実施状況							目標及び実績等	
	改善点および今後の事業の方向性等								
3-B-b 追加事業3 「赤ちゃんの 駅」設置事業	市の施設内で、①おむつ替え ②授乳のいずれか1つ、または両方ができ、希望者が無料で利用できる場所を「赤ちゃんの駅」として登録することにより、子育て中の家族が安心して外出できる環境づくりを促進します。 併せて、県の「赤ちゃんの駅」に登録し、県内共通の登録ステッカーを掲示するとともに県のホームページ上に掲載することにより、利用の促進を図ります。							26年度目標 (見直し後)	
								今後も県と連携し、引き続き事業周知を行っていきます。	
								年度計画及び実績 (事業の進行管理)	
	今後、新たに「赤ちゃんの駅」として登録可能な施設として整備された場合、登録につながるよう、施設を所管する各関係機関に対し働きかけ、県への登録業務を継続していきます。 また、今後も県と連携し、引き続きホームページ等を活用した事業周知を行っていきます。							21年度実績	—
								22年度計画	—
								22年度実績	47 102
								23年度計画	—
								23年度実績	60 125
								24年度計画	—
								24年度実績	62 129
								25年度計画	—
								25年度実績	71 140
								26年度計画	—
								26年度実績	71 140
								上：施設数（施設）	
							下：箇所数（か所）		
子ども育成課	達成度	◎	26効果等	○	改善等	△	方向性	○	

行動計画策定時に掲げた目標事業量の実績一覧（18事業）

事業名	指標	18年度実績	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度実績	
通常保育事業および 延長保育事業	施設数	52か所	53か所	54か所	56か所	58か所	
	定員	4,835人	4,975人	5,050人	5,161人	5,281人	
	通常18時まで	施設数	2か所	2か所	2か所	2か所	2か所
	延長19時まで	施設数	43か所	41か所	41か所	42か所	44か所
延長20時まで	施設数	7か所	10か所	11か所	12か所	12か所	
子どものトワイライ トステイ事業	施設数	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所	
	定員	10人	10人	10人	10人	5人	
休日保育事業	施設数	0か所	0か所	0か所	0か所	0か所	
	定員	0人	0人	0人	0人	0人	
留守家庭児童保育事 業	施設数	48か所	48か所	47か所	47か所	62か所	
	定員	2,439人	2,708人	2,756人	2,913人	2,963人	
病児・病後児保育事業 <16年度実績から21年度 実績は「病後児保育事業」 の値>	施設数	2か所	2か所	2か所	1か所	1か所	
	定員	4人	4人	4人	3人	3人	
子どものショートス テイ事業	施設数	2か所	2か所	2か所	2か所	2か所	
	定員	2人	2人	2人	2人	2人	
一時保育事業	施設数	7か所	6か所	7か所	6か所	6か所	
	定員	70人	60人	70人	60人	60人	
ファミリー・サポート・セ ンター事業	施設数	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所	
地域子育て支援拠点 事業 <16年度実績から20年度 実績は「地域子育て支援 センター事業」の値>	施設数	5か所	5か所	5か所	*44か所	*45か所	
つどいの広場	施設数	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所	
母親教室	月間開催数	1回	1回	1回	1回	1回	
両親教室	コース数	16コース	16コース	20コース	20コース	20コース	
	参加延べ人数	837人	958人	1,064人	1,099人	985人	
育児教室	実施地区数	全地区	全地区	全地区	全地区	全地区	
3・4か月児健康診査	受診率	90.9%	93.5%	91.4%	94.1%	92.7%	
1歳6か月児健康診査	受診率	84.9%	88.3%	87.7%	87.7%	88.0%	
1歳6か月児歯科健康 診査	受診率	69.2%	74.7%	71.8%	72.3%	73.7%	
3歳児健康診査	受診率	77.0%	77.0%	77.4%	75.7%	76.6%	
幼児相談	年間開催数	16回	16回	16回	16回	16回	

※通常保育事業および延長保育事業…平成23年度は、延長20時までの施設数のうち

3施設は19時15分まで、4施設は19時30分までです。

※地域子育て支援拠点事業…市内で地域子育て支援のために拠点事業を実施する該当施設

（支援センター・つどいの広場・おやこの遊びひろば・児童センター）

事業名	指標	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度実績	
通常保育事業および 延長保育事業	施設数	69か所	70か所	71か所	75か所	
	定員	6,023人	6,113人	6,237人	6,522人	
	通常18時まで	施設数	2か所	2か所	2か所	2か所
	延長19時まで	施設数	44か所	51か所	51か所	52か所
	延長20時まで	施設数	*23か所	17か所	18か所	21か所
子どものトワイライ トステイ事業	施設数	1か所	1か所	1か所	1か所	
	定員	5人	5人	5人	5人	
休日保育事業	施設数	0か所	0か所	0か所	0か所	
	定員	0人	0人	0人	0人	
留守家庭児童保育事 業	施設数	67か所	68か所	79か所	79か所	
	定員	3,153人	3,380人	3,511人	3,600人	
病児・病後児保育事業 <16年度実績から21年度 実績は「病後児保育事業」 の値>	施設数	1か所	1か所	1か所	2か所	
	定員	3人	3人	6人	10人	
子どものショートのス テイ事業	施設数	2か所	2か所	2か所	2か所	
	定員	2人	2人	2人	2人	
一時保育事業	施設数	7か所	9か所	10か所	10か所	
	定員	70人	90人	100人	100人	
ファミリー・サポート・セ ンター事業	施設数	1か所	1か所	1か所	1か所	
地域子育て支援拠点 事業 <16年度実績から20年度 実績は「地域子育て支援 センター事業」の値>	施設数	*52か所	*54か所	*54か所	*54か所	
つどいの広場	施設数	2か所	3か所	3か所	3か所	
母親教室	年間開催数	1回	1回	母親教室と 両親教室を 統合し、 ウェルカムBaby 教室へ変更	—	
両親教室	コース数 参加延べ人数	20コース 852人	20コース 1,075人		—	
ウェルカムBaby教室	開催回数	—	—	35回	34回	
育児教室	実施地区数	全地区	全地区	全地区	全地区	
3・4か月児健康診査	受診率	92.5%	93.5%	93.9%	93.8%	
1歳6か月児健康診査	受診率	88.0%	91.0%	91.9%	93.0%	
1歳6か月児歯科健康 診査	受診率	73.7%	74.0%	73.3%	73.2%	
3歳児健康診査	受診率	79.5%	76.8%	80.0%	83.4%	
幼児相談	年間開催数	18回	18回	18回	18回	

※通常保育事業および延長保育事業…平成23年度は、延長20時までの施設数のうち

3施設は19時15分まで、4施設は19時30分までです。

※地域子育て支援拠点事業…市内で地域子育て支援のために拠点事業を実施する該当施設

(支援センター・つどいの広場・おやこの遊びひろば・児童センター)